

## FAX-L2700DN

### ユーザーズガイド **基本編**

本書はなくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

CD-ROM



本書以外の  
ユーザーズガイドが  
収録されています。

ユーザーズガイド

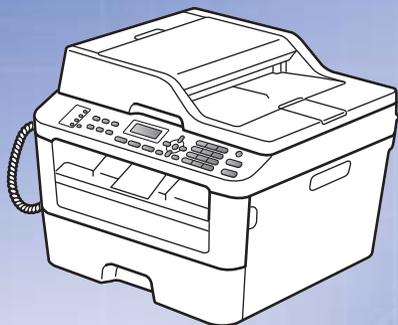
応用編

便利な使い方を  
説明しています。

ユーザーズガイド

パソコン活用&  
ネットワーク

コンピューターを使用  
した操作方法とネット  
ワーク環境での使い方  
を説明しています。



### 困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？  
と思ったときなどは、以下の手順で原因を  
お調べください。

1 4章「困ったときには」で調べる 92ページ

2 サポート ブラザー   ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる  
<http://support.brother.co.jp/>

### 本書の使いかた・目次

使う前に  
知ってほしいこと

まずは  
使ってみましょう

日常のお手入れ

困ったときには

付録(索引)

Version 0 JPN

## ユーザーズガイドの構成

### 準備しましょう

電源の注意事項を知りたい	停電のときの注意事項を知りたい	安全にかかわるいろいろな注意事項を知りたい
設置場所の注意事項を知りたい	トナーの注意事項を知りたい	
設置して使用できる状態にしたい	コンピューターに接続して、プリンターやスキャナーとして使えるようにしたい	簡単にネットワークに接続して、複数のコンピューターでファクス、プリント、スキャンをしたい
必要な設定をしたい		

### まずは使ってみよう

使用できる記録紙を知りたい	コンピューターからプリントしたい（基本）	消耗品を交換したい
ファクスしたい（基本）		お手入れのしかたを知りたい
電話帳を作成したい	電話帳を使って簡単に宛先を指定したい	トラブルを解決したい
コピーしたい（基本）		リサイクルについて知りたい
スキャンしたい（基本）		

### もっと便利に使ってみよう

使える機能や設定変更できる機能を制限して管理したい（セキュリティ）	いろいろなファクス送受信をしたい	ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい
	ファクスを転送したい	
コンピューターからプリントしたい（応用）	コンピューター上にアドレス帳を作成したい	さまざまな設定をコンピューターから行いたい（リモートセットアップ）
コンピューターでファクスを送受信したい	いろいろな方法でスキャンしたい	分からない用語を調べたい
ネットワークに接続して複数のコンピューターでファクス、プリント、スキャンをしたい	ネットワークにかかわるトラブルを解決したい	ネットワーク設定を手動で行いたい
携帯端末から直接プリントしたい	スキャンしたデータを携帯端末に直接取り込みたい	

## 安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項を説明しています。必ずはじめにお読みください。また、なくさないように注意し、いつでも確認できるように保管してください。



冊子

## かんたん設置ガイド

本製品を使用するための準備（設置、基本的な設定、コンピューターへの接続の方法、ネットワーク環境設定など）を説明しています。



シート

## ユーザーズガイド 基本編 <本書>

基本的なコピー、ファクス、プリント、スキャンのしかたについて説明しています。また、本製品の電話帳の登録・編集方法やトラブル対処方法についても説明しています。いつでも手に取って見られる場所に保管してください。



冊子

## ユーザーズガイド 応用編

全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。

Windows®



CD-ROM

Macintosh

↓ダウンロード

## ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方や便利な使いかた（ControlCenter）について説明しています。

また、ネットワーク環境で使用するための設定や、コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法を説明しています。

そのほか、ネットワーク環境での用語や環境についての概要などを説明しています。

## Googleクラウドプリントガイド

本製品にGoogleアカウント情報を登録し、Googleクラウドプリントサービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。

↓ダウンロード

## モバイルプリント&スキャンガイド

### Brother iPrint&Scan用

Android™やiOSを搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。（Windows® PhoneはPDFファイル印刷には対応しておりません。）

↓ダウンロード

### AirPrintガイド

OS X v10.7.x以降、iPhone、iPad、またはiOSを搭載した携帯端末からデータを印刷する方法を説明しています。

↓ダウンロード

- 冊子、CD-ROMは本製品に同梱されています。
- 各種説明書は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。（<http://support.brother.co.jp/>）

## Brother Utilitiesを起動する

Brother Utilities は、コンピューターにインストールされているブラウザアプリケーションに簡単にアクセスすることができる、アプリケーションランチャーです。

### 1 Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2003、Windows Server® 2008、Windows Server® 2008 R2の場合

 [スタート] - [すべてのプログラム] - [Brother] -  [Brother Utilities]の順にクリックします。

### Windows® 8、Windows Server® 2012の場合

 [Brother Utilities]をタップまたはクリックします。

### Windows® 8.1、Windows Server® 2012 R2の場合

スタート画面の左下にあるをクリックします。

タブレット端末をご使用の場合は、スタート画面の下から上方向にスワイプすると、アプリ画面が表示されます。アプリ画面が表示されたら、 [Brother Utilities]をタップまたはクリックします。

### 2 モデル名を選択する



### 3 使用したい機能を選択する

## CD-ROM内のユーザーズガイドを見るときは

付属のCD-ROMには、以下のユーザーズガイドが収録されています。

- ユーザーズガイド 応用編
- ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

### Windows® の場合

付属のCD-ROMからドライバーやソフトウェアをコンピュータにインストールすると、ユーザーズガイドも自動的にインストールされます。Brother Utilitiesを起動してモデル名を選択し、見たいユーザーズガイドを選んでください。Brother Utilitiesの起動方法は、⇒4ページ「Brother Utilitiesを起動する」を参照してください。ユーザーズガイドがコンピュータにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMに収録されているユーザーズガイドを見ることができます。

- 1 付属のCD-ROMを、コンピューターのCD-ROMドライブにセットする  
トップメニュー画面が表示されます。

#### 補足

トップメニューの画面が表示されないときは、[コンピューター (マイ コンピュータ)] からCD-ROMドライブをダブルクリックし、[start.exe] をダブルクリックして画面を表示させてください。

Windows® 8をご使用の場合は、タスクバーから[エクスポージャー]—[コンピューター (PC)]の順にクリックして、CD-ROM ドライブをダブルクリックし、[start.exe]をダブルクリックして画面を表示させてください。

- 2 [ユーザーズガイド] をクリックする



- 3 [画面で見るユーザーズガイド] をクリックする

収録されているユーザーズガイドの目次が表示されます。



- 4 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする

ユーザーズガイドが表示されます。

### Macintoshの場合

各種ガイド(説明書)は、サポートサイト(ブラザーソリューションセンター) (<http://support.brother.co.jp/>) からダウンロードできます。サポートサイトの「製品マニュアルのダウンロード」を確認してください。

## インターネット上のサポートの案内を見るときは

### Windows® の場合

- 1 付属のCD-ROMを、コンピューターのCD-ROMドライブにセットする  
トップメニューが表示されます。

#### 補足

トップメニューの画面が表示されないときは、[コンピューター (マイ コンピュータ)] からCD-ROMドライブをダブルクリックし、[start.exe] をダブルクリックして画面を表示させてください。

Windows® 8をご使用の場合は、タスクバーから[エクスプローラー]-[コンピューター (PC)]の順にクリックして、CD-ROM ドライブをダブルクリックし、[start.exe]をダブルクリックして画面を表示させてください。

- 2 [サービスとサポート] をクリックする

- 3 見たい項目をクリックする



- ブラザーホームページ  
ブラザーのホームページを表示します。
- サポートサイト (ブラザーソリューションセンター)  
ブラザーソリューションセンターを表示します。
- ブラザーダイレクトクラブ  
トナーカートリッジなどを購入できるオンラインショップを表示します。
- 消耗品情報  
ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

### Macintoshの場合

サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (<http://support.brother.co.jp/>) でご確認ください。

本書の使いかた目次

使う前に知ってほしいこと

まずは使ってみましょう

日常のお手入れ

困ったときには

付録(索引)

# 目次

ユーザズガイドの構成 .....	2
Brother Utilitiesを起動する .....	4
CD-ROM内のユーザズガイドを見るときは .....	5
Windows® の場合 .....	5
Macintoshの場合 .....	5
インターネット上のサポートの案内を見るときは .....	6
Windows® の場合 .....	6
Macintoshの場合 .....	6
目次 .....	8
本書の表記 .....	13
マークについて .....	13
編集ならびに出版における通告 .....	13
おすすめ機能 .....	14
<b>第1章 使う前に知ってほしいこと .....</b>	<b>18</b>
各部の名称とはたらき .....	18
操作パネルの名称とはたらき .....	18
各部の名称 .....	20
機能設定操作の基本 .....	21
ナビゲーションキーを使った基本操作 .....	21
ダイヤルボタンを使った基本操作 .....	21
電源について .....	22
日付と時刻をセットする（時計セット） .....	22
名前とファクス番号を登録する（発信元登録） .....	23
電話回線のこと .....	24
自動で回線種別を設定する .....	24
リサイクル・廃棄のこと .....	25
消耗品の回収リサイクルについて .....	25
本製品の廃棄について .....	25
<b>第2章 まずは使ってみましょう .....</b>	<b>26</b>
電話をかける/受ける .....	26
電話をかける .....	26
電話を受ける .....	26
通話を保留にする .....	26
いろいろな電話のかけかた .....	27
ワンタッチダイヤルからかける .....	27
短縮ダイヤルからかける .....	27
電話帳からかける .....	28
同じ相手にもう一度かける（再ダイヤル） .....	28
受話器を置いたままかける .....	28
記録紙の基本 .....	29
記録紙セットの流れ .....	29
セットできる記録紙 .....	30
使用できない記録紙 .....	31
記録紙トレイから印刷する .....	33
手差しスロットから印刷する .....	35
セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する .....	39

原稿の基本 .....	40
原稿セットで注意すること .....	40
原稿をセットする .....	41
原稿の読み取り設定をする .....	42
ファクス送信の基本 .....	43
ファクス送信の流れ .....	43
ファクスを手動で送信する .....	46
ファクス送信を中止する .....	46
ファクス受信の基本 .....	47
ファクス受信の流れ .....	47
受信モードの種類 .....	49
受信モードを設定する .....	53
呼び出しベル回数を設定する .....	53
再呼び出しベル回数を設定する .....	54
ファクス無鳴動受信を設定する .....	54
電話帳の基本 .....	55
電話帳について .....	55
電話帳に登録する .....	56
グループダイヤルに登録する .....	57
電話帳を編集する .....	58
コピーの基本 .....	60
コピーの流れ .....	60
コピー設定について .....	62
拡大・縮小コピーをする .....	63
1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕 .....	63
両面コピーをする .....	64
複数の原稿を1枚にまとめてコピーする 〔レイアウトコピー (N in 1コピー)〕 .....	65
画質を設定する .....	66
明るさを設定する .....	66
コントラストを設定する .....	67
2 in 1 IDコピーをする .....	68
プリントの基本 .....	69
プリントの流れ .....	69
スキャンの基本 .....	70
スキャンの流れ .....	70
<b>第3章 日常のお手入れ .....</b>	<b>72</b>
<b>定期メンテナンス .....</b>	<b>72</b>
原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する .....	73
コロナワイヤーの清掃 .....	74
ドラムユニットの清掃 .....	75
給紙ローラーの清掃 .....	77
<b>消耗品の交換 .....</b>	<b>78</b>
消耗品 .....	78
トナーカートリッジとドラムユニットについて .....	79
トナーカートリッジとドラムユニット交換時の注意 .....	81
トナーカートリッジの交換 .....	83
ドラムユニットの交換 .....	86
<b>本製品を再梱包するときは .....</b>	<b>89</b>

<b>第4章 困ったときには</b> .....	<b>92</b>
解決のステップ～修理依頼される前に～ .....	92
液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！ (エラーメッセージ一覧) .....	93
エラーが発生したときのファクスの転送方法 .....	97
紙が詰まった！ .....	98
紙づまりのときのメッセージ .....	98
原稿が詰まったとき .....	99
記録紙が詰まったとき .....	101
原因がよくわからない！ .....	109
困ったときには (コピー／印刷) .....	109
困ったときには (スキャン) .....	126
困ったときには (電話／ファクス) .....	126
困ったときには (その他) .....	132
<b>第5章 付録</b> .....	<b>136</b>
機能一覧 .....	136
<メニュー>ボタン .....	136
本製品の仕様 .....	146
基本設定 .....	146
原稿サイズ .....	148
記録紙仕様 .....	148
ファクス .....	149
コピー .....	149
スキャナー .....	150
プリンター .....	150
インターフェイス .....	151
ネットワーク .....	151
消耗品 .....	152
停電がおきたときは .....	152
動作環境 .....	153
索引 .....	154
アフターサービスのご案内 .....	160

## 付属のCD-ROMに収録 「ユーザーズガイド 応用編」の目次

### 第1章 全体にかかわる設定

- 電話回線設定 (FAX-L2700DNのみ)
- 音量設定 (FAX-L2700DNのみ)
- 省エネ設定
- トナー設定
- 液晶ディスプレイ設定
- モード設定 (FAX-L2700DNのみ)
- 日付・時刻設定 (FAX-L2700DNのみ)
- セキュリティ設定  
(FAX-L2700DNのみ)
- ナンバー・ディスプレイ設定  
(FAX-L2700DNのみ)

### 第2章 ファクス送信 (FAX-L2700DNのみ)

- 便利な送信方法
- 便利な送信設定
- 便利な宛先指定機能
- ファクス誤送信防止機能  
(ダイヤル制限)を設定する
- 特別設定について

### 第3章 ファクス受信 (FAX-L2700DNのみ)

- さまざまな受信方法
- 受信時の設定

### 第4章 転送・リモコン (FAX-L2700DNのみ)

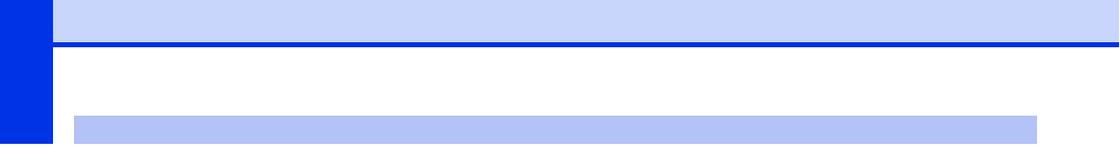
- ファクス転送機能
- 外出先から本製品を操作する:リモコン機能

### 第5章 レポート・リスト

- レポート・リストの種類
- レポートの出力を設定する  
(FAX-L2700DNのみ)

### 第6章 必要なときに確認してほしいこと

- 文字を入力する (FAX-L2700DNのみ)
- 記録紙のこと
- 原稿のこと
- 製品情報
- 設定機能の初期化
- 用語集
- 索引



## 本書の表記

### マークについて

本文中では、マークについて以下のように表記しています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災や感電、やけどの原因になり、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災や感電、やけどの原因になり、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
 <b>重要</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性のある内容を示しています。
 <b>注意</b>	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
 <b>補足</b>	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
 <b>禁止</b>	「してはいけないこと」を示しています。
 <b>感電</b>	「感電の危険があること」を示しています。
 <b>火災</b>	「火災の危険があること」を示しています。
 <b>やけど</b>	「やけどの危険があること」を示しています。
⇒XXXページ 「XXX」	参照先を記載しています。(XXXはページ、参照先)
<XXX>	操作パネル上のボタンを表しています。
【XXX】	本製品の液晶ディスプレイ内の表示を表しています。
[XXX]	コンピューター上の表示を表しています。

### 編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

© 2014 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

## おすすめ機能

### 効率アップ におすすめ

#### コピー / プリントで効率アップ

仕分け作業は機械にまかせましょう



▶ ●ページ順に1部ごとコピー／プリント

・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

・コピー ⇒63ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」

簡単に印刷設定をしてみましょう

▶ ●おまかせ印刷

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

#### ファクスで効率アップ

宛先指定はボタン1つで簡単に

▶ ●再ダイヤルを使用する

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

送付書を自動的に付けられます

▶ ●送付書を付けて送信する  
▶ ●送付書のオリジナルコメントを登録する

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

1度にまとめて送りましょう

▶ ●同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

留守中にファクスが届いても、外出先でファクスを見られます

▶ ●他の場所のファクシミリに転送する

⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」

### エコ におすすめ

#### リサイクルでエコに協力

リサイクルして有効に使いましょう

▶ ●消耗品の回収リサイクルについて

⇒25ページ「リサイクル・廃棄のこと」

## 節約、コスト削減 におすすめ

## 記録紙代を節約

両面を有効に使って節約

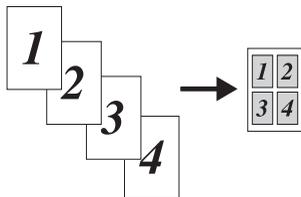
●両面コピー／両面プリント／両面ファクス

- ・コピー ⇒64ページ「両面コピーをする」
- ・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク
- ・ファクス ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

複数の原稿を1枚にまとめてコピー／プリントして節約

●レイアウトコピー／レイアウトプリント

- ・コピー ⇒65ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー (N in 1コピー)〕」
- ・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク



コンピューターでファクスを送受信してペーパーレス。必要なものだけプリントして節約

●ファクスをコンピューターで受信する〔PCファクス受信〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」

A4サイズを超える原稿を受信するとき、自動的に縮小して1枚にまとめて節約

●自動的に縮小して印刷する

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

## 通信費を節約

深夜割引<sup>\*</sup>を上手に使いましょう。大量のファクスをタイマーで深夜に送れば通信代節約

●指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

<sup>\*</sup> 深夜割引についてはご利用の回線接続会社にお問い合わせください。

## 省エネで節約

印字の質を少し下げてトナーを節約

●トナーを節約する〔トナー節約モード〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

電力消費をおさえて節約

●スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

## 安心 におすすめ

### ファクスで安心

きちんと送信できたのか送信結果を知りたい	➡ ●送信結果レポートを表示する ●レポート・リストを印刷する	⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リスト」
宛先の間違いを防ぎたい	➡ ●ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
かかってきた相手を確認したい	➡ ●ナンバー・ディスプレイ設定	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
海外への送信で、回線状況が悪いときでも送信エラーを防ぎたい	➡ ●海外へ送信する〔海外送信モード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

### 制限で安心

勝手に設定変更されないように変更を制限したい	➡ ●設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
使える機能を制限して情報漏洩を防ぎたい。 無駄な操作を防げばコスト削減にも役立ちます。	➡ ●使用できる機能を制限する〔セキュリティ機能ロック3.0〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

## キレイ におすすめ

## 最適なコピー／ファクス設定でキレイ

拡大／縮小を思いどおりに	▶ ●拡大・縮小コピーをする	⇒63ページ「拡大・縮小コピーをする」
原稿の種類によって画質を調整する	▶ ●コピー／ファクス送信の画質を設定する	・コピー ⇒66ページ「画質を設定する」 ・ファクス ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
コピーの明るさを調整する	▶ ●明るさを設定する	⇒66ページ「明るさを設定する」
コピーのコントラストを調整する	▶ ●コントラストを設定する	⇒67ページ「コントラストを設定する」
ファクス送受信時の濃度を調整する	▶ ●ファクス送信時の原稿濃度を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

# 1 使う前に知ってほしいこと

## 各部の名称とはたらき

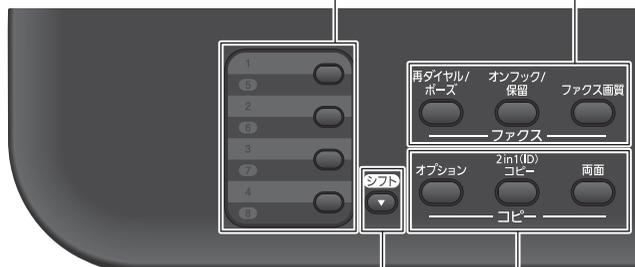
### 操作パネルの名称とはたらき

#### ファクス機能ボタン

- <再ダイヤル/ポーズ>ボタン  
最後にダイヤルした番号を再ダイヤルするときに押します。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」  
ダイヤル番号の入力時にポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。
- <オンフック/保留>ボタン  
ファクスを手動送信するときに押します。⇒46ページ「ファクスを手動で送信する」
- <ファクス画質>ボタン  
ファクス送信する原稿に合わせて、画質を一時的に設定するときに押します。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

#### ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」



#### <ソフト>ボタン

ワンタッチダイヤルの5~8を登録またはダイヤルするときは、<ソフト>ボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

#### コピー機能ボタン

- <オプション>ボタン  
明るさ、コントラスト、ソート、レイアウトコピー、コピー画質などを一時的に設定するときに押します。  
⇒63ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」、  
⇒65ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー (N in 1 コピー)〕」、  
⇒66ページ「明るさを設定する」、  
⇒66ページ「画質を設定する」、  
⇒67ページ「コントラストを設定する」
- <2in1 (ID)コピー>ボタン  
2in1 IDコピーするときに押します。⇒68ページ「2 in 1 IDコピーをする」
- <両面>ボタン  
両面コピーするときに押します。⇒64ページ「両面コピーをする」

**ナビゲーションキー**

⇒21ページ「ナビゲーションキーを使った基本操作」

ファクスモードのときに押すと短縮先の指定や電話帳の検索ができます。

機能を確定するときに押します。

- 前のレベルメニューに移動します。
- 着信音を小さくします。



- 次のレベルメニューに移動します。
- 着信音を大きくします。

入力したデータの削除や一つ前のレベルのメニューに戻す場合に押します。

機能を設定するときに押します。

**液晶ディスプレイ**

日時、現在の設定内容、操作方法を案内するメッセージなどが表示されます。  
長いメッセージはスクロール表示します。

**ダイヤルボタン**

ダイヤルするときや、文字入力をするときに押します。

**<スタート>ボタン**

コピー、ファクス、スキャンを開始するときなどに押します。

**<停止/終了>ボタン**

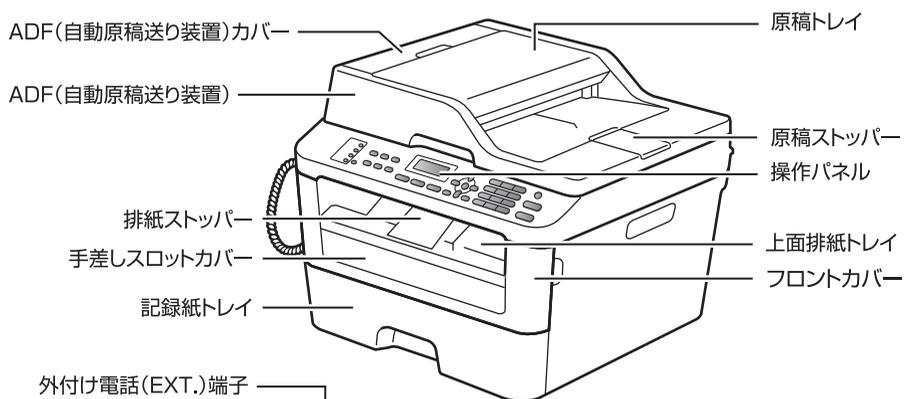
ファクス送信や操作を中止するとき、機能設定を終了するときなどに押します。

**電源ボタン**電源をオン/オフするときに押します。  
⇒22ページ「電源について」**モード選択ボタン**

ファクス/スキャン/コピーの各モードに切り替えます。現在選択されているモード選択ボタンは緑色に点灯します。  
⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

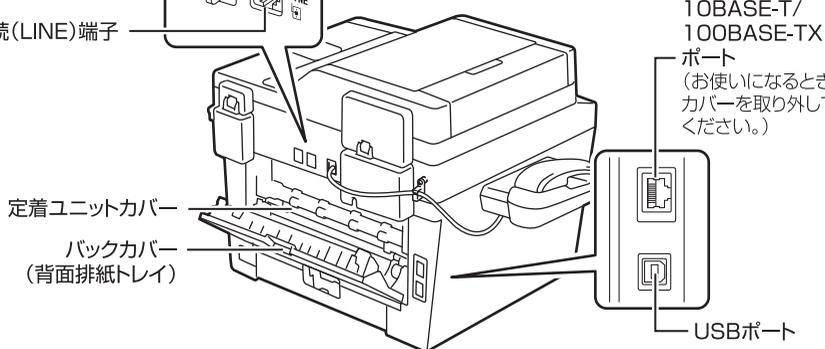


## 各部の名称



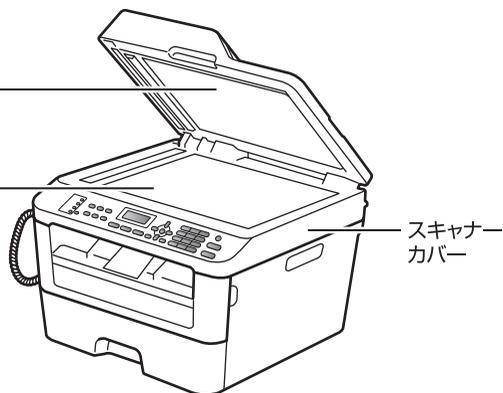
外付け電話(EXT.)端子  
(お使いになるときは、  
カバーを取り外して  
ください。)

回線接続(LINE)端子



原稿台カバー

原稿台ガラス



## 機能設定操作の基本

### ナビゲーションキーを使った基本操作

本製品は、ナビゲーションキーを使って各種設定をしたり、メニューを選択したりすることができます。



ナビゲーションキー

&lt;停止/終了&gt;ボタン

ナビゲーションキー	キーの役割
メニュー 	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインメニューを表示する</li> </ul>
OK 	<ul style="list-style-type: none"> <li>次のメニューレベルに移る</li> <li>選択項目を確定（決定）する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>メニュー内の項目を表示する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>前のメニューレベルに戻る</li> <li>着信音量を小さくする</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>次のメニューレベルに進む</li> <li>着信音量を大きくする</li> </ul>
クリア 	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力した文字や数字を削除する</li> <li>前のメニューレベルに戻る</li> </ul>
停止 / 終了ボタン	キーの役割
停止/終了 	<ul style="list-style-type: none"> <li>操作を中止するときや、設定を終了する</li> <li>モード画面に戻る</li> </ul>

### ダイヤルボタンを使った基本操作

<メニュー>を押したあと、ダイヤルボタンで設定したい機能の番号を直接入力して、各種設定ができます。

#### 補足

- 設定を途中で終了するときは、<停止/終了>を押してください。
- 機能の番号については、⇒136ページ「機能一覧」を参照してください。

## 電源について

を押すと、本製品の電源をオン/オフできます。電源をオフすることで、本製品を使用しないときの消費電力を抑えることができます。本製品の電源がオフの場合でも、電話機コードが接続されていれば、外付け電話機での通話は可能です。

### 電源をオンにする

- 1 を押す

### 電源をオフにする

- 1 を2秒以上押す  
液晶ディスプレイに【電源をオフにします】と表示され、電源がオフになります。

## 日付と時刻をセットする (時計セット)

発信元登録を行うと、ファクス送信したときに、ここでセットした日付と時刻が相手側の記録紙に印刷されます。日付と時刻は液晶ディスプレイに表示されます。

- 1 <メニュー>→<0>→<1>→<1>を押す
- 2 年号(西暦の下2桁)をダイヤルボタンを使用して入力し、<OK>を押す  
例: 2014年の場合は<1>、<4>
- 3 月(2桁)をダイヤルボタンを使用して入力し、<OK>を押す  
例: 8月の場合は<0>、<8>
- 4 日付(2桁)をダイヤルボタンを使用して入力し、<OK>を押す  
例: 21日の場合は<2>、<1>
- 5 時刻(24時間制)をダイヤルボタンを使用して入力し、<OK>を押す  
例: 午後3時25分の場合は<1>、<5>、<2>、<5>
- 6 <停止/終了>を押す

### 補足

入力を間違えたときは、<◀>または<▶>を使って修正する文字にカーソルを移動し、正しい文字を入力し直してください。

## 名前とファクス番号を登録する (発信元登録)

ファクス送信したときに、ここでセットした名前とファクス番号が相手側の記録紙に印刷されます。

- 1 <メニュー>→<0>→<2>を押す
- 2 ファクス番号をダイヤルボタンを使用して入力し、<OK>を押す
- 3 電話番号をダイヤルボタンを使用して入力し、<OK>を押す
- 4 名前をダイヤルボタンを使用して入力し、<OK>を押す

### 補足

- ファクス番号と電話番号は、20桁まで登録できます。カッコ【( )】、ハイフン【-】は登録できません。
- 名前は20文字まで登録できます。
- 入力を間違えたときは、<◀>または<▶>を使って修正する文字にカーソルを移動し、<クリア>を押して削除後、正しい文字を入力し直します。途中の文字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力し直してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。
- 電話とファクスを同一回線（1 番号）で使用している場合は、ファクス番号と電話番号に同じ番号を入力してください。

- 5 <停止/終了>を押す

### 補足

リモートセットアップ機能を利用すると、コンピューターから発信元を登録することもできます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

## 電話回線のこと

### 自動で回線種別を設定する

電話機コードを接続してから電源コードを接続してください。

本製品は回線種別の自動設定を行います。回線種別の自動設定が行われた後、液晶ディスプレイには以下のいずれかが表示されます。

**プッシュ回線です** : プッシュ回線に設定されたとき

**ダイヤル20PPSです** : ダイヤル回線 (20PPS) に設定されたとき

### 補足

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、【電話機コード両端の接続をご確認ください。または、ご利用の回線業者へお問い合わせください。 1. OK 2. 中止】のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。  
電話機コードを接続しない場合は、<停止/終了>または、<2>を押してください。  
【接続を中止しますか？ 1. はい 2. いいえ】と表示されますので<1>を押してください。
- 電話機コードを接続せずにコピーやスキャンなどの機能だけを利用される場合、手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。  
手動で回線種別を設定する場合は⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

## リサイクル・廃棄のこと

### 消耗品の回収リサイクルについて

弊社では環境保護に対する取り組みの一環として消耗品のリサイクルに取り組んでおります。使い終わりました消耗品の回収にご協力をお願いいたします。

詳しくは以下のホームページを参照してください。

[http://brother.jp/product/support\\_info/printer/recycle/index.htm](http://brother.jp/product/support_info/printer/recycle/index.htm)

回収対象となる消耗品

・トナーカートリッジ ・ドラムユニット

ブラザー 回収

検索

### 本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。

事業所：産業廃棄物処理業者に委託してください。またはブラザーホームページを参照してください。

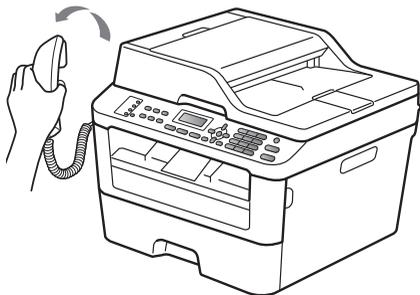
一般家庭：小型家電リサイクル法に基づいて収集を実施している市町村にお住まいの方は、「小型家電回収市町村マーク」を表示している市町村の窓口や、「小型家電認定事業者マーク」を表示している事業者に引き渡してください。また、市町村の小型家電リサイクルの対象となっていない家電製品については、従来どおり、お住まいの市町村の廃棄方法に従って廃棄してください。対象品目や回収方法に関する詳しい情報は、お住まいの市町村におたずねください。

## 2 まずは使ってみましょう

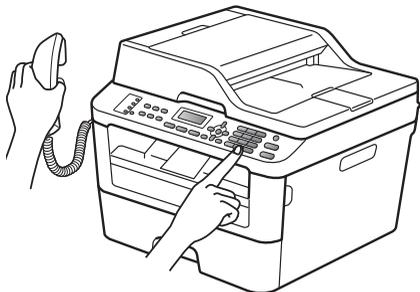
### 電話をかける/受ける

#### 電話をかける

- 1 受話器台から受話器を取る



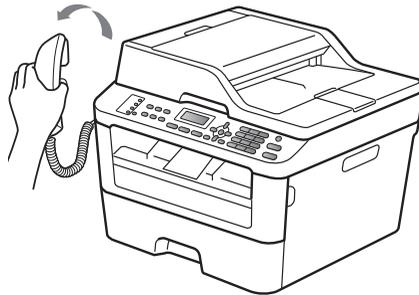
- 2 ダイヤルボタンで相手先の電話番号を押す  
相手が出たら話します。



- 3 通話を終えるときは、受話器を受話器台に戻す  
回線が切断されます。

#### 電話を受ける

- 1 着信音が鳴ったら、受話器を取る



- 2 通話を終えるときは、受話器を受話器台に戻す  
回線が切断されます。

#### 通話を保留にする

- 1 通話中に<オンフック/保留>を押す  
保留メロディが流れます。(相手にこちらの声が聞こえなくなります。)
- 2 受話器を受話器台に戻す
- 3 通話に戻るときは、受話器を取る

## いろいろな電話のかけかた

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、再ダイヤルなどを使って電話をかけることができます。

### ワンタッチダイヤルからかける

ワンタッチボタン（1～8）を押すだけで、登録されている電話番号を指定することができます。

#### 1 受話器台から受話器を取る

#### 2 ワンタッチボタンを押す

#### 《補足》

- ワンタッチダイヤルの指定のしかたは以下のとおりです。
  - ・ 1～4を指定するとき  
ワンタッチボタンを押します。
  - ・ 5～8を指定するとき  
<シフト>を押しながらワンタッチボタンを押します。



- ワンタッチダイヤルの登録のしかたは⇒55ページ「電話帳の基本」を参照してください。

### 短縮ダイヤルからかける

<▲>を2回押した後、短縮番号（001～200）を押すだけで、登録されている電話/ファクス番号を指定することができます。短縮ダイヤルには最大200件登録できます。

#### 1 受話器台から受話器を取る

#### 2 <▲>を2回押す

#### 3 短縮番号（001～200）を押す

#### 《補足》

短縮ダイヤルの登録のしかたは⇒55ページ「電話帳の基本」を参照してください。

## 電話帳からかける

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した番号は、すべて電話帳から読みがなで検索することができます。

- 1 受話器台から受話器を取る
- 2 <▲>を押す
- 3 検索したい名前の読みがなの最初の文字を入力して、<OK>を押す  
入力した文字から始まる名前が50音順、またはアルファベット順に表示されます。
- 4 <▲>または<▼>で該当の名前を選択して、<OK>を押す

### 補足

- 電話帳登録、グループダイヤルの登録のしかたは⇒55ページ「電話帳の基本」を参照してください。
- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたは⇒ユーザーズガイド応用編「レポート・リスト」を参照してください。
- 文字入力のしかたは⇒ユーザーズガイド応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

## 同じ相手にもう一度かける (再ダイヤル)

- 1 受話器台から受話器を取る
- 2 <再ダイヤル/ポーズ>を押す
- 3 <▲>または<▼>で該当の名前を選択し、<OK>を押す

## 受話器を置いたままかける

- 1 <オンフック/保留>を押し、相手先の電話番号を押す

### 補足

- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳からもかけることができます。
- 電話帳登録後、グループダイヤルの登録のしかたは⇒55ページ「電話帳の基本」を参照してください。

- 2 相手が出たら、受話器台から受話器を取る

途中で操作をやめるときは、もう一度<オンフック/保留>を押します。

# 記録紙の基本

## 記録紙セットの流れ

基本的な記録紙のセットの流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

### STEP 1 セットできる記録紙を確認する

トレイの場所やセットできる記録紙の種類などを確認して、記録紙を準備します。

- ⇒30ページ「セットできる記録紙」
- ⇒31ページ「使用できない記録紙」

### STEP 2 記録紙をセットする

記録紙トレイまたは手差しスロットに記録紙をセットします。正しくセットされていない場合、紙づまりや故障の原因になりますので、十分にご注意ください。

- ⇒33ページ「記録紙トレイから印刷する」
- ⇒35ページ「手差しスロットから印刷する」

### STEP 3 セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する（必要に応じて）

本体で設定されている記録紙の種類やサイズ（お買い上げ時は「普通紙」「A4」）と実際にセットした記録紙の種類やサイズを合わせるため、必要に応じて本体の設定を変更します。

設定した内容は次に変更するまで保存されるので、セットした記録紙と本体の設定内容が合っているかを必要に応じて確認してください。

- ⇒39ページ「セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する」

## セットできる記録紙

本製品では、以下の表に記載されている種類、サイズ、枚数の記録紙をセットできます。

トレイ名称	記録紙の種類	記録紙のサイズ	枚数
記録紙トレイ	普通紙、普通紙（厚め） (60g/m <sup>2</sup> ~105g/m <sup>2</sup> ) 再生紙 ハガキ <sup>※1</sup>	A4 レター B5 (JIS) A5 A5 (横置き) A6 ハガキ (同等品)	250枚 (80g/m <sup>2</sup> ) 30枚 (ハガキ)
手差しスロット	普通紙、普通紙（厚め） (60g/m <sup>2</sup> ~105g/m <sup>2</sup> ) 厚紙、超厚紙 (105g/m <sup>2</sup> ~163g/m <sup>2</sup> ) 再生紙 ハガキ <sup>※2</sup> ラベル紙 封筒 <sup>※2</sup> (洋形4号)	ユーザー定義サイズ (幅76.2~215.9mm、 長さ127.0~355.6mm)	1枚

※1：⇒ 33 ページ「記録紙トレイから印刷する」を参照してください。

※2：⇒ 37 ページ「封筒、厚紙、超厚紙、ラベル紙、ハガキに印刷する場合」を参照してください。

### 補足

- 宛名ラベルは、レーザープリンター用の物をお使いください。
- 印刷品質を得るために、たて目記録紙を使用することをおすすめします。
- 受信したファクスはA4サイズで印刷してください。
- 特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。

## 使用できない記録紙

### ！重要

以下のような記録紙は絶対に使用しないでください。印刷品質が低下したり、本製品にダメージを与えたりするおそれがあります。これらの紙を使用した結果、生じた製品の故障・破損については保証またはサービス契約対象外となりますので、ご注意ください。

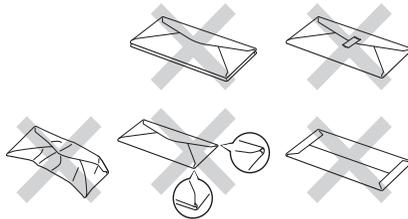
## 使用できない記録紙

- ・ 光沢紙
- ・ インクジェット紙
- ・ ノーカーボン紙
- ・ 化学紙（ラミネート紙など）
- ・ ミシン目の入った記録紙
- ・ 極端に滑らかな記録紙
- ・ 極端にざらつきのある記録紙
- ・ 極端に薄い記録紙
- ・ カールしている記録紙  
カールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。
- ・ 折り目やしわのある記録紙
- ・ ホチキスや付箋の付いている記録紙
- ・ 指定された坪量を超える記録紙
- ・ 穴のあいた記録紙（ルーズリーフなど）
- ・ 酸性、アルカリ性の記録紙  
中性紙をお使いください。
- ・ よこ目記録紙  
紙づまりや複数枚の記録紙が一度に送られる原因になります。
- ・ 湿っている記録紙や印刷済みの記録紙  
紙づまりや故障の原因になります。
- ・ OHPフィルム
- ・ アイロン転写記録紙

## 使用できない封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

- 破れ、反り、しわのある封筒
- 極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
- 留め金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
- 粘着加工を施した封筒
- 袋状加工の封筒
- 折り目がしっかりついていない封筒
- エンボス加工の封筒
- レーザープリンターで一度印刷された封筒
- 内部が印刷された封筒
- 一定に積み重ねられない封筒
- 本製品の印刷可能記録紙坪量指定を超える記録紙で製造されている封筒
- 作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
- 透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
- タテ形（和形）の封筒



### 注意

- いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こすおそれがあります。
- 正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの記録紙サイズの設定とトレイにセットされた記録紙のサイズの設定を同じにしてください。

ほとんどの封筒には印刷できますが、封筒の仕上がりによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。レーザープリンター用の高品質の封筒を購入してください。たくさんの封筒を購入する前に、必ず少数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

### 補足

特に推奨する封筒のメーカーはありません。⇒32ページ「使用できない封筒」以外の印刷に適した封筒をお選びください。

## 記録紙トレイから印刷する

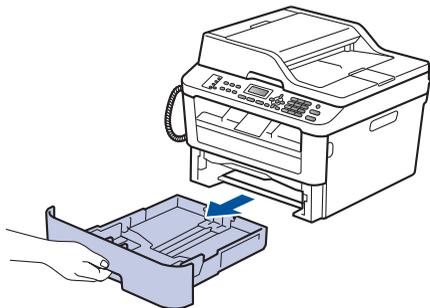
### ！重要

記録紙ガイドが記録紙のサイズに正しくセットされていることを確認してください。正しくセットされていないと、印刷時にトレイ内で記録紙がずれ、故障の原因になります。

### 注意

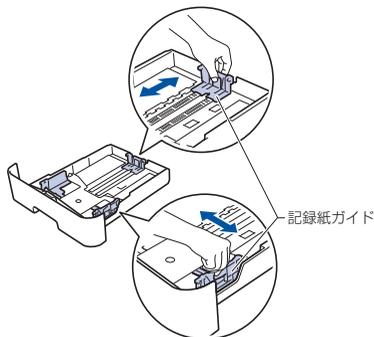
- 記録紙は数回に分けて入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。
- 種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

## 1 記録紙トレイを本製品から完全に引き出す



## 2 緑色の記録紙ガイドをつまみながらスライドさせて、使用する記録紙の表示位置に合わせる

緑色の記録紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。

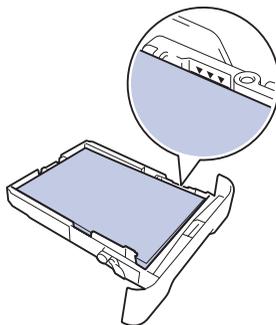


## 3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく



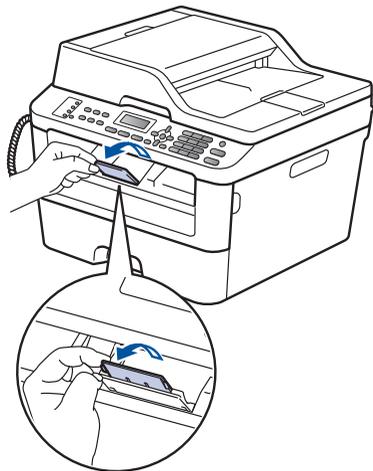
## 4 印字面を下にして記録紙トレイに記録紙を入れる

- 記録紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。
- 記録紙ガイドとセットした記録紙サイズがしっかりと合っていることを確認してください。



5 記録紙トレイを本製品に戻す

6 排紙ストッパーを開ける



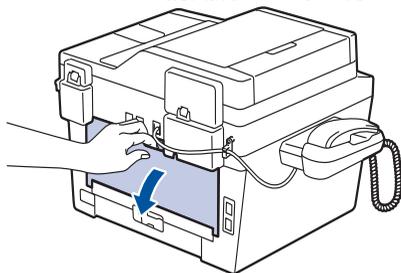
**注意**

印刷された記録紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように排紙ストッパーを開いてください。

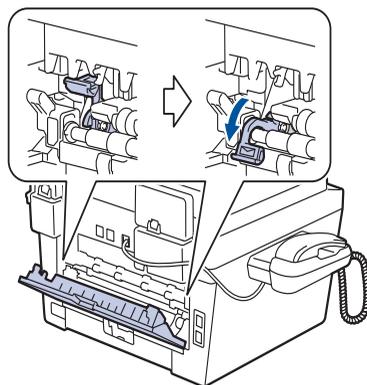
7 ハガキに印刷する場合は、背面排紙トレイを準備する

ハガキ以外に印刷する場合は、以下の手順は必要ありません。

1 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける



2 左右の緑色のレバーをイラストのように下げる

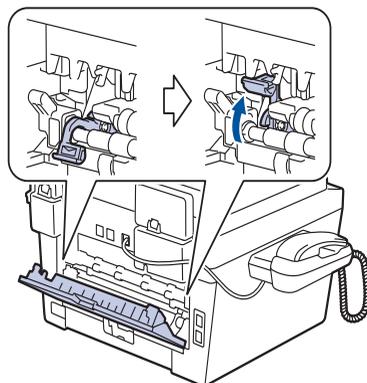


8 印刷する

プリントデータを本製品に送信します。

9 ハガキに印刷した場合、バックカバー（背面排紙トレイ）を元に戻す

1 緑色のレバーを元の位置に戻す



2 バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

**補足**

紙づまりしないように、印刷された記録紙をすぐに取り出してください。

## 手差しスロットから印刷する

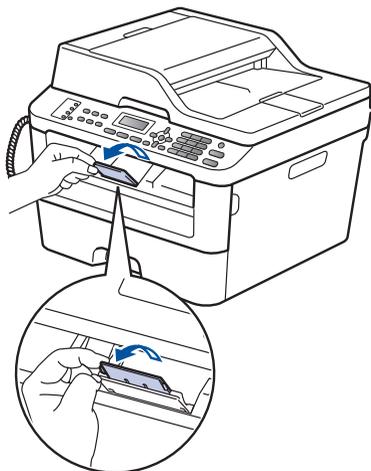
封筒、厚紙、超厚紙、ラベル紙は、手差しスロットにセットしてください。

### 補足

手差しスロットに記録紙を挿入すると、本製品は自動的に手差しスロットからの印刷モードに切り替わります。

## 普通紙、普通紙(厚め)、再生紙に印刷する場合

### 1 排紙ストッパーを開ける



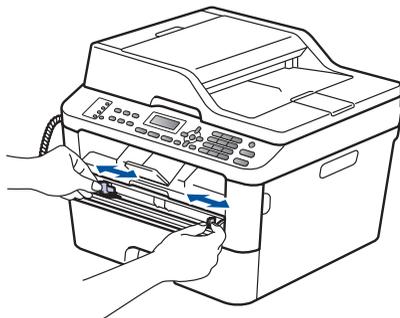
### 注意

印刷された記録紙が上面排紙トレイから滑り落ちないように、排紙ストッパーを開いてください。

### 2 手差しスロットカバーを開ける



### 3 手差しガイドを両手で持って、記録紙に合わせる



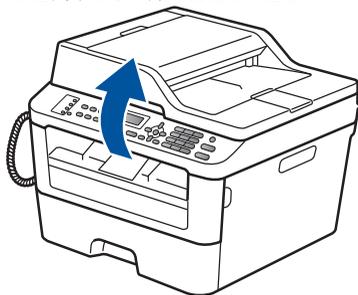
### 4 記録紙を両手で持って、手差しスロットに挿入する

記録紙の先端が給紙ローラーにつきあたるまで入れ、記録紙が少し引き込まれたら、記録紙から手を離します。

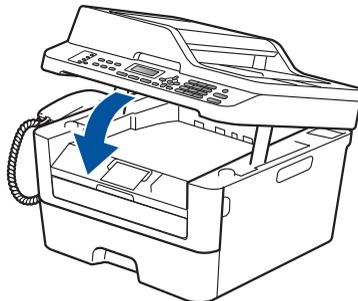


## 注意

- 液晶ディスプレイに【紙詰まり 内部】のメッセージが表示されたときは、本製品の内部に記録紙がつまっています。記録紙を取り出し、記録紙を挿入し直してください。
- 印刷する面（白紙面）を上向きに（記録紙の上部から手差しスロットに差し込むように）して、セットしてください。
- 記録紙は、手差しスロットの適切な位置にまっすぐ挿入してください。記録紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。
- 記録紙は1枚ずつ挿入して、印刷してください。紙づまりを起こす恐れがあります。
- 排紙トレイに小さな記録紙が排紙されたときは、イラストのようにスキャナーカバーを両手で上げると簡単に取り除くことができます。



本製品を使い続けるときは、両手でスキャナーカバーを押し下げて閉じてください。



## 5 印刷する

プリントデータを本製品に送信します。

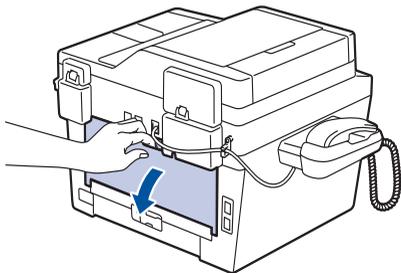
## 6 液晶ディスプレイに【手差し印刷】と表示されてから、手順4に戻り、次の記録紙を挿入する

印刷したいページを全て印刷するまで、手順4を繰り返します。

## 封筒、厚紙、超厚紙、ラベル紙、ハガキに印刷する場合

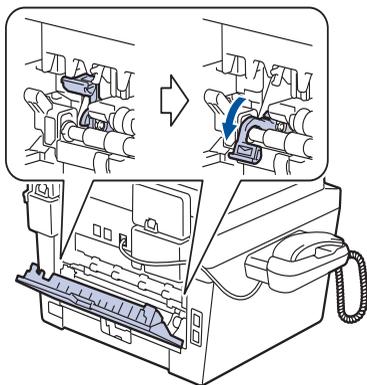
封筒、厚紙、超厚紙、ラベル紙、ハガキに印刷する場合は、印刷前に排紙場所を設定する必要があります。以下の手順に従って本製品を設定してください。

### 1 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける



### 2 封筒、ハガキに印刷する場合、左右の緑色のレバーをイラストのように下げる

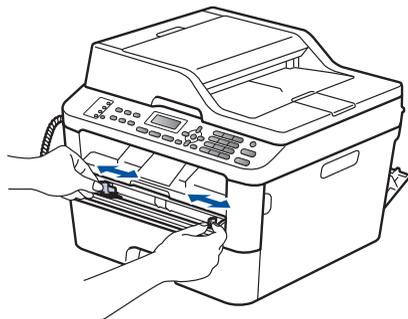
封筒、ハガキ以外に印刷する場合は、この手順は必要ありません。



### 3 手差しスロットカバーを開ける

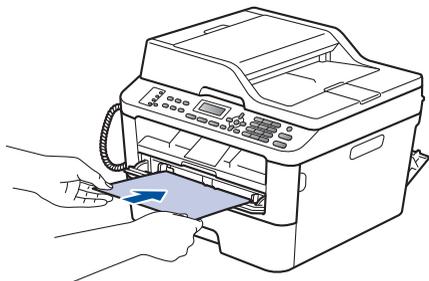


### 4 手差しガイドを両手で持って、記録紙に合わせる



## 5 記録紙を両手で持って、手差しスロットに挿入する

記録紙の先端が給紙ローラーにつきあたるまで入れ、記録紙が少し引き込まれたら、記録紙から手を離します。



### 注意

- 液晶ディスプレイに【紙詰まり 内部】のメッセージが表示されたときは、本製品の内部に記録紙がつかまっています。記録紙を取り出し、記録紙を挿入し直してください。
- 印刷する面（白紙面）を上向きに（記録紙の上部から手差しスロットに差し込むように）して、セットしてください。
- 記録紙は、手差しスロットの適切な位置にまっすぐ挿入してください。記録紙が正しく給紙されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。
- 記録紙は1枚ずつ挿入して、印刷してください。紙づまりを起こす恐れがあります。

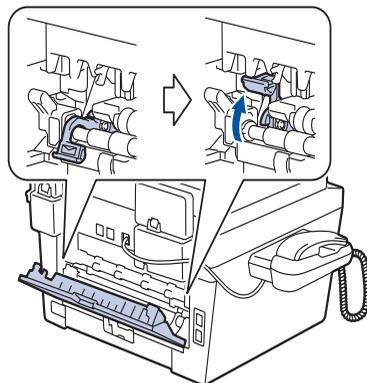
## 6 印刷する

プリントデータを本製品に送信します。

## 7 液晶ディスプレイに【手差し印刷】と表示されてから、手順5に戻り、次の記録紙を挿入する

印刷したいページを全て印刷するまで、手順5を繰り返します。

## 8 封筒、ハガキに印刷した場合、緑色のレバーを元の位置に戻す



## 9 印刷が終わったら、バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

### 補足

紙づまりしないように、印刷された記録紙をすぐに取り出してください。

## セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する

記録紙トレイにセットした記録紙の種類やサイズに合わせて、本体の設定を変更します。(お買い上げ時は「普通紙」「A4」に設定されています。)  
コピー機能の場合、A4/USレター/A5/A5 L (A5 (横置き))/A6/JIS B5/ハガキサイズの記録紙を使用できます。受信したファクスはA4サイズで印刷してください。

### 記録紙のサイズを変更する

記録紙トレイにセットした記録紙のサイズを選択します。

1 <メニュー>→<1>→<3>→<2>  
を押す

2 <▲>または<▼>を押して記録紙サイズを選択し、<OK>を押す

【A4】 / 【USレター】 / 【A5】 / 【A5 L (A5 (横置き))] / 【A6】 / 【JIS B5】 / 【ハガキ】 から選択します。

3 <停止/終了>を押す

#### 〔補足〕

- 適切なサイズの記録紙がトレイにセットされていないとき、受信したファクスは本機のメモリに保存され、【用紙サイズが合いません】のメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。対処方法については⇒93ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された! (エラーメッセージ一覧)」を参照してください。
- トレイに記録紙が入っていないとき、【記録紙を送れません】のメッセージが液晶ディスプレイに表示されず、記録紙をトレイにセットしてください。

## 記録紙のタイプを変更する

記録紙トレイにセットした記録紙のタイプを選択します。

1 <メニュー>→<1>→<3>→<1>  
を押す

2 <▲>または<▼>を押して記録紙タイプを選択し、<OK>を押す

【普通紙】 / 【普通紙(厚め)] / 【厚紙】 / 【超厚紙】 / 【再生紙】 / 【ハガキ】 から選択します。

3 <停止/終了>を押す

### トレイ開閉時確認を設定する

トレイ開閉時確認は、本体の設定と記録紙トレイにセットした記録紙サイズが一致するように、トレイの記録紙設定を促すメッセージを表示します。お買い上げ時の初期設定は、【オン】に設定されています。

1 <メニュー>→<1>→<3>→<3>  
を押す

2 <▲>または<▼>を押して<オン>または<オフ>を選択し、<OK>を押す

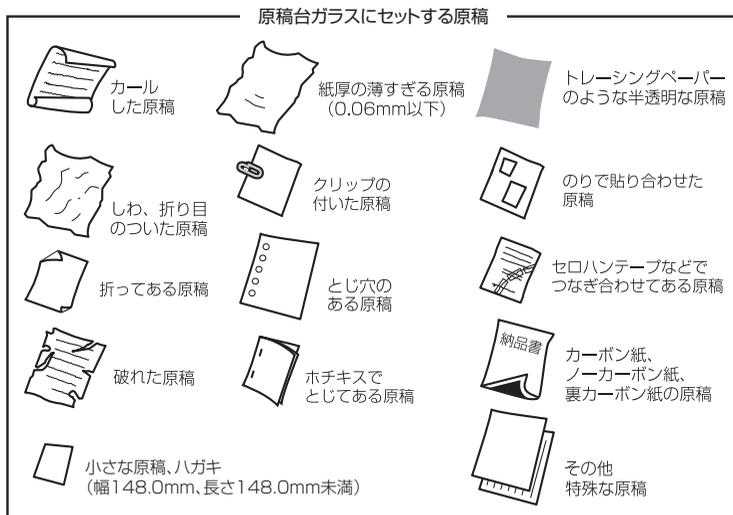
3 <停止/終了>を押す

## 原稿の基本

### 原稿セットで注意事項

インクや修正液、のりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。  
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットするときには注意することは、以下のとおりです。

- 原稿のクリップやホチキスの針は、故障の原因となりますので取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- 原稿を強く押しこまないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用してください。ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシート（市販品）はお使いになれません。



## 注意

### コピーについて

法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債、地方債
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手やハガキ（日本郵便株式会社製 通常郵便葉書）
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、金券などの切符類

## 原稿をセットする

原稿をセットするには、ADF（自動原稿送り装置）または、原稿台ガラスの2つの方法があります。原稿の種類や形状に応じてどちらかを選択してください。

セットできる原稿については、⇒40ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

### 補足

原稿台ガラスやスキャナー読み取り部が汚れていると、印刷品質に影響することがあります。原稿台ガラスやスキャナー読み取り部の清掃については、⇒73ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。

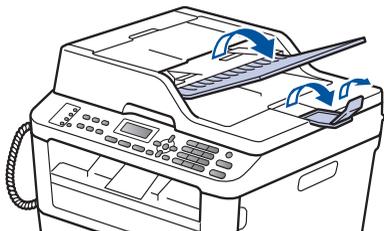
### ADF(自動原稿送り装置)にセットする

原稿は一度に35枚までセットできます。

ADFで読み取ることができる原稿サイズは以下のとおりです。

- 長さ：147.3～355.6mm
- 幅：147.3～215.9mm
- 用紙坪量：64～90g/㎡

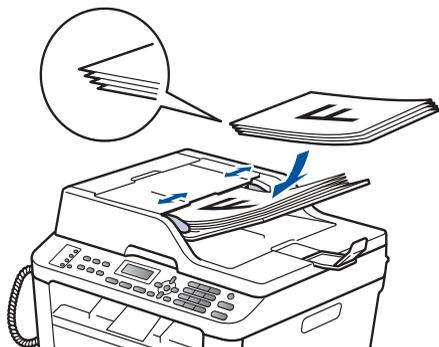
#### 1 原稿トレイと原稿ストッパーを開ける



#### 2 紙づまりを防ぐため、原稿をよくさばく

#### 3 原稿の読み取る面を上にしてイラストのように原稿の先端をずらし、原稿の先端が軽く当たり、宛先入力画面が表示されるまで差し込む

原稿ガイドは原稿の幅に合わせます。



## 原稿台ガラスにセットする

原稿は1枚ずつセットします。本または厚い原稿なども原稿台にセットします。

原稿台で読み取ることができる原稿サイズは以下のとおりです。

- ・長さ：最大300.0mm
- ・幅：最大215.9mm
- ・重さ：2.0kg

### ！重要

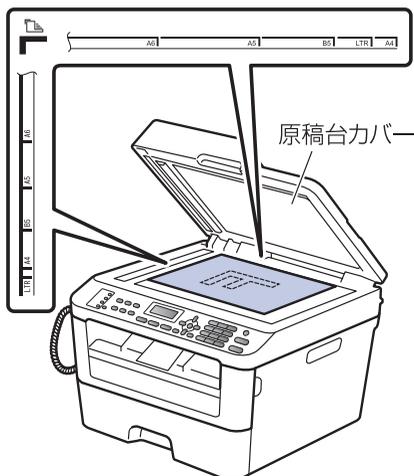
本や厚みのある原稿のときには、原稿台カバーをていねいに閉じてください。また、上からあまり強く押さないでください。

### 注意

原稿台カバーは必ず閉じてからファクス送信、コピー、またはスキャンをしてください。開いたままですと画像が黒くなることがあります。

## 1 原稿台カバーを持ち上げる

## 2 原稿ガイド左奥に合わせて、原稿の読み取る面を下にセットする



## 3 原稿台カバーを閉じる

本や厚みのある原稿のときは、原稿台カバーを無理に閉じずに軽く押さえてください。



## 原稿の読み取り設定をする

使用状況に応じて原稿の読み取り設定をしてください。

## 原稿台スキャンサイズを設定する

原稿台ガラスからファクスをする場合の原稿読み取りサイズを選択します。(お買い上げ時は「A4」に設定されています。)

## 1 <メニュー>→<1>→<8>→<1>を押す

## 2 <▲>または<▼>を押して読み取りサイズを選択し、<OK>を押す 【A4】 / 【USレター】 から選択します。

## 3 <停止/終了>を押す

# ファクス送信の基本

基本的なファクス送信の流れと機能を説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

## ファクス送信の流れ

ファクス送信には、自動送信と手動送信があります。ここでは自動送信を例に操作の流れを説明します。手動送信については、⇒46ページ「ファクスを手動で送信する」を参照してください。

### 注意

原稿台ガラスを使って複数枚の原稿を送信するときは、リアルタイム送信は【オフ】にしてください。リアルタイム送信については⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

### 補足

- 【メモリがいっぱいです】と表示されたときは、本製品のメモリがいっぱいです。メモリに蓄積したファクスを出力してメモリを消去してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- メモリに読み込み可能な原稿の枚数は、ファクス画質と原稿の内容により影響を受けます。

## STEP 1 原稿をセットする

原稿をセットするには以下の2つの方法があります。

### ● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してファクスできます。

### ● 原稿台ガラスにセットする

1枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもファクスできます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

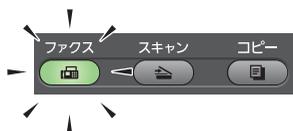
⇒40ページ「原稿セットで注意すること」、

⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

## STEP 2 ファクスモードに切り替える

操作パネルの<ファクス>を押してファクスモードに切り替えます。

ファクス操作を行う場合には、必ずファクスモードになっていることを確認してください。



ファクスモードに切り替えると、以下のようなファクス標準画面に切り替わります。



① : 月 / 日

② : 現在の時刻

③ : 設定したファクスの受信モード

## STEP 3 ファクス送信の機能を設定する

必要に応じてファクスの送りかたを設定します。

### ● 送信条件

- 同じ原稿を複数の相手に送信する〔同報送信〕  
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕  
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 海外へ送信する〔海外送信モード〕  
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 指定時刻に送信する〔タイマー送信〕  
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 送付書を付けて送信する  
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

### ● 原稿読み取り

- 画質  
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 原稿濃度  
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 原稿台ガラスの読み取りサイズ  
原稿台ガラスでA4サイズの前稿を読み取るときは、必ず【原稿台スキャンサイズ】を【A4】に設定してください。  
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

### ポイント

#### 複数の設定を組み合わせたいとき

設定後、<1> を押して他の機能を設定します。他の機能を設定しないときは、<2> を押したあと、「STEP 4 宛先を指定する」に進みます。

## STEP 4 宛先を指定する

### ● 直接入力

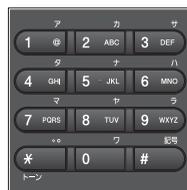
- ダイヤルボタンを使用する  
ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。

### ● 電話帳を利用

- 本製品の電話帳に宛先を登録する  
⇒55ページ「電話帳の基本」
- 電話帳から検索する  
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

### ● その他

- 同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- チェーンダイヤルを使用する ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」



## STEP 5 スタートする

### ● ADF（自動原稿送り装置）から送信するとき

<スタート>を押して、ファクスを開始します。

正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

### ● 原稿台ガラスから送信するとき

<スタート>を押して、ファクスを開始します。

#### ● 原稿が1枚のとき

<2>、または<スタート>を押して、ファクスを開始します。

#### ● 原稿が複数枚のとき

<1>を押して、次の原稿をセットしたあと<OK>を押します。

この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>、または<スタート>を押して、ファクスを開始します。

### ポイント

#### ファクス送信を途中で中止したいとき

<停止 / 終了> → <1> を押します。

## ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、<オンフック/保留>を押して相手先の受信音を確認してから送信します。

**1** 原稿をセットして、ファクスモードに切り替える

**2** <オンフック/保留>を押して、相手先のファクス番号を入力する

**3** 相手先の受信音（ビー）を確認して<スタート>を押す

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で<1>を押します。

### 補足

ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。

## ファクス送信を中止する

原稿の読み込みや送信を途中で中止します。

**1** <停止/終了>を押す

# ファクス受信の基本

## ファクス受信の流れ

受信モードの設定の流れを説明します。受信モードを設定すると、電話モード以外では自動的にファクスを受信します。ここでは、受信したファクスを自動的に本製品の記録紙で印刷する自動受信を例に操作の流れを説明します。他に本製品のメモリで受信するメモリ受信、受信操作を自分で行う手動受信、本製品に接続されている電話機を使用して受信操作を行うリモート受信などさまざまな受信方法があります。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

### 補足

受信したファクスはA4サイズで印刷してください。

## STEP 1 受信モードを選ぶ

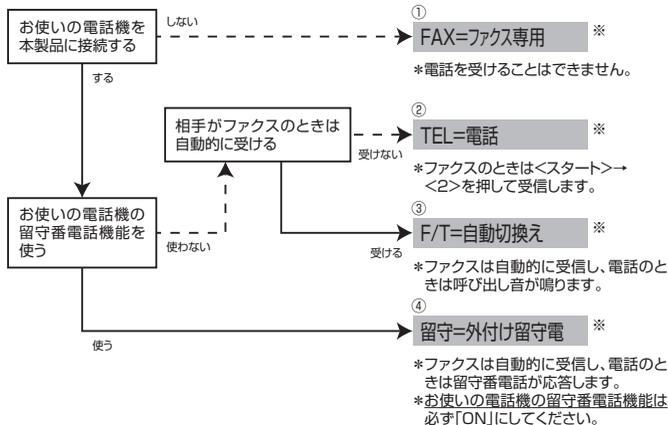
本製品の受信モードには以下の4つの種類があります。

使用目的に応じて、受信モードを選択します。

⇒49ページ「受信モードの種類」

### ● お使いの電話機を本製品と接続しない場合 ● お使いの電話機を本製品と接続する場合

- |                    |   |
|--------------------|---|
| <p>① ファクス専用モード</p> | <p>② 電話モード</p> <p>③ 自動切換えモード</p> <p>④ 外付け留守電モード</p> |
|--------------------|---|



※受信モード設定時、液晶ディスプレイに表示される選択項目です。

## STEP 2 受信モードを設定する

STEP 1で選択したモードに合わせて、本体を設定します。

⇒53ページ「受信モードを設定する」

## STEP 3 受信するファクスの印刷方法を設定する（必要に応じて）

必要に応じて、ファクスの印刷方法を設定します。

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

- 自動的に縮小して印刷する
- 受信スタンプを設定する
- 受信したファクスを両面印刷する

## 受信したファクスが印刷できないときは（メモリ代行受信）

以下の場合、送られてきたファクスを自動的にメモリに記憶します。

- 記録紙がなくなったとき
- トナーがなくなったとき
- 記録紙がしまったとき
- 間違ったサイズの記録紙をセットしたとき

画面の指示に従って操作すると、メモリに記憶された内容を印刷できます。

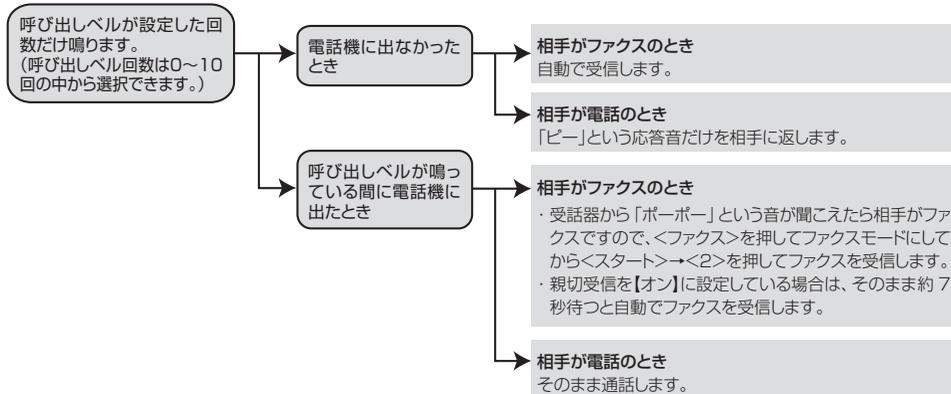
### 補足

- メモリがいっぱいになると、それ以降はメモリ代行受信はできません。
- メモリ代行受信できるのは約400枚です。

## 受信モードの種類

### ファクス専用モード

本製品をファクス専用として使用するモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

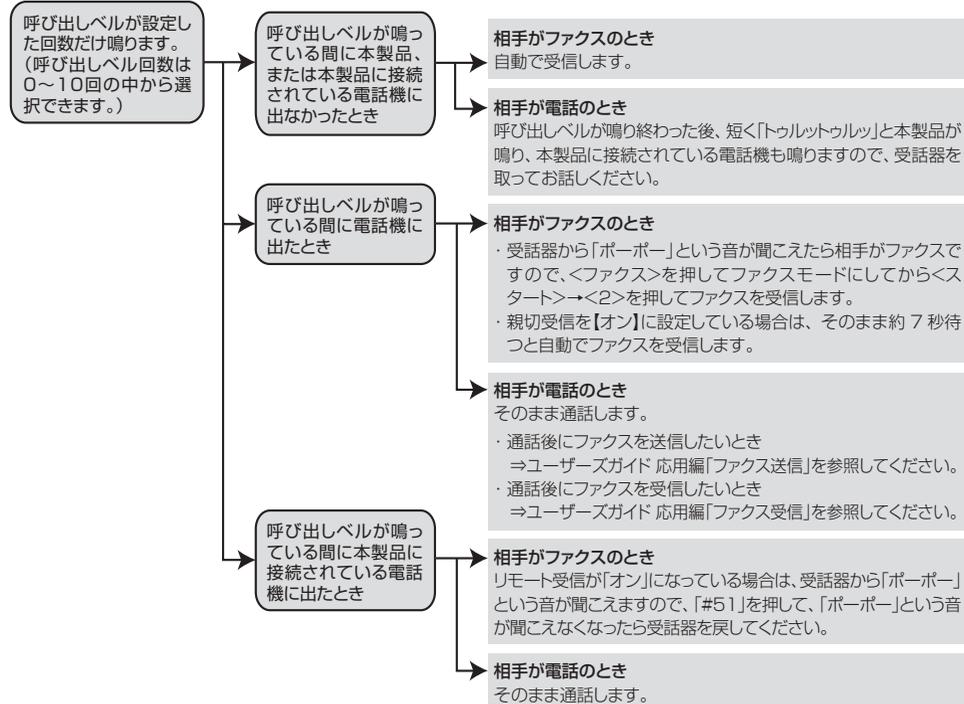


#### 補足

- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本製品に接続してお使いになるときは、ファクス専用モードに設定しないでください。
- 呼び出しベル回数は、0~10回の中から選択できます。0回に設定すると呼び出しベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼び出しベル回数を0回か1回に設定してください。呼び出しベル回数の設定のしかたは⇒53ページ「呼び出しベル回数を設定する」を参照してください。

## 自動切換えモード

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは本製品、または本製品に接続されている電話機を呼び出す便利なモードです。



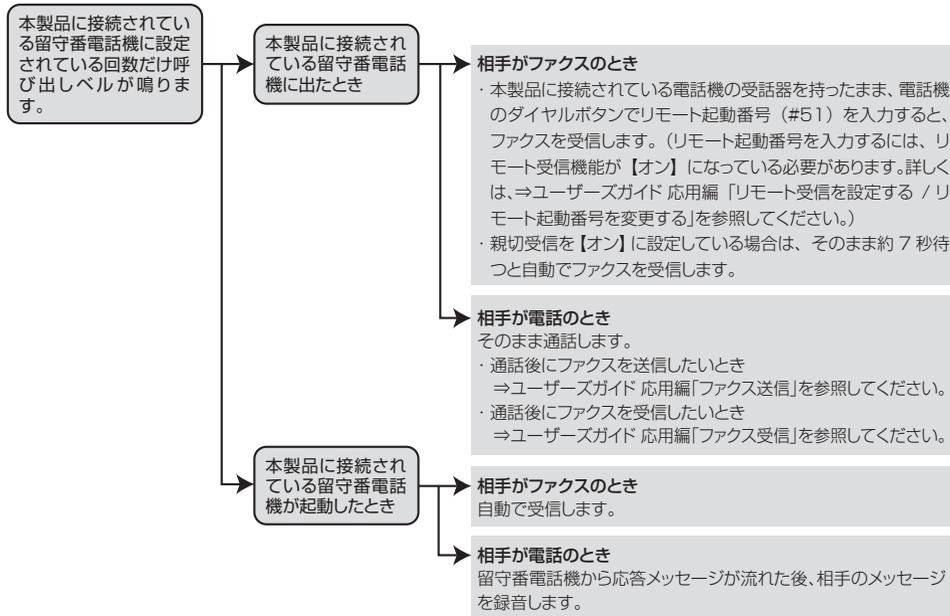
### 補足

- 呼び出しベル回数の設定のしかたは⇒53ページ「呼び出しベル回数を設定する」を参照してください。
- 電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らし、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。⇒54ページ「ファクス無鳴動受信を設定する」を参照してください。
- 自動切換えモードでは、本製品に接続されている電話機に出なかったときでも相手に通話料金ががかかります。
- 親切受信を「オン」に設定しているときは、回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは<スタート>→<2>を押してから受話器を戻してください。\*
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を【オフ】にしてください。
- 相手が手動送信ファクスの場合は、受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して<スタート>→<2>を押してください。\*
- 呼び出しベル回数を7回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼び出しベル回数を6回以下に設定することをおすすめします。
- 本製品と接続している電話によっては、電話機から呼び出しベルが鳴らない場合があります。このときは、呼び出しベル回数の設定を長めにしてください。
- 本製品に複数台の電話機を接続したときは、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

\* 本製品の操作時のみ。

## 外付け留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本製品に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。



### 注意

本製品に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

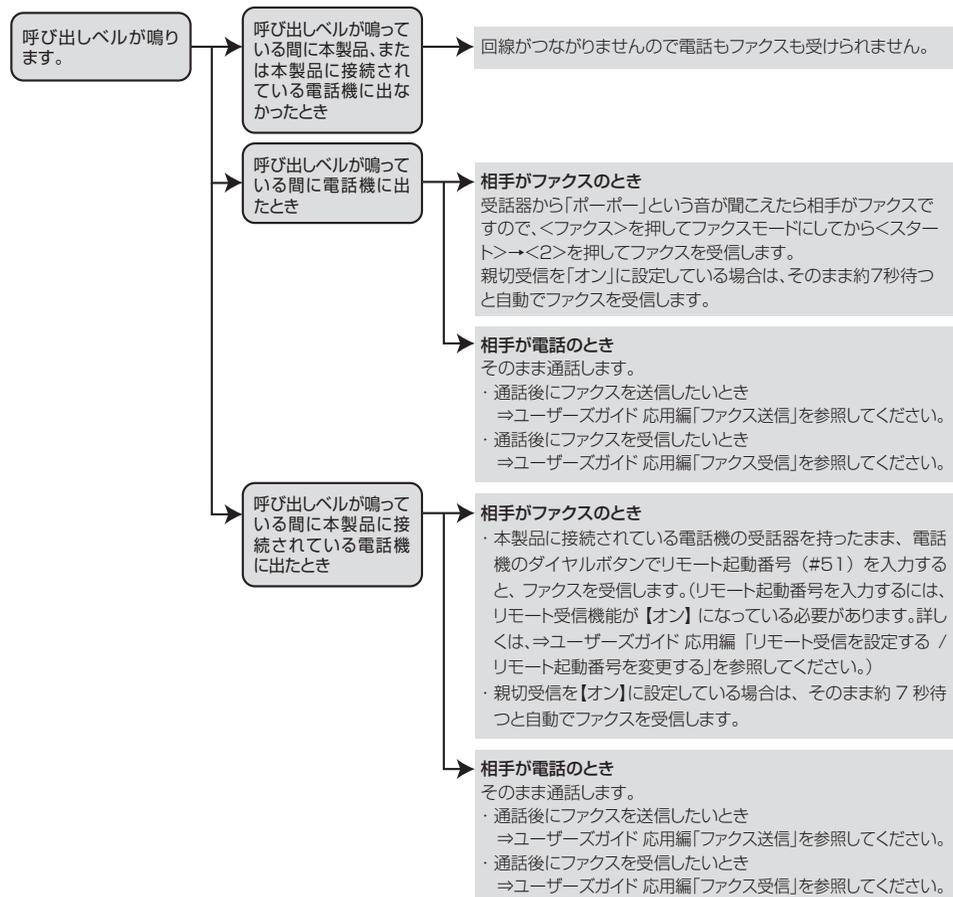
- ・留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- ・応答するまでのベル回数は短め（1～2回）に設定してください。
- ・応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- ・応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- ・録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

### 補足

- メッセージがいっぱいでも留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的に応答しません。
- 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

## 電話モード

本製品に接続されている電話機に出た後、手でファクスが受けられます。主に、本製品に接続した電話機を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。



## 補足

### ファクス受信について

- 本製品に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、ファクス受信はできません。原稿を取り除いてから <スタート>→<2>を押してください。<sup>※1</sup>  
ただし、以下の場合はADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
  - ・親切受信 ⇒ユーザーズガイド 応用編「親切受信で受信する」
  - ・リモート受信 ⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」
  - ・自動受信 ⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」
- 相手が手動送信ファクスの場合は、受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して<スタート>→<2>を押してください。<sup>※1</sup>

※1:本製品の操作時のみ。

### キャッチホン<sup>※2</sup>契約をされているとき

- NTTとキャッチホンまたはキャッチホンIIの契約をされている方は、キャッチホン/キャッチホンIIサービスを利用することができます（局番なしの116番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンIIのご利用をおすすめします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをおすすめします。

※2:「キャッチホン」はNTTの登録商標です。ご利用の電話会社によっては同様のサービスでも名称が異なることがあります。

## 受信モードを設定する

1 <メニュー>→<2>→<2>→<2>  
を押す

2 <▲>または<▼>を押して受信モードを選択し、<OK>を押す

【FAX=ファクス専用】 / 【F/T=自動切換え】 / 【留守=外付け留守電】 / 【TEL=電話】 から選択します。

3 <停止/終了>を押す

## 補足

【FAX=ファクス専用】以外を設定した場合は、必ず電話機を本製品に接続してください。

## 呼び出しベル回数を設定する

受信モードが【FAX=ファクス専用】と【F/T=自動切換え】のときに、自動受信するまでの呼び出しベル回数を設定します。

1 <メニュー>→<2>→<1>を押す

2 <▲>または<▼>を押して呼出ベル回数を選択し、<OK>を押す

[0] / [1] / [2] / [3] / [4] / [5] / [6] / [7] / [8] / [9] / [10] から選択します。

3 <停止/終了>を押す

### 補足

- 呼び出しベル回数は、0回に設定すると呼び出しベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼び出しベル回数を0回か1回に設定してください。
- 本製品に電話機を接続している場合、本製品の呼び出しベル回数を0回に設定しても本製品に接続されている電話機のベルが1~2回鳴ることがあります。
- 呼び出しベル回数を7~10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼び出しベル回数を6回以下に設定されることをおすすめします。
- 受信モードが【FAX=ファクス専用】や【F/T=自動切換え】のとき、本製品に接続されている電話機の呼び出しベルも、ここで設定された回数だけ呼び出しベルが鳴ります。
- ベルの音量を設定するには⇒ユーザーズガイド 応用編「着信音量を設定する」を参照してください。

### 再呼び出しベル回数を設定する

受信モードが【F/T=自動切換え】のときに電話がかかってくると、呼び出しベルの後に、「トゥルットゥルッ」と呼び出しベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

- 1 <メニュー>→<2>→<2>→<3>を押す
- 2 <▲>または<▼>を押して再呼び出しベル回数を選択し、<OK>を押す  
【8】 / 【15】 / 【20】 から選択します。
- 3 <停止/終了>を押す

### 補足

本製品の受話器、または本製品に接続されている電話機に出なかった場合は、設定した回数だけ再呼び出しベルが鳴った後、自動的に電話が切れます。

### ファクス無鳴動受信を設定する

受信モードが【F/T=自動切換え】のときに、電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。

- 1 <メニュー>→<2>→<2>→<1>を押す
- 2 <▲>または<▼>を押して【オン】を選択し、<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

# 電話帳の基本

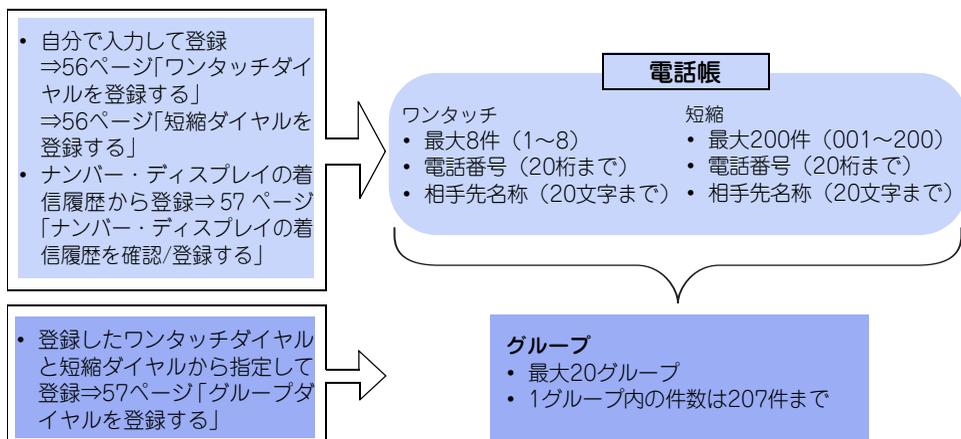
## 電話帳について

本製品の電話帳に相手先情報を登録する方法や、電話帳を編集する方法について説明します。

電話帳に相手先の情報を登録するには、以下の図のように「ワンタッチ」<短縮>のいずれかに登録する必要があります。

グループダイヤルは、ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録した複数の相手先をまとめて1つのグループとして登録します。

電話帳を使用してファクス送信をする方法は、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。



## 電話帳に登録する

### 注意

- ファクス番号は必ず市外局番から登録してください。ナンバー・ディスプレイの名前/着信履歴が正しく表示されない場合があります。
- 間違ったファクス番号を誤って登録しないよう注意してください。ファクス番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。
- 登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。送付書については⇒ユーザーズガイド 応用編「送付書を付けて送信する」を参照してください。

### 補足

- ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に<\*>を押してください。
- 文字入力のしかたについては⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。
- 電話帳は、リモートセットアップやウェブブラウザ設定から登録することもできます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。
- ポーズを入力するには、< 再ダイヤル / ポーズ > を押します。液晶ディスプレイに「p」が表示されます。
- 登録内容を忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷して確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リストの種類」を参照してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされている場合は、登録することができません。

## ワンタッチダイヤルを登録する

20桁までのファクス番号と20文字までの相手先の名称を1~8（最大8件）に登録することができます。

### 1 管理するワンタッチボタンを押して、<1>を押す

- 5~8に登録するときは、<シフト>を押しながらワンタッチボタンを押します。
- すでにワンタッチダイヤルが登録されている場合、登録内容が表示されます。登録内容を変更する場合は⇒58ページ「ワンタッチダイヤルを編集する」を参照してください。

- <メニュー>→<2>→<5>→<1>からも登録することができます。

## 2 以下の手順で情報を登録する

### 1 ファクス番号を入力→<OK>

ファクス番号は20桁まで入力できます。入力できる文字は、以下のとおりです。

- 数字：0 ~ 9
  - 記号：\*、#
  - スペース：<▶>を押す
  - ポーズ：約3秒の待ち時間（液晶ディスプレイには「p」と表示）
- ※カッコは入力できません。

### 2 名前を入力→<OK>

- 名前は20文字まで登録できます。
- 名前を入力しない場合はそのまま <OK> を押してください。

### 3 読みがなを入力→<OK>

### 4 <▲> または <▼>（ファクスの解像度を選択）→<OK>

必要に応じて設定します。

## 短縮ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルとは別に電話番号と相手先の名称を、001~200（最大200件）に登録することができます。

### 1 <▲>を2回押して、登録する短縮番号（001 ~ 200）をダイヤルボタンで入力した後、<1>を押す

- すでに短縮ダイヤルが登録されている場合、登録されている内容が表示されます。
- 登録内容を変更する場合は⇒59ページ「短縮ダイヤルを編集する」を参照してください。
- <メニュー>→<2>→<5>→<2>からも登録することができます。

### 2 ⇒56ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」の手順2に準じて必要な情報を登録する

## ナンバー・ディスプレイの着信履歴を確認/登録する

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用して以下の機能が利用できます。

- ・着信履歴を検索する
- ・電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する
- ・着信履歴リストを印刷する⇒ユーザーズガイド応用編「レポート・リストを印刷する」

### 注意

- ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。
- 電話帳と同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されている場合、重複して登録されます。

1 <シフト>を押しながら<▼>を押す

2 <▲>または<▼>で電話番号を選択して<OK>を押す

確認の場合は、確認を終えたら手順6へ進んでください。

3 <OK>を押す

4 ワンタッチダイヤルに登録する場合は<1>を、短縮ダイヤルに登録する場合は<2>を押す

5 ⇒56ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」の手順2の2から必要な情報を登録する

6 <停止/終了>を押す

### 補足

「外付け電話優先」でご使用の場合は、着信履歴が本製品に接続されている電話機に残りますので、本製品で着信履歴を利用することはできません。

## グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を、まとめて1つのグループとして登録します。これをグループダイヤルといいます。送信のたびに複数の相手先を指定する必要がなく、グループを指定するだけで送信できます。同報送信などをするときに使うと便利です。グループダイヤルは、最大20グループ登録することができます。

### 注意

グループダイヤルに登録するためには、あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録しておく必要があります。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

1 <メニュー>→<2>→<5>→<3>を押す

2 グループダイヤルとして登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを選択する

- ・ワンタッチダイヤルに登録するときワンタッチボタンを押します。  
5~8を登録するとき、<シフト>を押しながらワンタッチボタンを押します。
- ・短縮ダイヤルに登録するとき<▲>を押して短縮番号(001~200)を入力した後、<OK>を押します。

3 グループ番号(1~20)をダイヤルボタンで入力して、<OK>を押す

すでに登録しているグループ番号を入力したときは「やり直してください」と表示されます。登録されていないグループ番号を選んでください。

4 グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力して、<OK>を押す

1つのグループには、最大207件まで登録できます。

例)ワンタッチボタンの「4」と短縮ダイヤルの「009」をグループダイヤルに登録したい場合  
・ワンタッチボタンの「4」→<▲>→<0>→<0>→<9>の順に押します。

## 5 以下の手順で情報を登録する

- 1 グループ名を入力→<OK>  
グループ名は20文字まで登録できます。
- 2 読みがなを入力→<OK>
- 3 <▲>または<▼>（ファクスの解像度を選択）→<OK>  
必要に応じて設定します。

## 6 <停止/終了>を押す

## 電話帳を編集する

電話帳に登録している名前や番号を変更したり、消去できます。

送信待ちのファクスがある宛先(タイマー送信やファクス転送先など)は、送信待ちのファクスをキャンセルするまでは、変更したり消去することはできません。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信待ちを確認または解除する」を参照してください。

## ワンタッチダイヤルを編集する

- 1 <メニュー>→<2>→<5>→<1>  
を押す

- 2 変更するワンタッチボタンを押して、<1>を押す

### 補足

ワンタッチダイヤルを削除するには

登録しているワンタッチダイヤルを削除するには、<2>→<1>→<停止/終了>を押してください。

## 3 以下の手順で情報を変更する

- 1 電話番号（20桁まで）を入力→<OK>  
カッコ「()」、ハイフン「-」は入力できません。
- 2 名前を入力→<OK>  
名前は20文字まで登録できます。
- 3 読みがなを入力→<OK>
- 4 <▲> または <▼>（ファクスの解像度を選択）→<OK>  
必要に応じて設定します。  
続けて編集する場合は、手順2～3を繰り返します。

### 補足

電話番号、名前、読みがな、またはファクスの解像度を変更しない場合は、そのまま<OK>を押してください。

## 4 <停止/終了>を押す

## 短縮ダイヤルを編集する

1 <メニュー>→<2>→<5>→<2>  
を押す

2 変更する短縮番号をダイヤルボタン  
で入力して、<OK>を押した後、<1>  
を押す

### 補足

短縮ダイヤルを削除するには

登録している短縮ダイヤルを削除するには、<2>→  
<1>→<停止/終了>を押してください。

3 ⇒58ページ「ワンタッチダイヤルを  
編集する」の手順3に準じて必要な情  
報を変更する

4 <停止/終了>を押す

## グループダイヤルを編集する

1 <メニュー>→<2>→<5>→<3>  
を押す

2 変更するグループが登録されている  
ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイ  
ヤルを選択する

- ・ワンタッチダイヤルの場合は、ワンタッチ  
ボタンを押してください。
- ・短縮ダイヤルの場合は、<▲>を押して短縮  
番号(001~200)を入力した後、<OK>を  
押してください。

3 <1>を押す

### 補足

グループダイヤルを削除するには

<2>→<1>→<停止/終了>を押してください。

4 以下の手順でグループダイヤルを編  
集する

グループダイヤルに宛先を追加する

追加するワンタッチダイヤルまたは短縮ダ  
イヤルを入力→<OK>

グループダイヤルから宛先を削除する

<◀>または<▶>(削除するワンタッチダ  
イヤルまたは短縮ダイヤルを選択)→<ク  
リア>→<OK>

5 ⇒57ページ「グループダイヤルを登  
録する」の手順5に準じて必要な情報  
を変更する

変更しないときは、そのまま<OK>を押しま  
す。

6 <停止/終了>を押す

## コピーの基本

### コピーの流れ

基本的なコピー操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

#### STEP 1 原稿をセットする

原稿をセットするには以下の2つの方法があります。

##### ● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してコピーできます。

原稿が正しくセットされると、液晶ディスプレイに【原稿セットOK】と表示されます。

##### ● 原稿台ガラスにセットする

1枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもコピーできます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

⇒40ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

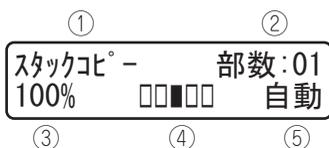
#### STEP 2 コピーモードに切り替える

操作パネルの<コピー>を押してコピーモードに切り替えます。

コピー操作を行う場合には、必ずコピーモードになっていることを確認してください。



コピーモードに切り替えると、以下のようなコピー標準画面に切り替わります。



- ①：設定したコピーモード
- ②：コピー枚数
- ③：倍率
- ④：コントラスト
- ⑤：画質

## STEP 3 部数を入力する

部数（1～99）をダイヤルボタンで入力します。



## STEP 4 コピー設定をする

必要に応じてコピーの仕上がりがたを設定します。

⇒62ページ「コピー設定について」

### ● コピーの出力形式を設定したいとき

■ソートコピー ⇒63ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」

■両面コピー ⇒64ページ「両面コピーをする」

■レイアウトコピー（N in 1コピー）⇒65ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕」

■2 in 1Dコピー ⇒68ページ「2 in 1 Dコピーをする」

### ● コピーの倍率を変更したいとき

■拡大・縮小コピー ⇒63ページ「拡大・縮小コピーをする」

### ● コピーの質を調整したいとき

■画質 ⇒66ページ「画質を設定する」

■明るさ ⇒66ページ「明るさを設定する」

■コントラスト ⇒67ページ「コントラストを設定する」

### ● コピーで使用する記録紙を節約したいとき

■記録紙節約 ⇒65ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕」

## STEP 5 スタートする

### ● ADF（自動原稿送り装置）からコピーするとき

<スタート>を押します。

正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

### ● 原稿台ガラスからコピーするとき

<スタート>を押します。

ポイント

コピーを途中で中止したいとき  
<停止/終了>を押します。

## コピー設定について

必要に応じて、コピーの仕上げに関する設定を行います。  
設定には「自分がコピーするときだけ一時的に設定するもの」と「設定内容を保存していつでも設定した内容でコピーするもの」の2種類があります。

分類	機能	一時的な設定 (操作の入り口)	保存する設定 (操作の入り口)	参照
倍率	拡大/縮小	<オプション>→ 【拡大/縮小】	-	⇒63ページ「拡大・縮小コピーをする」
出力形式	ソートコピー	<オプション>→ 【スタック/ソートコピー】→ 【ソートコピー】	-	⇒63ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
	両面コピー	<両面>	-	⇒64ページ「両面コピーをする」
	レイアウトコピー	<オプション>→ 【レイアウトコピー】→ レイアウト	-	⇒65ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー (N in 1コピー)〕」
	2 in 1 IDコピー	<2in1 (ID)コピー>	<メニュー>→ <3>→<4>	⇒68ページ「2 in 1 IDコピーをする」
質	画質	<オプション>→ 【コピー画質】	<メニュー>→ <3>→<1>	⇒66ページ「画質を設定する」
	明るさ	<オプション>→ 【明るさ】	<メニュー>→ <3>→<2>	⇒66ページ「明るさを設定する」
	コントラスト	<オプション>→ 【コントラスト】	<メニュー>→ <3>→<3>	⇒67ページ「コントラストを設定する」

## 拡大・縮小コピーをする

倍率を変えてコピーすることができます。

- 1 原稿をセットした後、<コピー>を押し、部数を入力する
- 2 <オプション>を押す
- 3 <▲>または<▼>を押して【拡大/縮小】を選択し、<OK>を押す
- 4 倍率を選択し、<OK>を押す  
【カスタム (25-400%)】を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率 (25%~400%) を入力して<OK>を押してください。
- 5 <スタート>を押す

### 補足

原稿によっては画像が欠ける場合があります。

## 1部ごとにコピーする 【ソートコピー】

コピーした記録紙を1部ごとにまとめて、ページ順に並べて出力します。



ソートコピー

- 1 原稿をセットした後、<コピー>を押し、部数を入力する
- 2 <オプション>を押す
- 3 <▲>または<▼>を押して【スタック/ソートコピー】を選択し、<OK>を押す
- 4 <▲>または<▼>を押して【ソートコピー】を選択し、<OK>を押す
- 5 <スタート>を押す  
原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は<1>を押して、次の原稿をセットした後、<OK>を押します。  
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>を押します。

### 補足

原稿の読み込み中に【メモリがいっぱいです】と表示されたときは⇒93ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された! (エラーメッセージ一覧)」を参照してください。

## 両面コピーをする

片面2枚の原稿を両面1枚にコピーすることができます。両面コピーはADF（自動原稿送り装置）から原稿送りさせることをお勧めします。

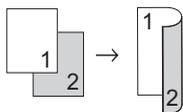
両面印刷ができる記録紙は、A4サイズ（60g/m<sup>2</sup>～105g/m<sup>2</sup>）のみです。

### 補足

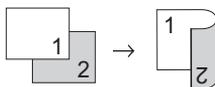
両面原稿を片面2枚や両面1枚にコピーすることはできません。

## 片面→両面 長辺綴じ原稿

縦

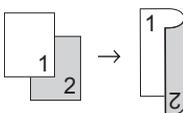


横

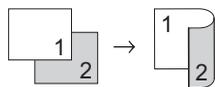


## 片面→両面 短辺綴じ原稿

縦



横



1 原稿をセットした後、<コピー>を押し、部数を入力する

2 <両面>を押す

3 <▲>または<▼>を押して両面コピーの方法を選択し、<OK>を押す

4 <スタート>を押す

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は<1>を押して、次の原稿をセットした後、<OK>を押します。

この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>を押します。

## 複数の原稿を1枚にまとめてコピーする 【レイアウトコピー (N in 1コピー)】

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。

コピーのしかたは以下の種類から選択できます。

### 〔補足〕

2 in 1 IDコピーの場合は、⇒68ページ「2 in 1 IDコピーをする」を参照してください。

## ADF (自動原稿送り装置) の場合

### 【2in1 (縦長)】



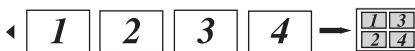
### 【2in1 (横長)】



### 【4in1 (縦長)】



### 【4in1 (横長)】

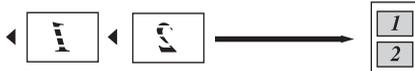


## 原稿台ガラスの場合

### 【2in1 (縦長)】



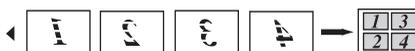
### 【2in1 (横長)】



### 【4in1 (縦長)】



### 【4in1 (横長)】



**1** 原稿をセットした後、<コピー>を押し、部数を入力する

**2** <オプション>を押す

**3** <▲>または<▼>を押して【レイアウトコピー】を選択し、<OK>を押す

**4** <▲>または<▼>を押してレイアウトを選択し、<OK>を押す

【オフ(1in1)】 / 【2in1(縦長)】 / 【2in1(横長)】 / 【4in1(縦長)】 / 【4in1(横長)】 から選択します。

**5** <スタート>を押す

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は<1>を押して、次の原稿をセットした後、<OK>を押します。

この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>を押します。

### 〔補足〕

- レイアウトコピー (N in 1コピー) では、拡大/縮小機能は使えません。
- 記録紙のサイズは「A4」または「USレター」がセットされていることを確認してください。

## 画質を設定する

【コピー画質】の設定を変更します。  
画質は以下の中から選択することができます。

- ・【自動】：  
自動的に画質を調整します。
- ・【テキスト】：  
薄い文字をはっきりと印刷します。
- ・【写真】：  
グラデーションをきれいに印刷します。
- ・【レシート】：  
レシートの文字をきれいに印刷します。

### 一時的に設定する

一時的に画質を変えてコピーすることができます。

- 1 原稿をセットした後、<コピー>を押し、部数を入力する
- 2 <オプション>を押す
- 3 <▲>または<▼>を押して【コピー画質】を選択し、<OK>を押す
- 4 <▲>または<▼>を押して画質を選択し、<OK>を押す
- 5 <スタート>を押す

### 設定内容を保持する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

- 1 <メニュー>→<3>→<1>を押す
- 2 <▲>または<▼>で画質を選択して、<OK>を押す  
<OK>を押すと、設定した内容が保存されません。
- 3 <停止/終了>を押す

## 明るさを設定する

明るさを5段階で調整することができます。

### 一時的に設定する

「明るさ」の設定を変更します。

- 1 原稿をセットした後、<コピー>を押し、部数を入力する
- 2 <オプション>を押す
- 3 <▲>または<▼>を押して【明るさ】を選択し、<OK>を押す
- 4 <◀>または<▶>を押して明るさを選択し、<OK>を押す
- 5 <スタート>を押す

### 設定内容を保持する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

- 1 <メニュー>→<3>→<2>を押す
- 2 <◀>または<▶>で明るさを選択して、<OK>を押す  
<◀>を押すと暗くなり、<▶>を押すと明るくなります。
- 3 <停止/終了>を押す

## コントラストを設定する

コントラストを5段階で調整することができます。

### 一時的に設定する

一時的にコントラストを変えてコピーすることができます。

- 1 原稿をセットした後、<コピー>を押し、部数を入力する
- 2 <オプション>を押す
- 3 <▲>または<▼>を押して【コントラスト】を選択し、<OK>を押す
- 4 <◀>または<▶>を押してコントラストを選択し、<OK>を押す
- 5 <スタート>を押す

### 設定内容を保存する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

- 1 <メニュー>→<3>→<3>を押す
- 2 <◀>または<▶>でコントラストを選択して、<OK>を押す  
<OK>を押すと、設定した内容が保存されます。
- 3 <停止/終了>を押す

## 2 in 1 IDコピーをする

IDカードや身分証明書などカードサイズの表裏を、そのサイズのままコピーすることができます。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。ADF（自動原稿送り装置）からコピーはできません。

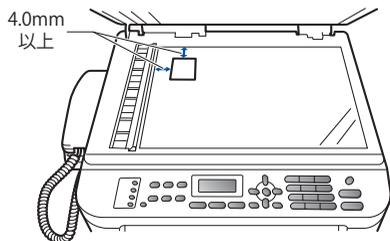
### 補足

IDカードや身分証明書などの個人情報の取り扱いには、十分注意してください。

#### 1 <コピー>を押す

#### 2 原稿台ガラスの左側に、裏向きにしてコピーするカードをおく

イラストのように、原稿台ガラスの左側に、端から4.0mm以上空けてカードをセットしてください。



#### 3 <2in1 (ID) コピー>を押す

#### 4 ダイヤルボタンを押して部数を入力する

#### 5 <スタート>を押す

#### 6 <▲>または<▼>を押して【はい】を選択し、<OK>を押す

液晶ディスプレイに【IDカードを裏返してください [OK]を押してください】と表示されず。

#### 7 原稿台ガラスのカードを裏返して<OK>を押す

### 設定内容を保存する

2in1IDコピーをするときの、【コピー画質】、【明るさ】、【コントラスト】、【2in1/1in1】の項目を設定できます。

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

#### 1 <メニュー>→<3>→<4>を押す

#### 2 <▲>または<▼>を押して変更する項目を選択し、<OK>を押す

#### 3 <▲>または<▼>を押して設定を選択し、<OK>を押す

手順2、3を繰り返して、変更する項目をすべて設定する

#### 4 <停止/終了>を押す

# プリントの基本

## プリントの流れ

コンピューターからプリントする操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

### STEP 1 準備する (プリンタードライバーのインストール)

付属のCD-ROMの中にあるプリンタードライバーをインストールします。(Windows®のみ)※

※ Macintoshのプリンタードライバーは、サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (<http://support.brother.co.jp/>)から、ダウンロードしてください。

⇒かんたん設置ガイド

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

### STEP 2 コンピューターで印刷を選択する

アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

### STEP 3 プリンターを選択する

[印刷] ダイアログボックスで本製品のプリンター名を選択します。

### STEP 4 印刷内容を設定する

[印刷設定] ダイアログボックスで印刷の詳細を設定し、[OK] をクリックします。

用紙サイズ、印刷の向き、部数、用紙種類、解像度、レイアウト、両面印刷/小冊子印刷、給紙方法などを設定します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

### STEP 5 プリントを開始する

[印刷] をクリックします。

## スキヤンの基本

### スキヤンの流れ

原稿をコンピューターに読み込みます。スキヤンには、操作パネルからスキヤンする方法とコンピューターからスキヤンする方法があります。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

#### STEP 1 準備する（スキヤナードライバーのインストール、ネットワーク設定）

スキヤンする前に以下の2つを準備します。すでに準備が終了している場合は、STEP 2から操作してください。

##### ● スキヤナードライバーをインストールする

付属のCD-ROMの中にあるスキヤナードライバーをインストールします。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

##### ● ネットワークを設定する

ネットワークプリンターとして使用している場合は、ネットワークの設定は終了しています。

まだネットワークの設定が終了していない場合は、本製品にTCP/IPを設定します。

⇒かんたん設置ガイド

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

#### STEP 2 スキヤンのしかたを決める

スキヤンの目的や特徴によって、スキヤンのしかたが異なります。ご都合に応じて、最適なスキヤン方法を決めてから操作を始めてください。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

#### STEP 3 原稿をセットする

原稿をセットするには以下の2つの方法があります。

##### ● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してスキヤンできます。

##### ● 原稿台ガラスにセットする

1枚ずつ手動でスキヤンします。本や厚みのある原稿などもスキヤンできます。

⇒40ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

## ●操作パネルからスキャンする

以降の操作の詳細は、以下を参照してください。  
⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

### STEP 4 スキャンモードに切り替える

操作パネルの<スキャン>を押してスキャンモードに切り替えます。

スキャン操作を行う場合には、必ずスキャンモードになっていることを確認してください。

### STEP 5 スキャンの機能を選択する

機能を選択します。

- ・ OCR
- ・ ファイル
- ・ イメージ
- ・ Eメール添付
- ・ FTPサーバー
- ・ Webサービス※

※ Windows Vista® SP2以降、Windows® 7またはWindows® 8のみ

### STEP 6 保存先/送信先を選択する

・ スキャンしたデータの保存先/送信先を選択します。USB接続の場合は保存先の選択は必要ありません。

・ 必要に応じて、画質やファイル名などを設定します。

### STEP 7 スキャンを開始する

<スタート>を押します。

## ●コンピューターからスキャンする

以降の操作の詳細は、以下を参照してください。  
⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

### STEP 4 アプリケーションでスキャンを選択する

アプリケーション側でスキャンボタンまたはスキャンメニューを選択します。

### STEP 5 スキャンの詳細を設定する

ダイアログボックスで、解像度や明るさ、画像の種類などスキャンの詳細を設定します。

### STEP 6 スキャンを開始する

ダイアログボックスでスキャン開始を指示します。

# 3 日常のお手入れ

## 定期メンテナンス

以下の部品を定期的に清掃することをおすすめします。

- ・記録紙トレイ
- ・原稿台ガラス
- ・ドラムユニット
- ・コロナワイヤー
- ・給紙ローラー

### ⚠ 警告



- ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災やけどの原因となります。



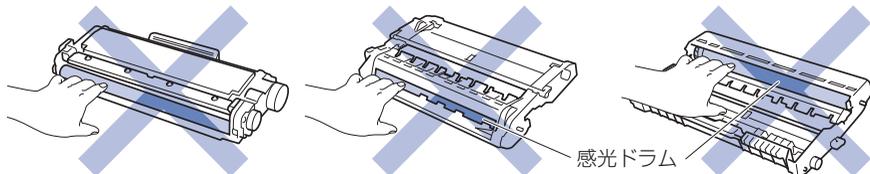
- 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。可燃性スプレーの例は以下のとおりです。
  - ・ほこり除去スプレー
  - ・殺虫スプレー
  - ・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
  - ・アルコールなどの有機溶剤や液体など
- トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

### ! 重要

- 中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。
- アンモニアの成分を含んでいる洗剤は使わないでください。
- 操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネルにひびが入ったり、パネル上の印刷が消えたりすることがあります。
- 印刷品質の劣化を防止するため、イラストのグレーの部分には触れないようしてください。

<トナーカートリッジ>

<ドラムユニット>



- ドラムユニットやトナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 感光ドラムの表面は指で触れないでください。
- ドラムユニットの取り扱いには細心の注意を払ってください。

本製品は柔らかい布で軽く拭いてください。

## 原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する

いつもきれいな画質を得るためにスキャナーの清掃を行ってください。スキャナーが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーがされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細かい線が入るときには、スキャナーを清掃してください。

### 補足

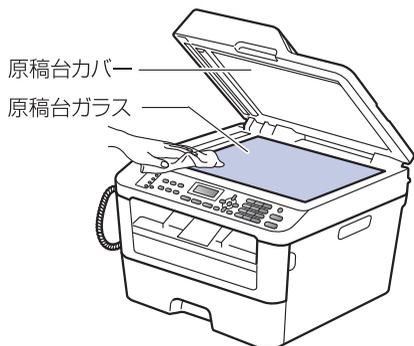
清掃には水やぬるま湯を含ませた柔らかい布を固く絞ってご使用ください。

**1** 本製品の **電源** を長押ししてオフにする

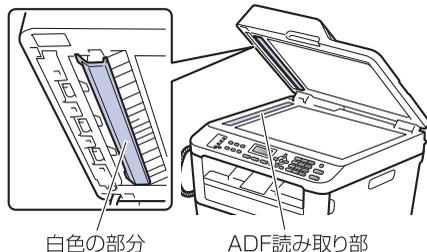
**2** 原稿台カバーを開ける

**3** 清掃する

1 原稿台ガラスと原稿台カバーを拭く

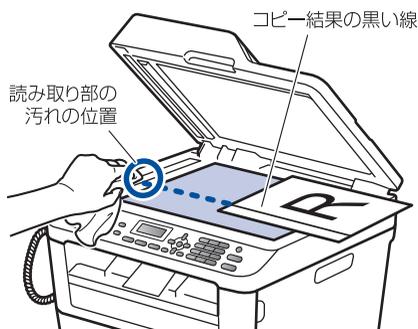


2 原稿台カバー（白色の部分）とADF読み取り部を拭く



### 注意

■ コピーで黒く細かい線が入るときには、ADF 読み取り部の清掃を行ってください。非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますので、ていねいに拭いてください。



■ 汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のガラスを手で触れて汚れの位置を確認し、水やぬるま湯を含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。最後にADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてコピーし、黒い線が消えたか確認してください。

**4** 原稿台カバーを閉じる

**5** 本製品の **電源** を押しオンにする

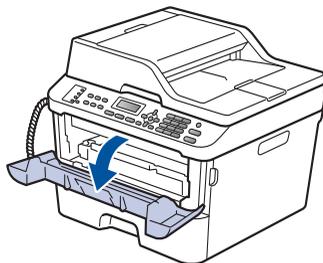
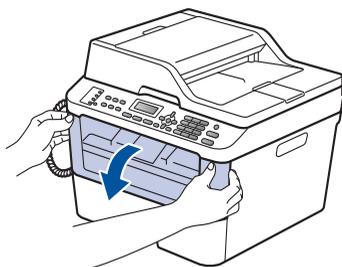
## コロナワイヤーの清掃

コロナワイヤーが汚れていると、印刷された画像が黒っぽく汚れたり、垂直の線が入ることがあります。印刷したページに汚れが入る場合は、コロナワイヤーを清掃してください。

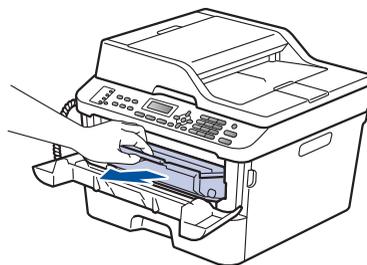
### 1 本製品の電源がオンになっていることを確認する

電源がオフの場合は  を押してオンにします。

### 2 フロントカバーを開ける

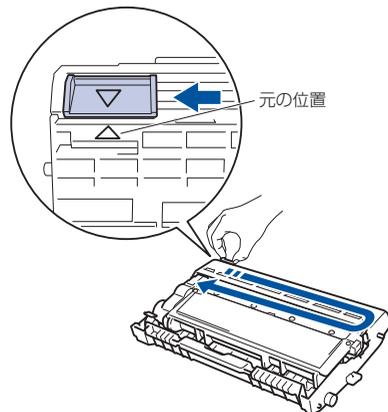


### 3 ドラムユニットを取り出す



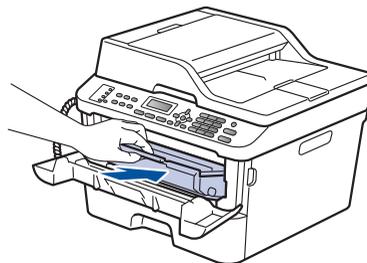
### 4 清掃する

- 1 緑色のつまみを2~3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する
- 2 緑色のつまみを元の位置 (▲) に戻す  
元の位置に戻っていないと、印刷した記録紙に縦縞が入る場合があります。



### 5 元の状態に戻す

- 1 ドラムユニットを戻す

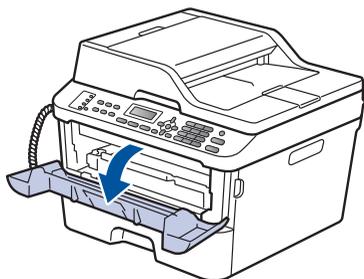
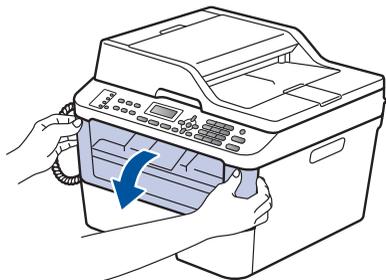


- 2 フロントカバーを閉じる

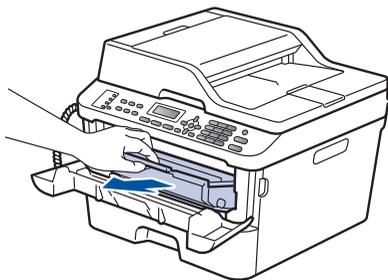
## ドラムユニットの清掃

印刷したページに約94mm間隔で規則的な汚れが見つかったときは、ドラムユニットの清掃が必要です。

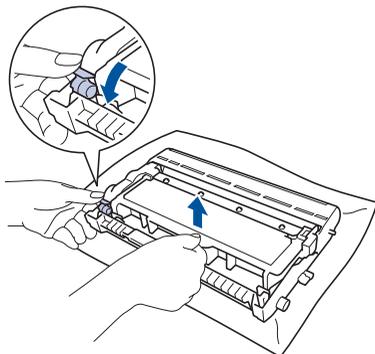
- 1 本製品の  を長押ししてオフにする
- 2 フロントカバーを開ける



- 3 ドラムユニットを取り出す

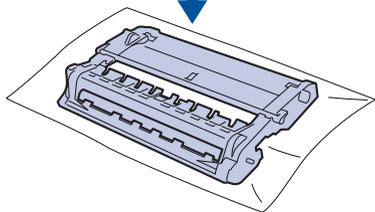
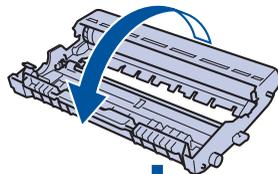


- 3 緑色のロックレバーを押し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す

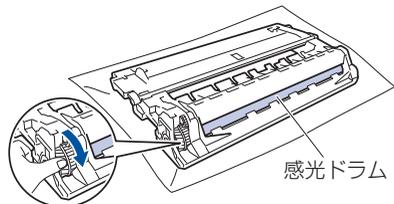


- 4 清掃する

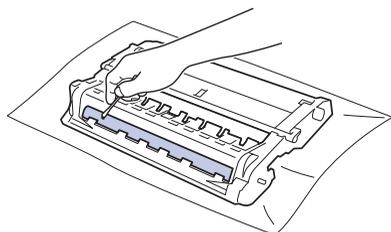
- 1 ドラムユニットを裏返す



- 2 感光ドラムの汚れの場所を特定する  
ドラムユニットの端を手前にゆっくり回しながら、感光ドラムの汚れの場所を手前にします。



3 感光ドラムの表面に付いた汚れや付着物を綿棒で拭き取る



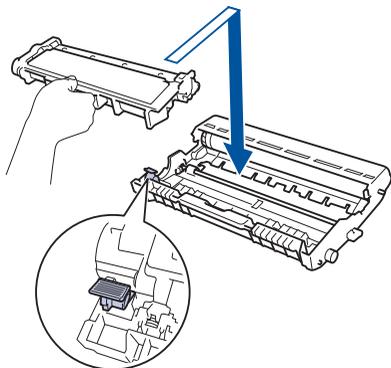
**注意**

- 感光ドラムの表面を尖ったものでふかないでください。
- 電動器具は使用しないでください。

5 ドラムユニットを裏返す

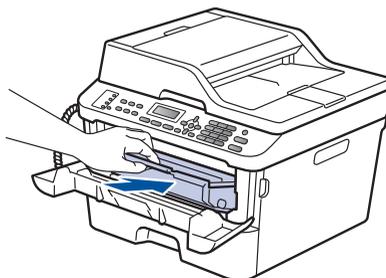
6 トナーカートリッジがロックされるようにドラムユニットに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが元の位置に戻ります。



7 元の状態に戻す

1 ドラムユニットを戻す



2 フロントカバーを閉じる

8 本製品の  を押してオンにする

## 給紙ローラーの清掃

給紙ローラーが汚れていると、記録紙を正常に給紙しないことがあります。その場合は、以下の手順で給紙ローラーを清掃してください。

**1** 本製品の  を長押ししてオフにする

**2** 記録紙トレイを完全に引き出す

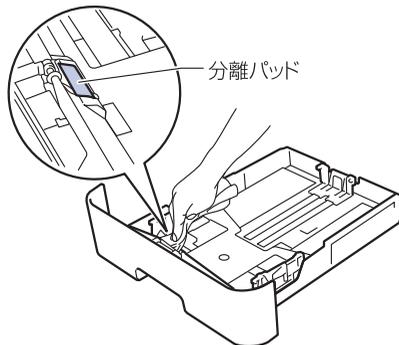


**3** 記録紙トレイから記録紙を取り出す

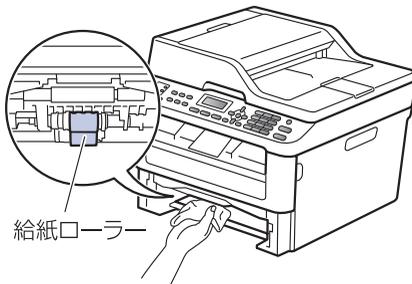
記録紙トレイ内につまった記録紙がある場合は取り除いてください。

**4** 清掃する

1 水またはぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞り、記録紙トレイ内の分離パッドを拭く



2 本製品内部にある給紙ローラー(2つ)を拭く

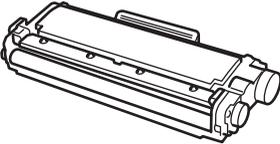
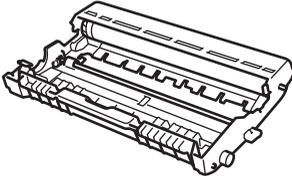


**5** 記録紙をセットして、記録紙トレイを本製品に戻す

**6** 本製品の  を押してオンにする

## 消耗品の交換

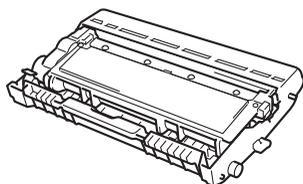
### 消耗品

トナーカートリッジ TN-28J	ドラムユニット DR-23J
	
⇒83ページ	⇒86ページ

## トナーカートリッジとドラムユニットについて

### 注意

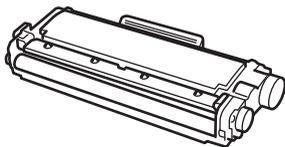
本製品では、画像を作成するドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。トナーの残量がなくなったり、ドラムユニットが寿命により使用できなくなったりしたときには、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを廃却し交換してください。



ドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けた状態

#### トナーカートリッジ

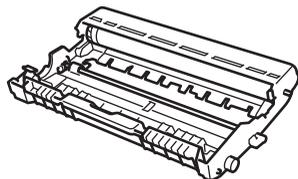
型番、印刷可能枚数については以下の表を参照してください。



印刷するための粉末（トナー）が入っています。

#### ドラムユニット

型番：DR-23J



トナーを記録紙に写すユニットです。

	型番	印刷可能枚数
付属トナーカートリッジ	—	約700枚
標準トナーカートリッジ	TN-28J	約2,600枚

印刷可能枚数はJIS X 6931 (ISO/IEC 19752) 規格に基づく公表値を満たしています。

(JIS X 6931 (ISO/IEC 19752) とはモノクロ電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。)

交換のしかたについては、⇒83ページ「トナーカートリッジの交換」、または⇒86ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

## トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法

---

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、弊社直販サイトのダイレクトクラブでもご購入できます。インターネット、電話またはご注文シートのFAXにてご注文いただくことができます。

### ●インターネットからのご注文

ブラザーダイレクトクラブ

<http://direct.brother.co.jp/>



### ●お電話でのご注文

フリーダイヤル：☎0120-118-825

(土・日・祝日、長期休暇を除く9時～12時、13時～17時)

### ●FAXでのご注文

ご注文シートをダイレクトクラブまでFAXしてください。

FAX番号：052-825-0311

## トナーカートリッジとドラムユニット交換時の注意

### ⚠ 警告



- ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。



- トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

### ⚠ 注意

- トナーが飛び散ることがありますので、目に入ったりしないように注意してください。
- 誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

### ! 重要

- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- 使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合がありますので、取り扱いには注意してください。
- ドラムユニットを直射日光や過度の室内光が当たる場所に長時間放置しないでください。ドラムユニットが損傷することがあります。
- トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品をご使用ください。⇒ 79 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。
- ドラムユニットは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品をご使用ください。⇒ 79 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。
- ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 新しいトナーカートリッジの保護カバーを取り外した後、トナーカートリッジをドラムユニットに取り付けてください。

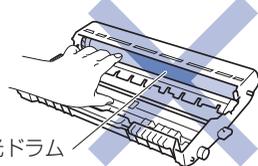
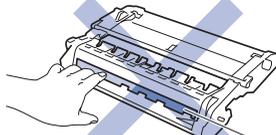
## ！ 重要

- 印刷品質の劣化を防止するため、イラストのグレーの部分には触れないようしてください。

<トナーカートリッジ>



<ドラムユニット>



- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- 最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正のドラムユニットおよびトナーカートリッジを使用してください。本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。

## 注意

- トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。
- 使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、アルミニウムバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。⇒25ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。
- ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。
- 使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。⇒25ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

※新品のトナーカートリッジ、またはドラムユニットが入っていた袋をご利用ください。

## トナーカートリッジの交換

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。⇒25ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。

### 補足

- 最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正ドラムユニットおよびトナーカートリッジを使用してください。本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- トナーカートリッジを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをおすすめします。詳しくは⇒72ページ「定期メンテナンス」を参照してください。

## まもなくトナーカートリッジ交換のメッセージ

本製品はトナーカートリッジの寿命を検知し、交換時期が近づくとき液晶ディスプレイに以下のメッセージが表示されます。

### まもなくトナー交換

### 補足

- 液晶ディスプレイに【まもなくトナー交換】のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジの交換時期が近づいています。新しいトナーカートリッジを購入し、【トナー交換】と表示される前に準備しておいてください。
- 印刷結果がかすれる場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。トナーカートリッジの交換方法は、⇒ 84ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

## トナーカートリッジ交換のメッセージ

さらに使い続けると液晶ディスプレイに以下のメッセージが表示されます。

### トナー交換

一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

### 補足

お近くでトナーカートリッジが手に入らないときは、⇒80ページ「トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法」を参照してください。

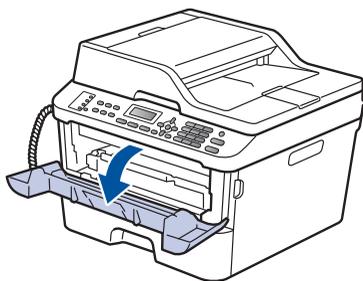
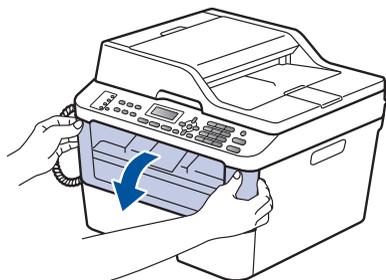
## トナーカートリッジを交換する

### 1 本製品の電源がオンになっていることを確認する

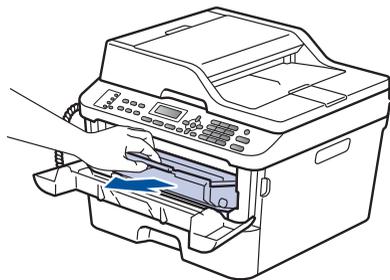
電源がオフの場合は、 を押してオンにします。

### 2 トナーカートリッジを取り出す

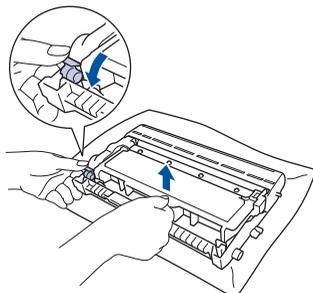
1 フロントカバーを開ける



2 ドラムユニットを取り出す



3 緑色のロックレバーを押し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す



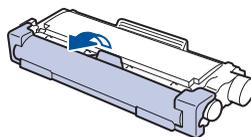
### 3 交換する

1 新しいトナーカートリッジを開封する

#### 注意

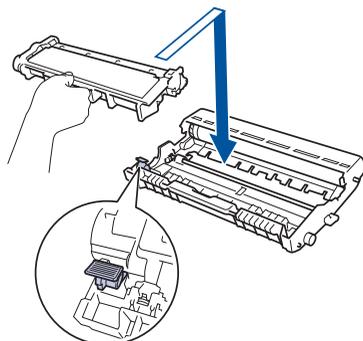
トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

2 保護カバーを取り除く

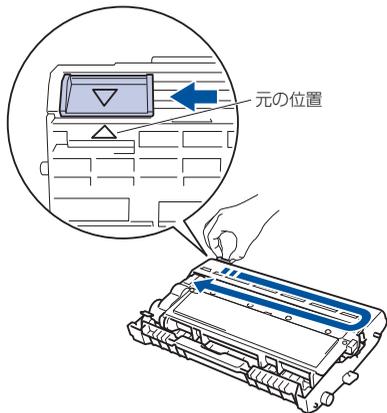


3 トナーカートリッジがロックされるようにドラムユニットに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが元の位置に戻ります。



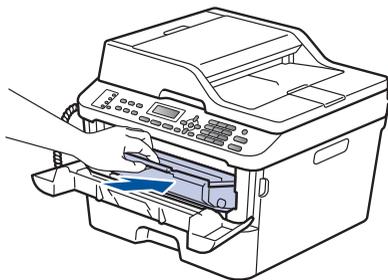
#### 4 緑色のつまみを2~3回復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する



#### 5 緑色のつまみを元の位置(▲)に戻す 元の位置に戻っていないと、印刷した記録紙に縦縞が入る場合があります。

### 4 元の状態に戻す

#### 1 ドラムユニットを戻す



#### 2 フロントカバーを閉じる

### 注意

液晶ディスプレイに【お待ちください】と表示されますので、そのままお待ちください。途中で本製品の電源をオフにしたり、フロントカバーを開けたりすると、新しいトナーを検知できない場合があります。

## トナーカートリッジ交換メッセージ設定

### ●初期設定(ストップモード)

トナーが寿命になると液晶ディスプレイに【トナー交換】と表示されて印刷が止まります。一度このメッセージが表示されるとトナーカートリッジを交換しない限り印刷ができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

### || (補足) ||

お近くでトナーカートリッジが手に入らないときは、⇒80ページ「トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法」を参照してください。

### ●連続印刷設定

連続印刷設定をすると、【トナー交換】と表示されても、そのまま印刷し続けることができます。

### 1 <メニュー>→<1>→<9>を押す

### 2 <▲>または<▼>を押して【オン】を選択し、<OK>を押す

### 3 <停止/終了>を押す

### || (補足) ||

- 連続印刷設定は、印刷が薄くなる場合があります。
- 連続印刷設定は、印刷保証できません。
- トナーカートリッジを交換すると、初期設定に戻ります。

## ドラムユニットの交換

本製品は、ドラムの回転数によってドラムユニットの交換時期が決定され、あらかじめ設定されている回転数に達すると、液晶ディスプレイにドラムユニットの交換をお知らせするメッセージが表示されます。印刷を続けることもできますが、印刷品質が低下します。

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。詳しくは⇒25 ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。

### 補足

- ドラムユニットの交換時期に影響する要因は、温度や湿度、記録紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数などです。理想的な印刷条件下での平均的なドラムユニットの交換周期は約 12,000 枚です。実際のドラムユニットの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこれよりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをおすすめします。  
⇒72ページ「定期メンテナンス」を参照してください。
- お近くでドラムユニットが手に入らないときは、⇒80 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法」を参照してください。

## ドラムユニットエラーのメッセージ

【ドラム お手入れ】のメッセージが表示されたときは、コロナワイヤーが汚れています。コロナワイヤーの清掃をしてください。⇒74ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。

コロナワイヤーの清掃をしても、【ドラム お手入れ】の表示が消えない場合は、新しいドラムユニットを購入し、交換してください。

⇒87ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

### ドラム お手入れ

## まもなくドラムユニット交換のメッセージ

【まもなくドラム交換】のメッセージが表示されたときは、ドラムユニットの交換時期が近づいています。新しいドラムユニットを購入し、【ドラム交換】と表示される前に準備しておいてください。

### まもなくドラム交換

### 補足

しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもありますが、しだいに印刷品質は低下しますので、新しいドラムユニットを購入し、交換することをおすすめします。

## ドラムユニット交換のメッセージ

【ドラム交換】のメッセージが表示されたときは、ドラムユニットの交換が必要です。

### ドラム交換

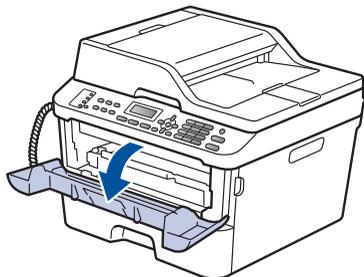
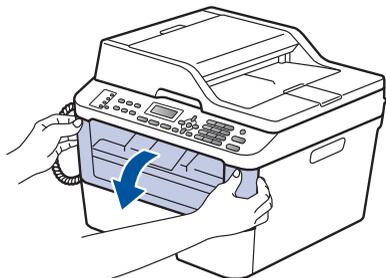
## ドラムユニットを交換する

新しいドラムユニットに交換した場合は、ドラムユニットのカウンターをリセットする必要があります。

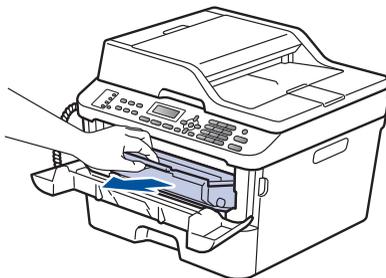
### 1 本製品の電源がオンになっていることを確認する

電源がオフの場合は、 を押してオンにします。

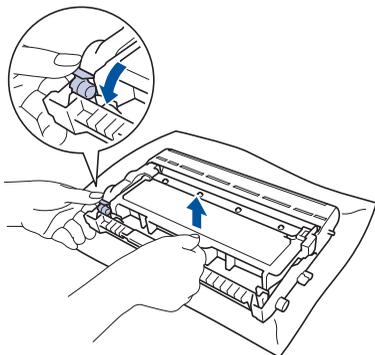
### 2 フロントカバーを開ける



### 3 ドラムユニットを取り出す



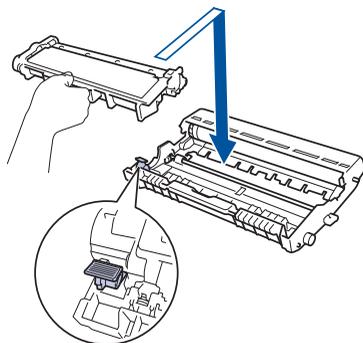
### 4 緑色のロックレバーを押し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り出す



### 5 交換する

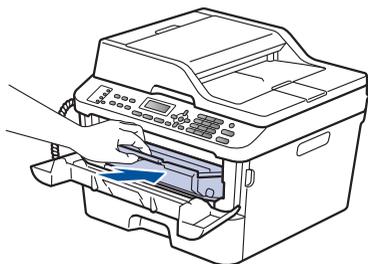
- 1 新しいドラムユニットを開封する
- 2 トナーカートリッジを新しいドラムユニットに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが元の位置に戻ります。



## 6 元の状態に戻す

### 1 ドラムユニットを戻す



### 2 フロントカバーを閉じる

## ドラムユニットのカウンターリセット

ドラムユニットを交換したときは、以下の手順に従ってドラムユニットのカウンターをリセットしてください。

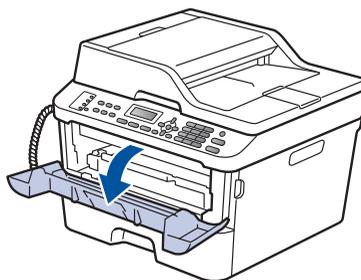
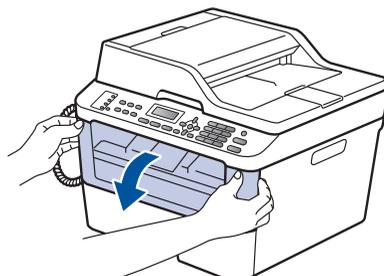
## 1 本製品の電源がオンになっていることを確認する

電源がオフの場合は、 を押してオンにします。

## 2 本製品が待機状態であることを確認する

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されているときは、<停止/終了>を押して待機状態にしてください。

## 3 フロントカバーを開ける



## 4 <OK>を長押しして【ドラム交換しましたか?】と表示されたら<1>を押す

## 5 フロントカバーを閉じる

### 注意

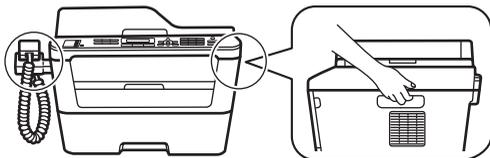
トナーカートリッジのみを交換した場合は、ドラムユニットのカウンターをリセットしないでください。

## 本製品を再梱包するときは

本製品を引越しなどで移動させるときには、購入時に梱包されていた箱や部品を使って再梱包します。以下に再梱包する手順を説明します。

### 警告

- 本製品を移動するときは、図のように本製品の受話器台と取っ手を持ってください。本製品の底面を持って運ばないでください。



### 注意

再梱包を行う場合は、前もって電源をオフにし、本製品内部を十分に冷ましてください。

### 重要

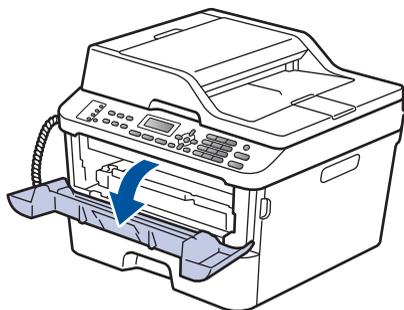
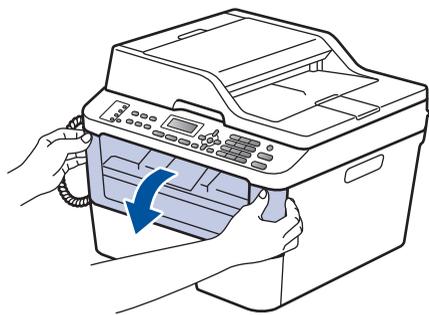
- 輸送中の破損を防ぐために、お買い上げ時に使用されていた梱包材を使用して、お買い上げ時の状態に再梱包してください。お買い上げ時に使用されていた梱包材は、開梱時に捨てずに大切に保管しておいてください。
- 本製品には、相応の輸送保険を掛けてください。

**1** 本製品の $\text{\textcircled{P}}$ を長押ししてオフにし、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

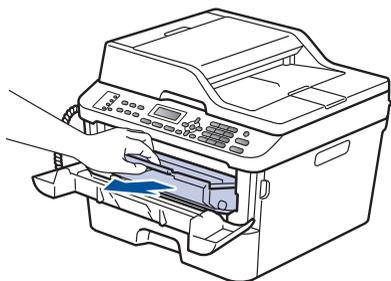
**2** コード、ケーブルを取り外す

- 1 すべてのケーブルを取り外す
- 2 電源コードをコンセントから抜く

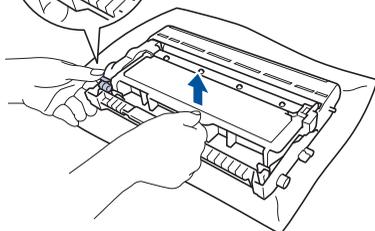
**3** フロントカバーを開ける



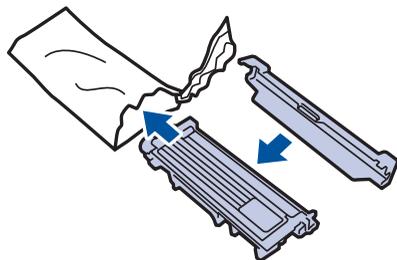
**4** トナーカートリッジとドラムユニットを取り外す



**5** 緑色のロックレバーを押し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す

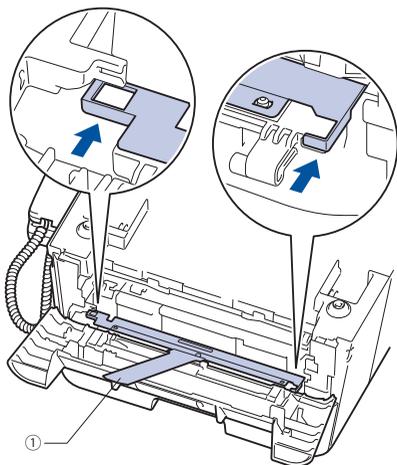


**6** トナーカートリッジに保護カバーを取り付け、アルミニウムバッグに収納する

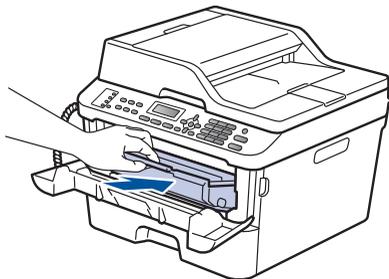


## 7 保護部材①を取り付ける

イラストのように保護部材の両端を本製品に取り付けてください。



## 8 ドラムユニットだけ本製品に戻す

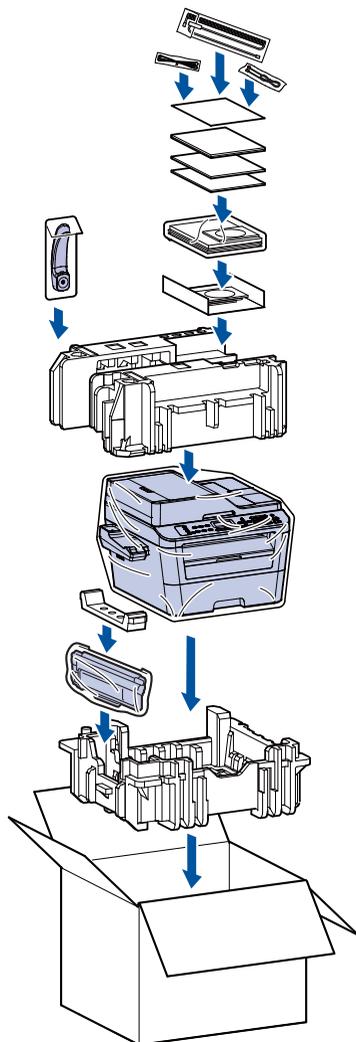


## 9 フロントカバーを閉じる

## 10 受話器と受話器コードを取り外す

## 11 本製品や付属品を梱包する

- 1 本製品をビニール袋に入れる
- 2 本製品をセットする  
発砲スチロールの「FRONT」の印と本製品の前面を合わせてセットしてください。
- 3 イラストのように、受話器、受話器コード、および取扱説明書などをセットする



4 箱を閉じ、テープを貼って完全に閉じる

# 4 困ったときには

## 解決のステップ～修理依頼される前に～

本製品を使用中にトラブルが起きたときの解決までのステップを説明します。  
修理依頼される前にここを読んでみてください。

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていますか

表示されている

- ① 画面に従って処置をしてください
- ② 以下の項目を確認してください  
⇒93ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」  
⇒98ページ「紙が詰まった！」

表示されていない

- ① 以下の項目を確認してください  
⇒109ページ「原因がよくわからない！」
- ② サポートサイトのよくあるご質問（Q&A）を確認してください  
(<http://support.brother.co.jp/>)

どうしても解決しない！

表示されているメッセージをメモしてください

サポートサイトのよくあるご質問（Q&A）を確認してください  
(<http://support.brother.co.jp/>)

やっぱり、どうしても解決しない！

お客様相談窓口にご連絡ください

本製品が正常に動作しない  
またはどこに問題があるかわからない

以下の2点をメモしてください

- ・ 製品名
- ・ シリアル番号

⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」-「製品情報の確認/印刷」

コピー、プリント、スキャンは正常に動作する

回線種別は正しく設定されている  
⇒24ページ「自動で回線種別を設定する」  
⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」-「電話回線設定」

電話やファクス回線に問題がある可能性があります。  
ご利用の電話会社、またはプロバイダーにご相談ください

コピー、ファクスは正常に動作する  
プリンタードライバーは正しくインストールされている

コンピューターに問題がある可能性があります。  
コンピューターのメーカーまたは購入された販売店にご相談ください

## 液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）

本製品や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示された対処方法や、以下の処置を行ってもエラーが解決しないときは、エラーメッセージを控えた後でお客様相談窓口へ連絡してください。

画面表示	解決方法
印刷できません	<p><b>本製品の  を長押ししてオフにします。数秒後に  を押し、もう一度オンにしてください。</b></p> <p>メモリに記憶されたファクスデータは、電源をオフにしても消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。</p> <hr/> <p><b>フロントカバーを完全に閉じてください。</b></p> <hr/> <p>それでも問題が解決しない場合は、本製品のメモリに残っているファクスデータを別のファクシミリに転送した後、お客様相談窓口にご連絡ください</p> <p>ファクスデータの転送方法は、⇒97 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」を参照してください。</p>
印刷ページ数超過	<p><b>セキュリティ機能ロック 3.0 で、印刷枚数の制限を確認してください</b></p> <p>詳しくは、管理者にお問い合わせください。</p>
カバーが開いています	<p><b>定着ユニットカバーを完全に閉じてください</b></p> <p>バックカバー（背面排紙トレイ）を開けて、定着ユニットカバーを閉め直してください。紙がつまっている場合は、紙を取り除き、定着ユニットカバーを開けてください。</p> <hr/> <p><b>フロントカバー、または ADF（自動原稿送り装置）カバーを完全に閉じてください</b></p>
紙詰まり 後ろ	<p><b>本製品の背面でつまっている記録紙を取り除いてください</b></p> <p>⇒103 ページ「背面に記録紙がつまったとき」を参照してください。</p>
紙詰まり トレイ	<p><b>記録紙トレイでつまっている記録紙を取り除いてください</b></p> <p>⇒101 ページ「記録紙トレイに記録紙がつまったとき」を参照してください。</p>
紙詰まり 内部	<p><b>本製品の内部でつまっている記録紙を取り除いてください</b></p> <p>⇒105 ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。</p>

画面表示

解決方法

紙詰まり 両面

**記録紙トレイの裏側につまっている記録紙を取り除いてください**

⇒ 107 ページ「両面印刷時に記録紙がつまったとき」を参照してください。

記録紙サイズ間違い

**両面印刷可能な正しい記録紙サイズ (A4) をセットしてください**

< 停止 / 終了 > を押します。両面印刷できない記録紙がセットされている可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。

サイズ エラー 両面

両面印刷可能な記録紙をプリンタードライバーで設定してください。両面印刷できる記録紙サイズの詳細は、⇒ 148 ページ「記録紙仕様」を参照してください。

記録紙を送れません

**記録紙を補給するか、記録紙を正しくセットしてください**

それでも問題が解決しない場合は、給紙ローラーが汚れている可能性があります。給紙ローラーを清掃してください。⇒ 77 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。

**手差しスロットの記録紙を正しくセットしてください**

原稿詰まり ADF

**ADF (自動原稿送り装置) につまっている原稿を取り除いてください**

原稿を取り除いたら、< 停止 / 終了 > を押してください。

**読み込む原稿を短くして、読み込ませてください**

< 停止 / 終了 > を押して、原稿をセットし直してください。

スキャンできません

**本製品の  を長押ししてオフにして、数秒後に  を押してもう一度電源をオンにしてください**

メモリに記憶されたファクスデータは、電源をオフにしても消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。

正しく読み取れません

**原稿を抜き取り、電源を入れ直してから再送信してください**

手差し印刷

**記録紙を手差しスロットにセットしてください**

トナーが確認できません

**ドラムユニットを取り出し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外してください**

再度トナーカートリッジをドラムユニットに戻し、ドラムユニットを本製品に戻してください

トナーがセットされていません

**トナーカートリッジをいったん取り外し、再度正しく取り付けてください**

⇒ 84 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

## 画面表示

## 解決方法

トナー交換

**トナーカートリッジを交換してください**

ファクスを印刷中、液晶ディスプレイに【トナー交換】と表示された場合は、ファクスデータはメモリに保存されます。  
⇒83ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。

トナー停止

**新しいトナーに交換してください**

⇒83ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。

ドラム お手入れ

**コロナワイヤー（ドラムユニット）を掃除してください**

⇒74ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。

**トナーカートリッジがドラムユニットに装着されているか確認してください**

⇒84ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

ドラム交換

**ドラムユニットの交換時期です**

印刷品質が目立って低下したら、ドラムユニットを交換してください。

**ドラムユニットのカウンターをリセットしてください**

⇒87ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

ヒーター確認中

**本製品の  を長押ししてオフにして、数秒後に  を押して電源をオンにして、そのまま 15 分お待ちください**

メモリに記憶されたファクスデータは、電源をオフにしても消去されません。

まもなくトナー交換

**トナーカートリッジを購入し、液晶ディスプレイに【トナー交換】と表示される前に準備しておいてください**

液晶ディスプレイに【トナー交換】と表示されるまでトナーカートリッジをご使用できますが、しだいに印刷品質は低下しますので、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします。

まもなくドラム交換

**新しいドラムユニットを購入し、【ドラム交換】と表示される前に準備しておいてください**

印刷品質が目立って低下したら、ドラムユニットを交換してください。⇒86ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

画面表示

解決方法

メモリがいっぱいです

**< 停止 / 終了 > を押し、受信できなかったジョブデータを消去してください**

**ファクス送信・コピー実行中のとき**

< 停止 / 終了 > を押してからもう一度試してください。原稿が複数枚の場合は、< スタート > を押して読み込まれた分だけを送信、またはコピーしてください。

**印刷中のとき**

解像度を下げてからもう一度試してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。  
または、保存されているデータを消去して、メモリの空き容量を確保してください。

用紙サイズが合いません

**正しい記録紙をセットしてください**

記録紙サイズ設定で設定した記録紙と、トレイにセットしている記録紙が違う可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。

用紙サイズが違います

**セキュリティ機能ロック 3.0 で、使用制限されている機能を確認してください**

詳しくは、管理者にお問い合わせください。

利用できません

**バックカバー（背面排紙トレイ）を完全に閉じてください**

**両面印刷可能な正しい記録紙サイズ(A4)を選択してください**

< 停止 / 終了 > を押し、プリンタードライバーで設定を確認してください。  
設定した記録紙サイズの記録紙をトレイに入れてください。

両面印刷できません

冷却中  
しばらくお待ちください

**ファンの音を聞き、回転しているかどうか確認してください**

ファンが回転している場合は、換気口が塞がれていないか確認してください。換気口の前に障害物があるときは取り除き、電源をオンにしたまま約 10 分お待ちください。

ファンが回転していない場合は、本製品の  を長押ししてオフにして、数分後に電源を入れ直してください。メモリに記憶されたファクスデータは、電源をオフにしても消去されません。

**それでも問題が解決しない場合は、本製品のメモリに残っているファクスデータを別のファクシミリに転送した後、お客様相談窓口にご連絡ください**

ファクスデータの転送方法は、⇒ 97 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」を参照してください。

## エラーが発生したときのファクスの転送方法

【印刷できません】などのエラーが解決されない場合は、本製品でファクスメッセージを印刷できません。以下の方法でメモリに残っているファクスメッセージを別のファクス機がパソコンに転送できます。

### 別のファクス機に転送する場合

**1** <停止/終了>を押して、エラーメッセージを閉じる

**2** <メニュー>→<9>→<0>→<1>を押す

ファクス番号の入力画面が表示されたときは、メモリにファクスメッセージが残っています。手順3に進んでください。

**3** 転送先のファクス番号を入力し、<スタート>を押す

#### 〔補足〕

発信元登録がされていないと転送ができません。

### 本製品と接続しているパソコンにファクスメッセージを転送する場合

**1** <停止/終了>を押して、エラーメッセージを閉じる

**2** <メニュー>→<2>→<7>→<2>を押す

**3** <▲>または<▼>を押して【オン】を選択し、<OK>を押す

**4** メッセージを確認して、<OK>を押す  
 ・パソコンのPC-FAX 受信を起動させてください。起動方法について詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

**5** PC-FAX 受信を起動させたパソコンを選ぶ

USB接続しているパソコンを選ぶ場合は、【<USB>】を選んで<OK>を押します。  
 ・メモリにファクスメッセージがあるときは、【ファクスをPCに転送しますか?/はい/いいえ】と表示されます。

**6** <1>を押す

**7** <▼>を押して【しない】を選択する

**8** <停止/終了>を押す

#### 〔補足〕

この操作後は、受信したファクスは、パソコンに転送されず、エラーが解決され、本製品で印刷できるようになったら、【転送/メモリ受信】の設定を当初の状態（オフ/ファクス転送/電話呼び出し/メモリ受信）に戻してください。詳しくは、⇒140ページ「1.転送/メモリ受信」を参照してください。

### 通信管理レポートを別のファクス機に転送する場合

**1** <停止/終了>を押して、エラーメッセージを閉じる

**2** <メニュー>→<9>→<0>→<2>を押す

**3** 転送先のファクス番号を入力し、<スタート>を押す

#### 〔補足〕

発信元登録がされていないと転送ができません。

## 紙が詰まった！

### 紙詰まりのときのメッセージ

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

原稿が詰まったとき ⇒99ページ「原稿が詰まったとき」を 参照してください。	原稿詰まり ADF
記録紙が詰まったとき ⇒101ページ「記録紙が詰まったとき」 を参照してください。	紙詰まり XXXX

【XXXX】は、紙詰まりの場所によって表示が異なります。

### ！ 重要

使用できない記録紙は紙詰まりや故障の原因になります。⇒31 ページ「使用できない記録紙」を参照してください。

## 原稿が詰まったとき

液晶ディスプレイに以下のように表示されたときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿が詰まっています。

### 原稿詰まり ADF

## ADF（自動原稿送り装置）の入口で原稿が詰まったときは

### 1 送り込まれていない原稿を取る

### 2 ADF（自動原稿送り装置）カバーを開く

### 3 つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



### 〔補足〕

つまった原稿を取り除いたときに原稿が破れた場合は、内部に原稿が残っていないか確認してください。

### 4 ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じる

ADF（自動原稿送り装置）カバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

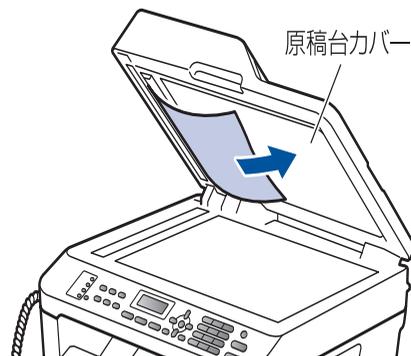
### 5 <停止/終了>を押す

## ADF（自動原稿送り装置）内で原稿が詰まったときは

### 1 送り込まれていない原稿を取る

### 2 原稿台カバーを開き、つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



### 〔補足〕

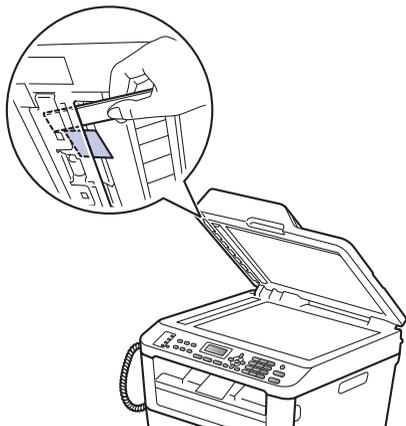
つまった原稿を取り除いたときに原稿が破れた場合は、内部に原稿が残っていないか確認してください。

### 3 原稿台カバーを閉じる

### 4 <停止/終了>を押す

## ADF（自動原稿送り装置）内に破れた原稿（紙片）などがつまったときは

- 1 原稿台カバーを開ける
- 2 かたい紙などを使い、破れた原稿（紙片）を取り除く



- 3 原稿台カバーを閉じる
- 4 <停止/終了>を押す

## ADF（自動原稿送り装置）の出口で原稿がつまったときは

- 1 送り込まれていない原稿を取る
- 2 つまった原稿を取り除く  
両手でゆっくり引き出してください。



- 3 <停止/終了>を押す

## 記録紙が詰まったとき

### 記録紙トレイに記録紙が詰まったとき

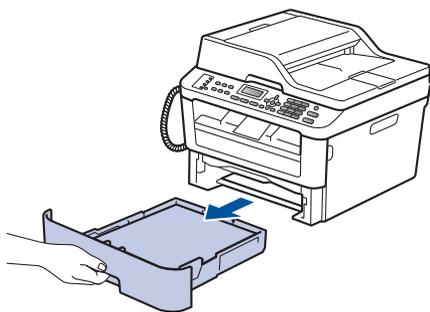
液晶ディスプレイに以下のように表示されたときは、記録紙トレイに記録紙が詰まっています。

#### 紙詰まり トレイ

### 1 本製品の電源がオンになっていることを確認する

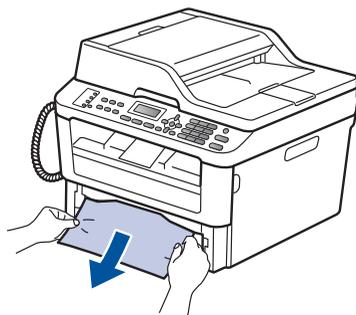
電源がオフの場合は  を押してオンにします。

### 2 本製品から記録紙トレイを完全に引き出す



### 3 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

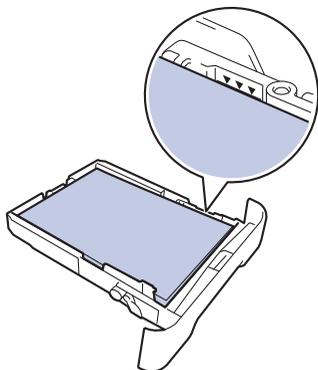


#### 補足

- つまった記録紙を下向きに引くと、かんたんに取り除くことができます。
- ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。
- つまった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒105ページ「本製品の内部に記録紙が詰まったとき」を参照してください。

#### 4 記録紙が記録紙トレイの適切な位置にセットされているか確認する

- 記録紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。



- 緑色の記録紙ガイドをつまみながら記録紙ガイドをスライドさせて、印刷する記録紙のサイズに合わせます。
- 記録紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。

#### 5 記録紙トレイを本製品に戻す

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

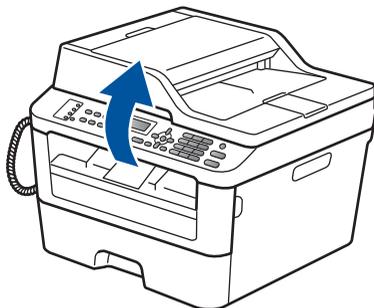
#### 排紙トレイに記録紙が詰まったとき

排紙トレイに記録紙が詰まったときは、以下の手順で詰まった記録紙をとってください。

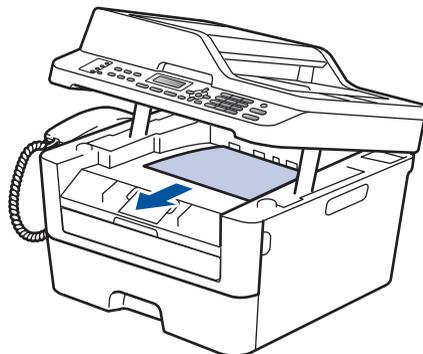
#### 1 本製品の電源がオンになっていることを確認する

電源がオフの場合は  を押してオンにします。

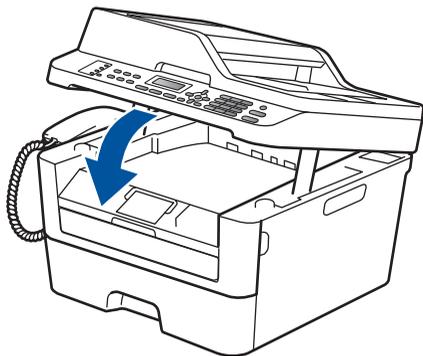
#### 2 両手でスキャナーカバーを開ける



#### 3 詰まった記録紙を取り除く



## 4 両手でスキャナーカバーを押し下げて閉じる



## 背面に記録紙が詰まったとき

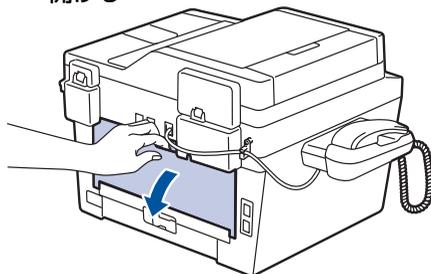
液晶ディスプレイに以下のように表示されたときは、バックカバー（背面排紙トレイ）内に記録紙が詰まっています。

### 紙詰まり 後ろ

## 1 電源をオンにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

本製品の電源がオフの場合は  を押してオンにし、10分以上待ちます。

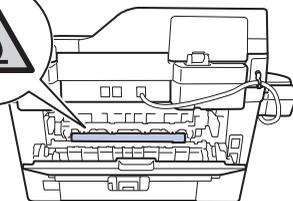
## 2 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける



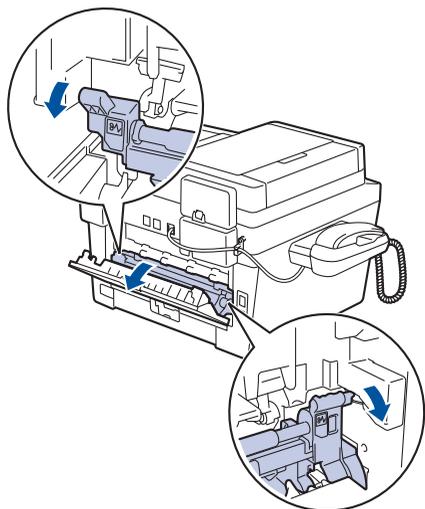
## ⚠ 警告



本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）を開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。

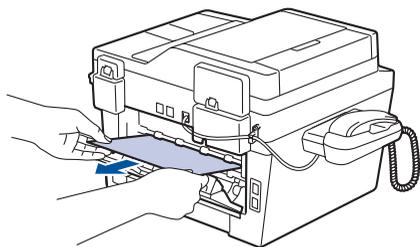


### 3 左右の青色のつまみを手前に引き、定着ユニットカバーを開ける



### 4 定着ユニットからつままった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

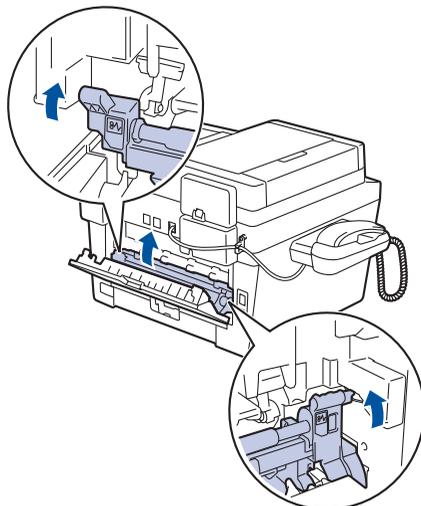


#### 補足

- ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。
- つままった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒105ページ「本製品の内部に記録紙がつままったとき」を参照してください。

### 5 元の状態に戻す

- 1 定着ユニットカバーを閉じる
  - 左右の青色のつまみが上がり固定されたことを確認してください。



- 2 バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

## 本製品の内部に記録紙が詰まったとき

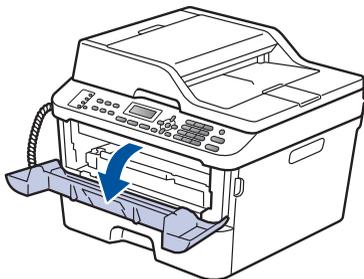
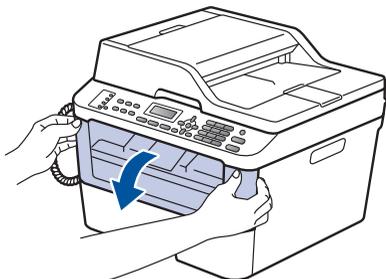
液晶ディスプレイに以下のように表示されたときは、本製品の内部に記録紙が詰まっています。

### 紙詰まり 内部

#### 1 電源をオンにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

本製品の電源がオフの場合は  を押してオンにし、10分以上待ちます。

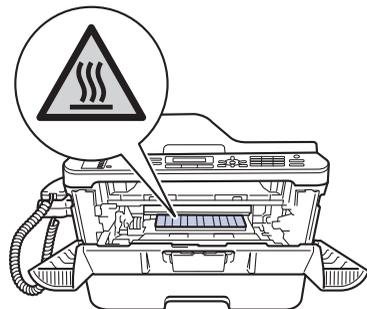
#### 2 フロントカバーを開ける



### ⚠ 警告

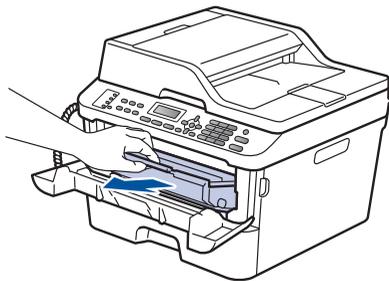


本製品の使用直後は、イラストのグレー部分には触れないでください。やけどの恐れがあります。本製品内部には非常に高温になる部分があります。



#### 3 ドラムユニットを取り出す

ドラムユニットを取り出すことで、詰まった記録紙を取り除くことができる場合があります。また、本製品内部から詰まった記録紙を取り除くことができます。

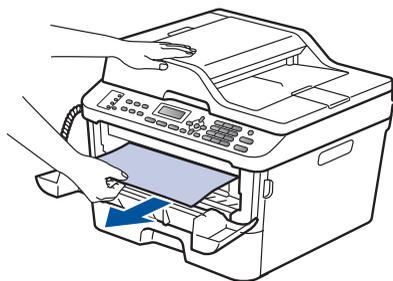


## ! 重要

- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

## 4 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

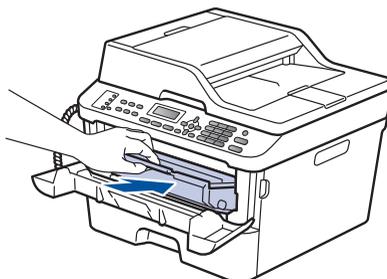


### 補足

ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。

## 5 元の状態に戻す

### 1 ドラムユニットを戻す



### 2 フロントカバーを閉じる

### 補足

- 本製品の内部からつまった紙や破れた紙を取り除いた後、本製品にコンピューターからのデータが残っている場合は、残りのデータが印刷されます。
- 本製品の内部に記録紙がつかまっているときに本製品の電源をオフにした場合は、印刷開始後、不完全なデータを印刷することがあります。本製品の電源をオンにする前に、コンピューターの印刷実行ジョブを削除してください。

## 両面印刷時に記録紙が詰まったとき

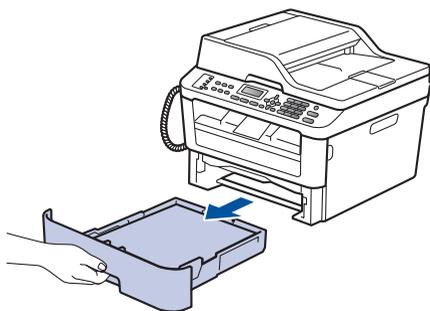
液晶ディスプレイに以下のように表示されたときは、背面に原稿が詰まっています。

### 紙詰まり 両面

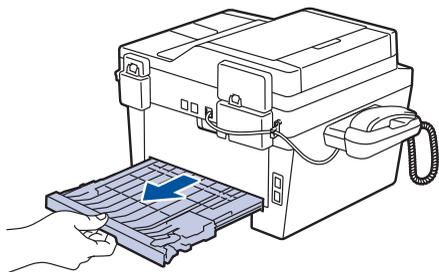
#### 1 電源をオンにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

本製品の電源がオフの場合は  を押してオンにし、10分以上待ちます。

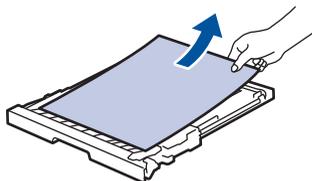
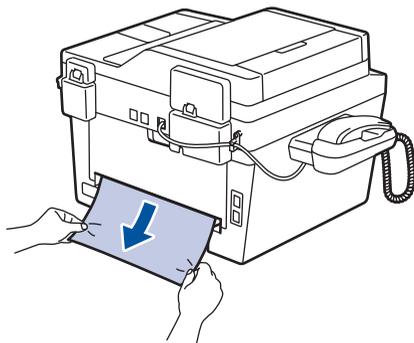
#### 2 本製品から記録紙トレイを完全に引き出す



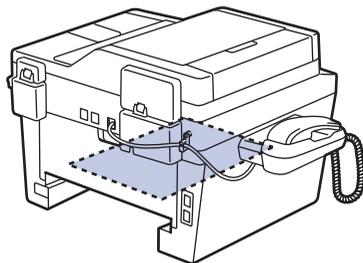
#### 3 本製品の背面から両面トレイを完全に引き出す



#### 4 本製品の内部または両面トレイに詰まった記録紙を取り除く



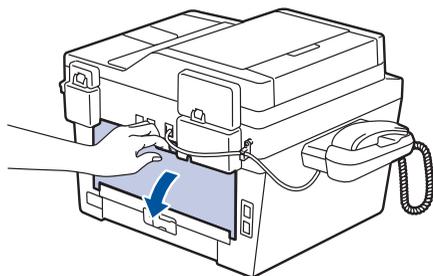
#### 5 本製品の底面につまった記録紙がないか確認する



## 6 記録紙トレイと両面トレイを本製品に戻す

しっかりと奥までセットされているか確認してください

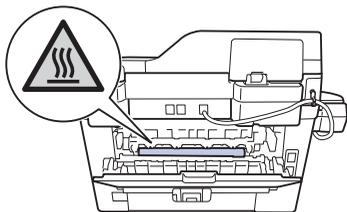
## 7 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける



### 警告

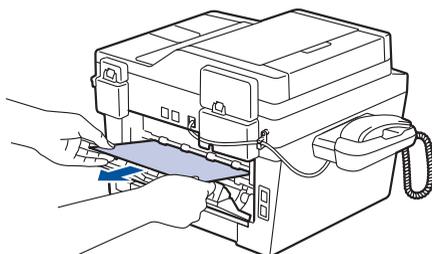


本製品の使用直後は、イラストのグレー部分には触れないでください。やけどの恐れがあります。本製品内部には非常に高温になる部分があります。



## 8 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



### 補足

- ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。
- つまった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒105ページ「本製品の内部に記録紙が詰まったとき」を参照してください。

## 9 本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）をしっかりと閉じる

## 原因がよくわからない！

### 困ったときには（コピー／印刷）

#### コピー／印刷ができない

##### ここを確かめてください

電源コードは差さっていますか

本製品の電源はオンになっていますか

トナーカートリッジが正しく取り付けられていますか

給紙ローラーが汚れていませんか

液晶ディスプレイに【記録紙を送れません】と表示されていませんか

記録紙トレイに記録紙を多くセットしていませんか

原稿が正しく送り込まれていますか  
(ADF（自動原稿送り装置）使用時)

##### 対処方法

電源コード（壁側）を確実に差し込んでください。

本製品の  を押してオンにしてください。  
 < 電源がオンにならない場合 >  
 (落雷やパワーサージなどの) 瞬間的に発生する大電流によって、本製品内部で安全装置が動作した可能性があります。  
 本製品の  を長押ししてオフにして、電源プラグを抜いてください。10分後に電源プラグを差し込み、 を押してオンにしてください。

トナーカートリッジとドラムユニットを正しく取り付けてください。⇒ 83 ページ「トナーカートリッジの交換」、⇒ 86 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

⇒ 77 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。

記録紙がまっすぐにセットされていることを確認してください。また、記録紙が丸まっていないか、記録紙が折れ曲がっていないか確認してください。

記録紙を少し減らしてセットしてください。

- 原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入してください。
- ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。
- 原稿が薄すぎたり厚すぎたりしている場合や、原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっている場合は、原稿台ガラスからファクスやコピーをしてください。  
⇒ 42 ページ「原稿台ガラスにセットする」を参照してください。
- 原稿のサイズを確認してください。
- 原稿挿入口に破れた原稿などがつまっている場合があります。ADF（自動原稿送り装置）カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。  
⇒ 99 ページ「原稿がつまったとき」を参照してください。

### ここを確かめてください

プリンタードライバーの給紙方法は正しいですか



### 対処方法

プリンタードライバーの給紙方法を確認してください。

- 手差しスロットから印刷したい場合は、プリンタードライバーの【給紙方法】が【手差し】になっていることを確認してください。
- 記録紙トレイから印刷したい場合は、プリンタードライバーの【給紙方法】が【自動選択】または【トレイ1】になっていることを確認してください。

封筒を給紙しない



手差しスロットから封筒の給紙ができます。使用しているアプリケーションが印刷する封筒の大きさに設定されていることを確認してください。使用しているアプリケーションソフトのページ設定、または文章設定メニューで設定することができます。使用しているアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

原稿が斜めになって送り込まれていませんか（ADF（自動原稿送り装置）使用時）



原稿ガイドを原稿に合わせてください。

記録紙トレイに記録紙を正しくセットしていますか



⇒ 33 ページ「記録紙トレイから印刷する」を参照してください。

手差しスロットに記録紙を正しくセットしていますか



記録紙は一枚ずつセットしてください。両手で手差しスロットの奥までしっかりと記録紙を差し込んでください。  
⇒ 35 ページ「手差しスロットから印刷する」を参照してください。

記録紙がつまっていないか確認してください



⇒ 98 ページ「紙がつまった！」を参照してください。フロントカバー、またはバックカバーを確実に閉めてください。

バックカバー（背面排紙トレイ）内部の左右両側の緑色レバーの位置はありますか



バックカバー内部の左右両側の緑色レバーの位置を確認してください。⇒ 33 ページ「記録紙トレイから印刷する」、⇒ 35 ページ「手差しスロットから印刷する」を参照してください。

## 両面印刷ができない

### ここを確かめてください

プリンタードライバーの設定は正しいですか



### 対処方法

プリンタードライバーが【両面印刷】に設定されているか確認してください。

記録紙サイズを正しく設定していますか



記録紙サイズが正しく設定されているか確認してください。

バックカバー（背面排紙トレイ）が完全に閉じていますか



バックカバーが完全に閉じているか確認してください。

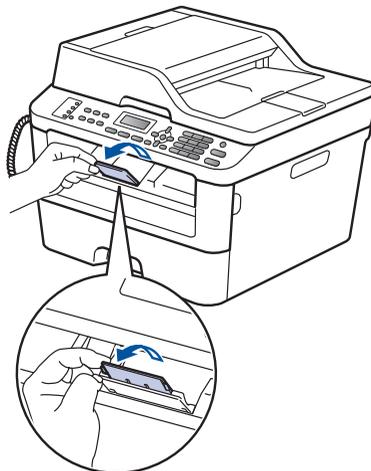
## 排紙トレイから記録紙が落ちる

### ここを確認してください

排紙ストッパーは開いていますか

### 対処方法

上面排紙トレイの排紙ストッパーを開けてください。



## コピーできない

### ここを確認してください

コピーモードになっていますか

### 対処方法

<コピー> を押してコピーモードにしてください。

セキュリティ機能ロック3.0が設定されていませんか

本製品の管理者にセキュリティ機能ロック 3.0 が設定されていないか確認してください。

## コンピューターから印刷できない

以下の順番で確認してください。

### ここを確かめてください

① ケーブルが正しく接続されていますか

- 本製品側とコンピューター側の両方のケーブルを差し直してください。(USB ハブなどを経由しては接続できません。)
- 複数の機器がコンピューターに接続されている場合は、一時的に本製品以外を取り外して、印刷・コピー・ファクス・スキャンができるか試してください。

② 本製品が通常で使用になるプリンターに設定されていますか

本製品のアイコンにチェックマークが付いているか確認してください。付いていない場合は、以下の手順に従って、チェックマークを付けます。

<Windows Server® 2012 R2>  
スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] をクリックしてチェックを入れます。

<Windows® 8、またはWindows Server® 2012>  
デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] をクリックしてチェックを入れます。

<Windows® 7、またはWindows Server® 2008 R2>  
メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] にカーソルを合わせ、通常使うプリンタードライバーにチェックを入れます。

<Windows Vista®, またはWindows Server® 2008>  
メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックしてチェックを入れます。

<Windows® XP、またはWindows Server® 2003>  
[スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックしてチェックを入れます。

③ 液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか

⇒ 93 ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された! (エラーメッセージ一覧)」を参照してください。

## ここを確かめてください

## ④ オフラインの状態になっていませんか

## 対処方法

本製品がオフラインになっていないか確認します。

<Windows Server® 2012 R2>  
スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。  
本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。  
[プリンター] をクリックし、[プリンターをオフラインで使用する] にチェックがある場合は、オフラインの状態です。[プリンターをオフラインで使用する] をクリックし、チェックを外してください。

<Windows® 8、またはWindows Server® 2012>  
デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。[プリンター] をクリックし、[プリンターをオフラインで使用する] にチェックがある場合は、オフラインの状態です。チェックを外してオンラインにしてください。

<Windows® 7、またはWindows Server® 2008 R2>  
メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。  
[プリンター] をクリックし、[プリンターをオフラインで使用する] にチェックがある場合は、オフラインの状態です。チェックを外してオンラインにしてください。

<Windows Vista®, またはWindows Server® 2008>  
メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プリンタをオンラインで使用する] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインで使用する] をクリックしてください。

<Windows® XP、またはWindows Server® 2003>  
[スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プリンタをオンラインで使用する] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインで使用する] をクリックしてください。

ここを確かめてください

⑤ 一時停止の状態になっていませんか

対処方法

本製品が一時停止の状態になっていないか確認します。  
<Windows Server® 2012 R2>

スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。

[Brother FAX-L2700DN Printer- 一時停止] が表示されていたら、再開させたい印刷データを右クリックし、[再開] をクリックしてください。

<Windows® 8, または Windows Server® 2012>

デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。

[Brother FAX-L2700DN Printer- 一時停止] が表示されていたら、再開させたい印刷データを右クリックし、[再開] をクリックしてください。

<Windows® 7, または Windows Server® 2008 R2>

メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。

[Brother FAX-L2700DN Printer- 一時停止] が表示されていたら、再開させたい印刷データを右クリックし、[再印刷] をクリックしてください。

<Windows Vista®, または Windows Server® 2008>

メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷の再開] がメニューにある場合は、一時停止の状態です。[印刷の再開] をクリックしてください。

<Windows® XP, または Windows Server® 2003>

[スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷の再開] がメニューにある場合は、一時停止の状態です。[印刷の再開] をクリックしてください。

## ここを確かめてください

## ⑥ 印刷待ちのデータがありませんか

## 対処方法

印刷に失敗した古いデータが残っている場合があります。以下の方法でデータを削除してください。

<Windows Server® 2012 R2>

スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。

印刷データを選択し、[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。

<Windows® 8, または Windows Server® 2012>

デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。印刷データを選択し、[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。

<Windows® 7, または Windows Server® 2008 R2>

メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] をクリックします。

印刷データを選択し、[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。

<Windows Vista®, または Windows Server® 2008>

メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。

<Windows® XP, または Windows Server® 2003>

[スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。本製品のアイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。

・本製品内に残っているデータを消去する場合は、< 停止 / 終了 > を押してください。

ここを確かめてください

⑦ 印刷先（ポート）の設定が間違っていないですか

<Windows Server® 2012 R2>  
 スタート画面上で、[コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。

<Windows® 8,またはWindows Server® 2012>  
 デスクトップの右下にマウスを移動し、メニューバーが表示されたら [設定] - [コントロール パネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。

<Windows® 7,またはWindows Server® 2008 R2>  
メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。

<Windows Vista®,またはWindows Server® 2008>  
メニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。

<Windows® XP,またはWindows Server® 2003>  
 [スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。

⑧ セキュリティ機能ロックが設定されていませんか

ネットワーク管理者に連絡して、セキュリティ機能ロックが設定されていないか確認してください。

⑨ Adobe® Illustrator®を使用していますか

印刷解像度が高すぎる可能性があります。印刷解像度を低く設定してください。

⑩ お使いのコンピューターを再起動して、本製品の電源を入れ直してください

本製品とコンピューターを確認しても印刷できない場合は、コンピューターを再起動し、本製品の電源を入れ直してください。

⑪ プリンタードライバーをアンインストールし、再インストールしてください

本製品の電源を入れ直しても印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールしてからコンピューターを再起動し、もう一度ドライバーをインストールしてください。

## コピー／印刷結果が悪い

印刷した内容に問題がある場合は、はじめに以下の手順を確認してください。

それでも解決しない場合は、「こんなコピー／印刷結果のときは」の問題例やイラストを確認し、対処方法に従ってください。

1. 本製品の仕様を満たしている記録紙を使用しているか確認してください。⇒ 29 ページ「記録紙の基本」を参照してください。
2. ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく取り付けられているか確認してください。

### こんなコピー／印刷結果のときは

### 対処方法

印刷結果がかすれる



- 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。
- すべてのページが薄い場合には、トナー節約モードになっていることがあります。プリンタードライバーの【拡張機能】タブで【トナー節約モード】のチェックがはずれているか確認してください。
- ドラムユニットを清掃してください。⇒ 75 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。
- コロナワイヤーを清掃してください。⇒ 74 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
- 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 83 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
- 新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 86 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

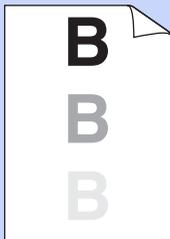
背景が灰色になる



- ご使用の記録紙が本製品に適しているか確認してください。⇒ 29 ページ「記録紙の基本」を参照してください。
- 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、グレーの背景が入ることが多くなる場合があります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。
- ドラムユニットを清掃してください。⇒ 75 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。
- 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 83 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
- 新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 86 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

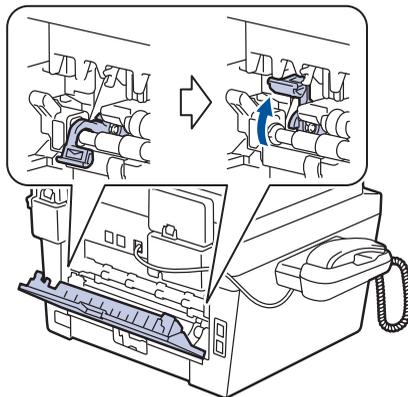
### こんなコピー／印刷結果のときは

同じイメージが等間隔で繰り返し印刷される



### 対処方法

- ご使用の記録紙が本製品に適しているか確認してください。表面が粗い紙や厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。⇒ 29 ページ「記録紙の基本」を参照してください。
- プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。
- 設定メニューで、適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。⇒ 136 ページ「機能一覧」
- プリンタードライバーで、[印刷結果の改善] を選択して、設定を確認してください。
- バックカバー（背面排紙トレイ）を開け、左右の緑色レバーが完全に上がっているか確認してください。緑色レバーが下がっている場合は、レバーを上げてください。

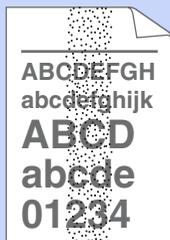


- ドラムユニットを清掃してください。⇒ 75 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。
- 新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 86 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
- 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 83 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
- 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。

## こんなコピー／印刷結果のときは

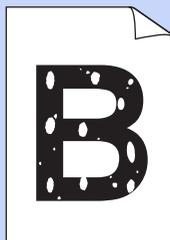
## 対処方法

トナー汚れが生じる



- コロナワイヤーを清掃してください。⇒ 74 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
- ご使用の記録紙が本製品に適しているか確認してください。表面が粗い記録紙を使うとこの問題が起きることがあります。⇒ 29 ページ「記録紙の基本」を参照してください。
- ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。⇒ 86 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
- 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。

印字部がとところどころ白く欠ける



- ご使用の記録紙が本製品に適しているか確認してください。⇒ 29 ページ「記録紙の基本」を参照してください。
- プリンタードライバーの[用紙種類]で[超厚紙]を選択するか、現在ご使用のものより薄い記録紙をご使用ください。
- 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所で使用すると、こうした問題が起きることがあります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。
- ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。⇒ 86 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

真っ黒なページが印刷される



- ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2、3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置(▲)に戻してあるか確認してください。⇒ 74 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
- ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 86 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは

印刷されたページに、白い線が横方向に現れる



印刷されたページに、平行な線が現れる



印刷されたページに、白い線が縦方向に現れる



対処方法

- ご使用の記録紙が本製品に適合しているか確認してください。表面が粗い紙や厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。
- プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。
- 設定メニューで、適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。⇒ 136 ページ「機能一覧」
- 本製品の中につまった紙や破れた紙が残っていないことを確認してください。
- この問題は本製品が自動的に解決することがあります。特に長期間ご使用にならなかった後は、複数ページを印刷してこの問題が解消されるか試してみてください。
- ドラムユニットを清掃してください。⇒ 75 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。
- ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 86 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

- ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。⇒ 86 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
- ドラムユニットを清掃してください。⇒ 75 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。
- ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2、3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置 (▲) に戻してあるか確認してください。⇒ 74 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。

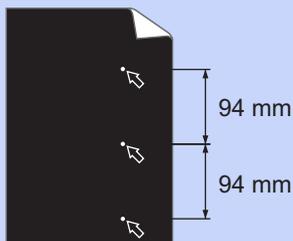
- 本製品の中につまった紙や破れた紙が残っていないことを確認してください。
- トナー残量が少なくなっているか、またはトナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 83 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
- ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。⇒ 86 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

## こんなコピー／印刷結果のときは

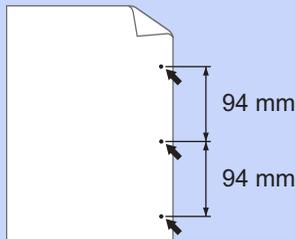
印刷されたページに、白い線が横方向に現れる



黒い文章や画像が印刷されたページに周期な点が現れる



白い文章や画像が印刷されたページに周期な点が現れる



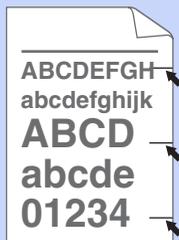
## 対処方法

- 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。
- ドラムユニットを清掃してください。⇒ 75 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。
- 数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 86 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

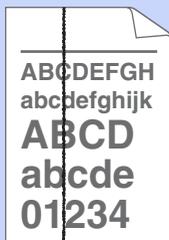
- 数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、感光ドラム表面にのりが付着していることがあります。⇒ 75 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。
- ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。⇒ 86 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは

黒い汚れが平行に繰り返し入る



印刷されたページに、線が縦方向に現れる



対処方法

- ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 86 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
- トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 83 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
- ドラムユニットを清掃してください。⇒ 75 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。
- ご使用の記録紙が本製品に適しているか確認してください。⇒ 29 ページ「記録紙の基本」を参照してください。
- ラベル紙をご使用の場合には、ラベルののりが感光ドラムに付着することがあります。ドラムユニットを清掃してください。⇒ 75 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。
- ドラム表面を傷つける恐れがありますので、クリップやホッチキスがついた記録紙はご使用にならないでください。
- 開封されたドラムユニットは過度の直射日光や照明で品質が損なわれることがあります。

- ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 74 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。  
ドラムユニットの緑色のつまみが元の位置 (▲) にあるか確認してください。
- ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください⇒ 86 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
- トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 83 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
- 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。

## こんなコピー／印刷結果のときは

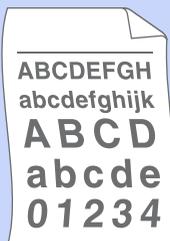
## 対処方法

斜めに印刷される



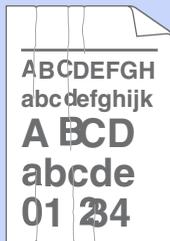
- 記録紙やその他のメディアが記録紙トレイに正しく挿入されているか確認してください。また、記録紙ガイドが記録紙の大きさに合っているか確認してください。
- 記録紙ガイドを正確にセットしてください。記録紙ガイドのツメが溝にしっかりとハマっているか確認してください。⇒ 33 ページ「記録紙トレイから印刷する」を参照してください。
- 手差しスロットをご使用の場合は⇒ 35 ページ「手差しスロットから印刷する」を参照してください。
- 記録紙トレイ内の紙の枚数が多すぎる場合があります。⇒ 33 ページ「記録紙トレイから印刷する」を参照してください。
- 記録紙の種類と品質を確認してください。⇒ 29 ページ「記録紙の基本」を参照してください。
- 両面印刷時にこの問題が発生した場合は、以下を確認してください。
  - ・両面トレイが完全にセットされているか
  - ・バックカバーが完全に閉じられているか
  - ・両面トレイに破れた記録紙がつかまっていないか

カールしたり波打って印刷される



- 記録紙の種類と品質を確認してください。高温または多湿によって紙のカールが起きることがあります。⇒ 29 ページ「記録紙の基本」を参照してください。
- 本製品を長時間使用していないと、記録紙が記録紙トレイの中で過度に吸湿していることがあります。トレイの中の記録紙を裏返すか、記録紙をさばいてから向きを 180 度回転させてみてください。
- バックカバー（背面排紙トレイ）を開いて、印刷してみてください。詳細は、⇒ 33 ページ「記録紙トレイから印刷する」を参照してください。
- プリンタードライバーで、[印刷結果の改善] を選択して、設定を確認してください。

しわが寄ったり折れ曲がって印刷される



- 記録紙が正しく給紙されているか確認してください。⇒ 33 ページ「記録紙トレイから印刷する」を参照してください。
- 記録紙の種類と品質を確認してください。⇒ 29 ページ「記録紙の基本」を参照してください。
- トレイの中の記録紙を裏返すか、向きを 180 度回転させてみてください。

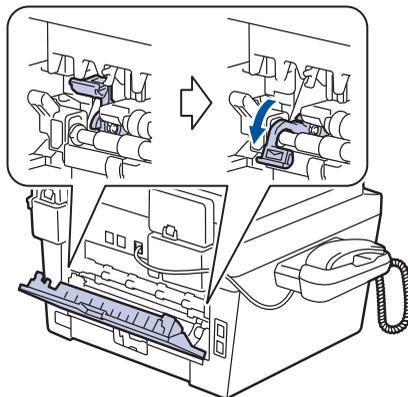
こんなコピー／印刷結果のときは

封筒にしわが寄ったり折れ曲がって印刷される



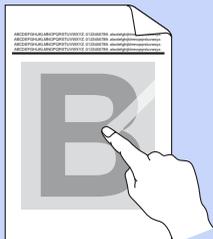
対処方法

- 封筒のフラップの向きを180度回転させてみてください。しわが改善されることがあります。
- バックカバー（背面排紙トレイ）を開け、左右の緑色レバーが完全に下がっているか確認してください。緑色レバーが上がっている場合は、レバーを下げてください。



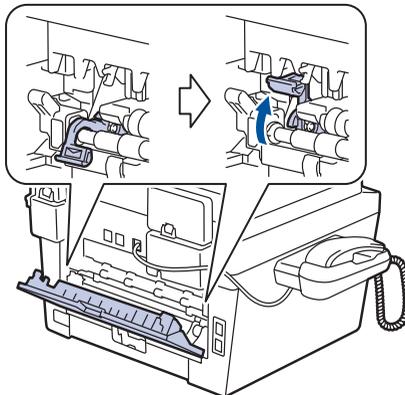
## こんなコピー／印刷結果のときは

印刷された箇所を指でこすると汚れる



## 対処方法

- バックカバー（背面排紙トレイ）を開け、左右の緑色レバーが完全に上がっているか確認してください。緑色レバーが下がっている場合は、レバーを上げてください。



- プリンタードライバーの設定で「トナーの定着を改善する」を選択してください。詳細は、「印刷結果の改善」を選択して、設定を確認してください。
- 数ページしか印刷しない場合は、プリンタードライバーの設定で用紙の種類を、より厚い用紙に変更してください。

丸まって印刷される



- プリンタードライバーの設定で「用紙のカーブを軽減する」を選択してください。詳細は、「印刷結果の改善」を選択して、設定を確認してください。
- トレイの中の記録紙を裏返して、再度印刷してください。（レターヘッドのある記録紙は除く）

## 困ったときには（スキャン）

### スキャンできない

#### このような場合は

#### 対処方法

スキャン中にエラーが表示される

Windows®の場合、Presto! PageManagerで[ファイル] - [ソースの選択] - [ソースを選択] ダイアログボックスで [TW-Brother FAX-L2700DN] を選択し、[OK] をクリックしてください。  
Macintoshの場合、[ファイル] - [取り込みデバイスを選択] の選択をして、Brother TWAIN ドライバーを選択し、[選択] をクリックしてください。

OCRが使用できない

解像度を上げてもう一度スキャンしてください。

ネットワークスキャンが使用できない

⇒「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」を参照してください。

## 困ったときには（電話／ファクス）

### ファクスできない

#### ここを確かめてください

#### 対処方法

本製品が正しく設定されていますか

回線種別を正しく設定してください。  
⇒ 24 ページ「電話回線のこと」、⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がありますか

【安心通信モード】を設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。  
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

ダイヤルできますか

- 電話線を正しく接続してください。
- 接続されている電話機の受話器が上がっている場合は受話器を戻し、本製品の<オンフック/保留>を押して相手先のファクス番号を入力し、ファクスを送信してください。詳しくは、⇒ 46 ページ「ファクスを手動で送信する」を参照してください。

送信確認レポートで、結果欄にエラーと印刷される

もう一度ファクスを送信してください。問題が続いている場合、電話会社に問い合わせ、回線を確認してください。

原稿を正しくセットしていますか

原稿を正しくセットしているか確認してください。

## ここを確かめてください

登録している電話番号に、ポーズ【p】が入っていませんか

IPフォンを使用していますか

IP網を使用した専用線を使用していますか

ADSL環境ですか

## 対処方法

登録している電話番号に、ポーズ【p】が入っている場合は、削除してください。

ご利用しているプロバイダーへファクス通信が保障されていることを確認してください。

【安心通信モード】を【標準】に変更してください。または、一般電話回線を選択して送信してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

- ブランチ（並列）接続をしないでください。
- ラインセパレータ（分岐器）を使用すると改善する場合があります。

## ファクスできない（応用編）

## こんなときは

自動受信できない

リモート受信できない

構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない

## 対処方法

- 呼び出しベル回数が多すぎないか確認してください。受信モードのときは呼び出しベル回数を6回以下に、留守モードのときは呼び出しベル回数を2回以下に設定してください。⇒53ページ「呼び出しベル回数を設定する」を参照してください。または、手動で受信してください。
- 自動で記録紙に印刷したいときは、【転送/メモリ受信】の設定を【オフ】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。

- 【リモート受信】の設定を【オン】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- リモート起動番号を本製品に接続されている電話機のダイヤルボタンで正しくダイヤルしてください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- メモリがいっぱいになっている場合があります。メモリ内部のデータを印刷するか、メモリの内容を消去してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

【特別回線対応】の設定を【PBX】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。それでも受信できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

### こんなときは

### 対処方法

IP網を使用している

「0000」や選択番号をダイヤルした後、約3秒間待つから相手の番号や電話帳をダイヤルしてください。

ファクスを複数枚送信できない

- ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合リアルタイム送信が【オン】になっていることを確認して送信してください。
- 原稿台ガラスを使用する場合リアルタイム送信が【オフ】になっていることを確認して送信してください。それでも送信に失敗する場合は、メモリの容量が不足している可能性があります。その場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用して送信してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

## リモコン機能が使えない

### ここを確かめてください

### 対処方法

トーン信号（ピポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか

トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。

## ファクスの画質が悪い

### こんなときは

### 対処方法

受信したファクスが分割されて2ページに印刷される

【自動縮小】を【オン】にしてください。  
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

受信したファクスの画像が乱れる

- 相手に画質を変更して送信してもらってください。
- キャッチホンが途中で入っていませんか。「キャッチホンⅡ」のサービスに変更し、「キャッチホンⅡ」の呼び出しベル回数を0回に設定してください。「キャッチホンⅡ」の詳細内容はNTTの116番にお問い合わせください。
- ブランチ（並列）接続はしないでください。  
⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。

## こんなときは

受信したファクスに縦の線が現れる



受信したファクスに、水平の線が現れる  
または、行が抜ける



相手側で受信したファクスが鮮明でない



送信したファクスに縦の線が現れる



送信したファクスに横の線が現れる



## 対処方法

- ・ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを2～3回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置(▲)に戻してあるか確認してください。⇒74ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。  
清掃後も線が現れる場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒86ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。  
それでも改善されない場合は、定着ユニットに汚れがある可能性があります。お客様相談窓口へご連絡ください。
- ・相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。

- ・回線状況が悪い可能性があります。相手にファクスを再送するように依頼してください。
- ・【安心通信モード】の設定を【標準】または【安心(VolP)】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
- ・相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。

- ・原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー(白色の部分)、ADF読み取り部を清掃してください。⇒73ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。
- ・ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。【ファイン】または【スーパーファイン】モードを使用してファクスを再送信してください。原稿が写真の場合は、【写真】モードを選択して送信してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー(白色の部分)、ADF読み取り部を清掃してください。⇒73ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。

- ・キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。⇒52ページ「電話モード」を参照してください。
- ・【安心通信モード】の設定を【標準】または【安心(VolP)】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

## 電話がかかけられない

### ここを確かめてください

受話器から「ツー」という音が聞こえますか

ひかり電話を使用していますか

### 対処方法

本製品に接続している電話機が本製品の外付け電話 (EXT.) 端子に接続していることを確認してください。

- 手動で回線種別を【**プッシュ回線**】に設定してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
- 一部つながらない番号があります。ご利用の電話会社へお問い合わせください。

## 着信音が鳴らない

### ここを確かめてください

電源は入っていますか

ひかり電話を使用していますか

ISDNを使用していますか

ISDN回線で、複数の回線を契約していますか

### 対処方法

本製品の電源がオンになっているか確認してください。また電源コードも確認してください。

VoIP アダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっているか確認してください。場合によっては、VoIP アダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。

- ターミナルアダプタの電源が入っているか確認してください。また、設定を何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。
- ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認してください。異常があった場合は NTT 故障係 (113) へご連絡ください。
- 本製品を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。
- 「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1～2 回おきにしか着信できません。ターミナルアダプタの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。

- ダイヤルイン番号またはiナンバーを着信させるアナログポートはグローバル着信を「しない」に設定してください。
- まだ問題がある場合は、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りのNTTにお問い合わせください。

## 「声」をファクス信号音として誤って検出する

### ここを確かめてください

【親切受信】が【オン】に設定されていませんか

### 対処方法

本製品の【親切受信】が【オン】に設定されていると、音に対して敏感になります。本製品は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違えて、ファクスの受信トーンで応答することがあります。本製品に接続している電話機をお使いの場合は、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

## キャッチホン、ナンバー・ディスプレイが使用できない

### ここを確かめてください

雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない

電話番号が表示されない

ISDNを使用していますか

ひかり電話を使用していますか

### 対処方法

ブランチ（並列）接続をしている場合は、正しく接続し直してください。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。

- ブランチ（並列）接続をしている場合は、ブランチ（並列）接続をしないでください。
- NTTのナンバー・ディスプレイサービスの契約をしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

本製品を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認してください。

VoIPアダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっているか確認してください。場合によっては、VoIPアダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIPアダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。

## 困ったときには（その他）

### 突然印刷が開始されたり、無意味なデータが印刷される

#### ここを確かめてください

USBケーブルやLANケーブルが長すぎませんか、破損または故障していませんか

インターフェイス切替器を使用していますか

#### 対処方法

- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをおすすめします。
- ケーブルが破損、故障している場合は交換してください。

インターフェイス切替器を取り外して、コンピューターを直接本製品に接続してください。

### ネットワークに関するトラブル

#### ここを確かめてください

有線LANの設定が間違っていないですか

#### 対処方法

【ネットワーク設定リスト】(⇒ 142 ページ「7. ネットワーク設定リスト」)を印刷し、有線LANの設定を確認してください。  
有線LANの設定については、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」を参照してください。

### マイクロソフト「エクセル」または「パワーポイント」をご使用中にオブジェクトに設定したハッチパターンがうまくプリントできない (Windows®のみ)

#### ここを確かめてください

プリンタードライバーの「パターン印刷を改善する」を設定していますか

#### 対処方法

- 以下の手順で設定を確認してください。
- 1 [基本設定] タブで [印刷設定] のプルダウンメニューから [手動設定] を選択する。
  - 2 [手動設定] をクリックし、[パターン印刷を改善する] のチェックボックスがチェックされていることを確認する。

### コンピューターの画面上ではヘッダーやフッターが出てくるが、印刷ページには出てこない

#### ここを確かめてください

ヘッダーまたはフッターの設定が間違っていないですか

#### 対処方法

ヘッダーまたはフッターの印刷位置を調整してください。

## ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した (Windows®のみ)

### ここを確かめてください

ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか

### 対処方法

接続失敗のエラーメッセージ画面から「検索」をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器(本製品)を選び、再度設定してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

## スピーカーからの音(キータッチ音など)が割れる

### ここを確かめてください

スピーカーの近くにアンテナがありませんか

### 対処方法

アンテナをスピーカーから遠ざけてください。

## 印刷速度がとても遅い

### ここを確かめてください

印刷品質が高品質になっていませんか

スリープモードにしていませんか

バックカバー(背面排紙トレイ)が完全に閉じていますか

### 対処方法

プリンタードライバーの設定を変更してください。

スリープモードの設定を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「省エネ設定」を参照してください。

バックカバーが完全に閉じているか確認してください。

## 液晶ディスプレイの文字が読みにくい

### ここを確かめてください

液晶ディスプレイのコントラストの設定が適切ですか

### 対処方法

液晶ディスプレイのコントラストの設定を変更してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「画面設定」を参照してください。

## Macintoshに接続したプリンターが表示されない

### ここを確かめてください

ケーブルが正しく接続されていますか

### 対処方法

ケーブルを正しく接続してください。

ここを確かめてください

プリンタードライバーはインストールされていますか

対処方法

- プリンタードライバーが正しくインストールされているかを確認してください。
- OS X v10.7.5、10.8.xの場合  
[システム環境設定] - [プリントとスキャン] をクリックし、本製品が表示されているか確認してください
- OS X v10.9.xの場合  
[システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] をクリックし、本製品が表示されているか確認してください。

## 本製品の動作中にUPSから警告音が鳴る

ここを確かめてください

UPS（無停電電源装置）を使用していますか

対処方法

本製品の電源プラグを直接コンセントに差し込んでください。

## その他

ここを確かめてください

印刷すると照明がちらついたり、コンピューターのディスプレイ表示が不安定になっていませんか

対処方法

コンセントの容量が不足していると、このような現象が起きる場合があります。  
本製品の電源を別系統のコンセントに接続してください。

本書の使いかた目次

使う前に知ってほしいこと

まずは使ってみましょう

日常のお手入れ

困ったときには

付録(索引)

# 5 付録

## 機能一覧

本製品で設定できる機能や設定です。液晶ディスプレイに表示されるメッセージに従って、登録や設定を行います。

### <メニュー>ボタン

操作パネルの<メニュー>を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

### 基本設定

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
1.初期設定モード	—	—	ファクス コピー スキャン	初期設定モードを設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
2.モードタイマー	—	—	5 分 2 分 1 分 30 秒 0 秒 切	初期設定モードで設定しているモードに戻る時間を設定します。「切」を選択すると、最後に使ったモードを保持します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
3.記録紙設定	1.記録紙タイプ	—	普通紙 普通紙（厚め） 厚紙 超厚紙 再生紙 ハガキ	記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを設定します。	⇒39 ページ
	2.記録紙サイズ	—	A4 USレター A5 A5 L (A5 (横置き)) A6 JIS B5 ハガキ	記録紙トレイにセットする記録紙のサイズを設定します。	⇒39 ページ
	3.トレイ開閉時確認	—	オン オフ	本体の設定と記録紙トレイにセットした記録紙サイズが一致しているか確認します。【オン】に設定すると、トレイの記録紙設定を促すメッセージを表示します。	⇒39 ページ

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
4.音量	1.着信音量	—	大虫 小切	着信音量を設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2.ボタン確認 音量	—	大虫 小切	操作パネルのボタンを押したときの 音量を設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	3.スピーカー 音量	—	大虫 小切	スピーカーの音量を設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	4.受話音量	—	大虫	受話音量を設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
5.省エネモード	1.トナー節約 モード	—	オン オフ	トナーの使用量をセーブします。 【オン】に設定すると、印字結果が 薄くなります。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2.スリープ モード	—	1分 (0-50分)	スリープ状態になるまでの時間を 設定します。消費電力を節約する ことができます。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	3.静音モード	—	オン オフ	本製品の印刷時の動作音を静かに することができます。【オン】に設 定すると、動作音を静かになりま すが、印字速度が遅くなります。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
6.画面のコントラ スト	—	—	■□□□□+ -□■□□□+ -□□■□□± -□□□■□+ -□□□□■+	液晶ディスプレイのコントラスト を調整します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
7.セキュリティ設 定ロック	—	—	オン パスワード設定	暗証番号を設定し機能設定をロッ クします。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
8.原稿読み取り設 定	1.原稿台 スキャンサイズ	—	A4 USレター	原稿台ガラスからファクスを送信 するときに読み取りサイズを設定 します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2.ファイル サイズ	1.カラー 2.グレー	大虫 小 大虫 小	スキャンするときのファイルサイ ズを設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編 ⇒ユーザーズ ガイド 応用編
9.トナー継続使用	—	—	オン オフ	トナー停止の表示がされるまで印 刷を行うことができます。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編

## ファクス

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	選択項目	内容	参照ページ
1.呼出ベル回数	—	—	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	受信モードが【FAX=ファクス専用】と【F/T=自動切換え】のとき、着信してから自動受信するまでの呼び出しベル回数を0～10回の間で設定します。	⇒53 ページ
2.受信設定	1.ファクス無鳴動受信	—	オン オフ	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。	⇒54 ページ
	2.受信モード	—	FAX=ファクス専用 F/T=自動切換え 留守=外付け留守電 TEL=電話	ファクスの受信モードを設定します。	⇒53 ページ
	3.再呼出ベル回数	—	8 15 20	受信モードが【F/T=自動切換え】のとき、本製品が自動受信後に鳴る呼び出しベル回数を設定します。	⇒54 ページ
	4.親切受信	—	オン 本体 オフ	ファクスを自動受信する前に本製品と接続されている電話を取ってしまった場合でも、本製品の<スタート>を押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	5.リモート受信	—	オン (起動番号：#51) オフ	本製品と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	6.自動縮小	—	オン オフ	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	7.受信スタンプ	—	オン オフ	ファクス印刷するとき受信した日時を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	8.両面印刷	—	オン オフ	両面印刷を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
3.送信設定	1.原稿濃度	—	自動 薄く 濃く	原稿に合わせて濃度を設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2.ファクス画質	—	標準 ファイン スーパーファイン 写真	送信時の画質の設定をします。 ここで設定した内容は次に変更する まで有効です。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	3.タイマー送信	—	指定時刻=00:00	タイマー送信を行うときの送信時刻 を設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	4.リアルタイム 送信	—	オン オフ	メモリを使わずに原稿を読み取りな から送信するときに設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	5.送付書	1.設定	オン オフ	送付書を付加する/しないを設定し ます。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
			2.コメント編集	5. 6.	送付書のコメントを作成します。
	6.海外送信 モード	—	今回のみ:オン オン オフ	海外にファクスを送るときに設定し ます。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	7.送信先表示	—	表示 非表示	ファクス送信の宛先情報を液晶ディ スプレイに表示します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
8.自動再ダイヤル	—	オン オフ	自動再ダイヤルの設定をします。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編	
4.迷惑指定	1.登録	—	—	迷惑リストを設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2.削除				
	3.印刷				
5.電話帳登録	1.電話帳/ ワンタッチ	—	—	ワンタッチボタン1~8にファクス番 号や相手の名前を登録します。	⇒56 ページ
	2.電話帳/ 短縮	—	—	3桁の短縮番号(001~200)に ファクス番号や相手の名前を登録し ます。	⇒56 ページ
	3.電話帳/ グループ	—	—	複数の相手をグループ(1~20)と して登録します。	⇒57 ページ
6.レポート設定	1.送信結果 レポート	—	オン オン+イメージ オフ オフ+イメージ レポート出力しない	ファクス送信後に送信結果を印刷す るかどうかの設定をします。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2.通信管理間隔	—	50件ごと 6時間ごと 12時間ごと 24時間ごと 2日ごと 7日ごと レポート出力しない	通信管理レポートを印刷する間隔を 設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容	参照ページ
7.応用機能	1.転送/ メモリ受信	—	ファクス転送 電話呼び出し メモリ受信 オフ	ファクスを転送したり、メモリ受信を設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2.PCファクス 受信	—	オン オフ	【オン】に設定すると、本製品と接続しているパソコンにファクスメッセージを転送します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	3.暗証番号	—	暗証番号：---*	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	4.ファクス出力	—	—	メモリ受信でメモリに蓄積されたファクスを印刷するときを使用します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
8.ダイヤル制限 機能	1.直接入力	—	2度入力 オン オフ	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2.ワンタッチ ダイヤル	—	2度入力 オン オフ		
	3.短縮ダイヤル	—	2度入力 オン オフ		
9.通信待ち一覧	—	—	—	メモリ送信の設定を確認したり、解除できます。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
0.その他	1.安心通信 モード	—	高速 標準 安心 (VoIP)	ファクスをより確実に送信したいときに設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	2.ナンバー ディスプレイ	—	あり(本製品に表示) あり(外付け電話に表示) なし	ナンバー・ディスプレイサービスのオン/オフを設定します。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編

## コピー

メインメニュー	メニュー選択	選択項目	内容	参照ページ
1.コピー画質	—	自動 テキスト 写真 レシート	画質を調整します。	⇒66 ページ
2.明るさ	—	-■□□□+ -□■□□+ -□□■□+ -□□□■+ -□□□□+	明るさを調整します。	⇒66 ページ
3.コントラスト	—	-■□□□+ -□■□□+ -□□■□+ -□□□■+ -□□□□+	コントラストを調整します。	⇒67 ページ
4.IDコピー	1.コピー画質	自動 明るめ	画質を調整します。	⇒68 ページ
	2.明るさ	-■□□□+ -□■□□+ -□□■□+ -□□□■+ -□□□□+	明るさを調整します。	⇒68 ページ
	3.コントラスト	-■□□□+ -□■□□+ -□□■□+ -□□□■+ -□□□□+	コントラストを調整します。	⇒68 ページ
	4.2in1/1in1	2 in 1 1 in 1	【2 in 1】を選択すると、ID カードや身分証明書などカードサイズの表裏を1枚の記録紙に割り付けてコピーします。	⇒68 ページ

## プリンター

詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容
1.テストプリント	—	—	テストチャートを印刷します。
2.両面印刷	—	オフ オン（長辺とじ） オン（短辺とじ）	両面印刷時の内容を設定します。
3.エラー解除	—	オン オフ	【オン】に設定すると、記録紙サイズのエラーを自動解除して、記録紙トレイにセットされた記録紙を使用して給紙を続けます。
4.プリンター リセット	—	1.決定 2.キャンセル	プリンターの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

## レポート印刷

詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リスト」を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容
1.送信結果レポート	1.表示	—	送信した最新の最大200件分の結果を表示します。
	2.印刷	—	最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
2.電話帳リスト	1.メモリ番号順	—	電話帳に登録されている内容をメモリ番号順に印刷します。
	2.名前順	—	電話帳に登録されている内容を名前順に印刷します。
3.通信管理レポート	—	—	送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。
4.プリンター設定リスト	—	—	プリンターの設定値内容を印刷します。
5.設定内容リスト	—	—	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
6.着信履歴リスト	—	—	着信した履歴を印刷します。
7.ネットワーク設定リスト	—	—	ネットワークの設定内容を印刷します。

## ネットワーク

詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	選択項目	内容
1.TCP/IP設定	1.IP取得方法	—	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの取得方法を指定します。
	2.IP アドレス	—	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (169.254.XXX.XXX)	IPアドレスを設定します。
	3.サブネットマスク	—	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (255.255.0.0)	サブネットマスクを設定します。
	4.ゲートウェイ	—	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (000.000.000.000)	ゲートウェイのアドレスを設定します。
	5.ノード名	—	BRNxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
	6.WINS設定	—	Auto Static	WINS サーバーのアドレスの取得方法を設定します。
	7.WINS サーバー	プライマリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (000.000.000.000)	WINSサーバーを設定します。
		セカンダリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (000.000.000.000)	
	8.DNS サーバー	プライマリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (000.000.000.000)	DNSサーバーを設定します。
		セカンダリ	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255] (000.000.000.000)	
9.APIPA	—	オン オフ	APIPAを設定します。	
0.IPv6	—	オン オフ	IPv6を設定します。	
2.イーサネット	—	—	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD	Auto：自動接続により選択します。 100B-FD/100B-HD/10BFD/10B-HD：それ ぞれのリンクモードに固定されます。
3.接続状態	—	—	アクティブ100B-FD アクティブ100B-HD アクティブ10B-FD アクティブ10B-HD 未接続	有線LANの接続状態を表示します。
4.MACアドレス	—	—	—	MACアドレスを表示します。

メインメニュー	サブメニュー-1	サブメニュー-2	選択項目	内容
5.スキャン to FTP	—	—	カラー 600 dpi カラー 300 dpi カラー 200 dpi カラー 100 dpi カラー 自動 グレイ 300 dpi グレイ 200 dpi グレイ 100 dpi グレイ 自動 モノクロ 300 dpi モノクロ 200 dpi モノクロ 200x100 dpi	ファイルの種類を設定します。
0.ネットワーク設定リセット	—	—	1.決定 2.キャンセル	ネットワークに関して設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

## 製品情報

詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容
1.シリアル No.	—	—	シリアルNo.を表示します。
2.バージョン	—	—	本製品のファームウェアバージョンを表示します。
3.印刷枚数表示	—	合計 ファクス/リスト コピー プリンター	お買い上げ時から今までに印刷した枚数を表示します。
4.消耗品寿命	1.トナー寿命	BK ■■■■■■■■■■	使用中のトナーカートリッジ寿命を表示します。
	2.ドラム寿命	残り:xxx%	使用中のドラムユニット寿命を残り%で表示します。

## サービス

【印刷できません】、【初期化できません】などのエラーが解決されない場合に【サービス】メニューが表示されます。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容	参照ページ
0.データ転送	1.ファクス転送	—	ファクスが印刷できないときに、ファクスデータや通信管理レポートを別のファクス機で印刷します。	⇒97 ページ
	2.レポート転送	—		

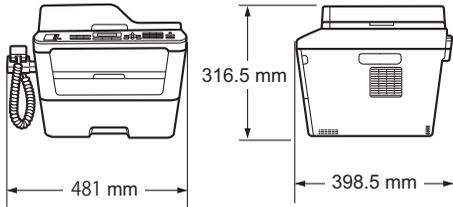
## 初期設定

詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目	内容
1.時計セット	1.時計セット	—	現在の日付と時刻を設定します。
	2.タイムゾーン	UTC±xx:xx	本製品が設置されている地域のタイムゾーンを設定します。
2.発信元登録	—	ファクス 電話 名前	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号、電話番号を設定します。
3.回線種別設定	—	プッシュ回線 ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS 自動設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。
4.ダイヤルトーン設定	—	検知する 検知しない	ダイヤルトーン検知を設定します。
5.特別回線対応	—	一般 光・ISDN PBX	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。
6.外線番号	—	—	構内交換機 (PBX) 使用時、外線にダイヤルするときに必要な番号を登録します。
7.リセット	1.機能設定	1.リセット 2.キャンセル	コピー、ファクスなど各種機能でご使用に合わせて設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。
	2.ネットワーク	1.リセット 2.キャンセル	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。
	3.電話帳&ファクス	1.リセット 2.キャンセル	電話帳や着信履歴、メモリなどをすべて消去します。
	4.全設定	1.リセット 2.キャンセル	本製品のすべての設定内容や登録情報を初期値に戻します。
	5.出荷状態リセット	1.リセット 2.キャンセル	本製品のすべての設定内容や登録情報をお買い上げ時の状態に戻します。
0.表示言語	—	日本語 English	液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.

## 本製品の仕様

### 基本設定

プリントタイプ	レーザー	
プリント方式	電子写真方式レーザープリンター	
メモリ容量	32MB	
液晶ディスプレイ	10文字（漢字）× 2行	
電源	AC100V（50/60Hz）	
ウォームアップタイム※ <sup>1</sup>	9.5秒以下（スリープモードから） 29秒以下（電源投入から）	
消費電力※ <sup>2</sup>	印刷時	510W
	印刷時（静音モード）	313W
	コピー時	510W
	コピー時（静音モード）	313W
	スタンバイ時	60W
	スリープ時	5.8W
	ディープスリープ時	2.1W
	電源オフ時※ <sup>3</sup> ※ <sup>4</sup>	0.02W
エネルギー消費効率※ <sup>5</sup>	71Kwh/年（区分:FB class C）	
外形寸法		
質量（消耗品を含む）	11.9kg	

稼動音	音圧レベル	印刷時	LpAm = 50 dB(A)
		印刷時 (静音モード)	LpAm = 45 dB(A)
		スタンバイ時	LpAm = 33 dB(A)
	音響レベル※7	コピー時※6	LWAd = 6.52 B(A)
		印刷時 (静音モード)	LWAd = 6.27 B(A)
		スタンバイ時※6	LWAd = 4.75 B(A)
温度	操作時	10~32℃	
	保管時	0~40℃	
湿度	操作時	20~80% (結露なきこと)	
	保管時	10~90% (結露なきこと)	
ADF (自動原稿送り装置)			最大35枚まで
			温度 : 20~30℃
			湿度 : 50~70%
			用紙坪量 : 64~90g/m <sup>2</sup>

※1 : 温度 23℃、湿度 50% で測定した値です。

※2 : 本製品とパソコンを USB ケーブルで接続した場合

※3 : IEC 62301 Edition 2.0 による測定値

※4 : 消費電力は、使用環境や部品の消耗により、異なる場合があります。

※5 : 省エネ法 (平成 25 年 3 月 1 日付) で定められた複合機・ページプリンター別の測定方法による数値

※6 : 稼動音 (音響レベル) は RAL-UZ171 規格に基づいて、ISO17025 公認機関で測定した値です。

※7 : 特性音響レベル LwAd が 6.30B(A) を超える機器の場合、事務所とは別室に設置することをお勧めします。

## 原稿サイズ

ADF (自動原稿送り装置) 使用時	原稿サイズ 幅	147.3~215.9mm
	原稿サイズ 長さ	147.3~355.6mm

## 記録紙仕様

給紙	記録紙トレイ (標準)	用紙種類	普通紙、普通紙(厚め)、再生紙、ハガキ
		用紙サイズ	A4、レター、B5 (JIS)、A5、A5 (横置き)、A6、ハガキ (同等品)
		用紙坪量	60~105g/m <sup>2</sup> (ハガキ: 185g/m <sup>2</sup> )
		最大給紙枚数	250枚 (80g/m <sup>2</sup> ) ハガキ: 30枚 (185g/m <sup>2</sup> )
	手差しスロット	用紙種類	普通紙、普通紙(厚め)、厚紙、超厚紙、再生紙、封筒、封筒(厚め)、封筒(薄め)、ハガキ、ラベル紙
		用紙サイズ	ユーザー定義サイズ (幅: 76.2~215.9mm 長さ: 127.0~355.6mm)
		用紙坪量	60~163g/m <sup>2</sup> (ハガキ: 185g/m <sup>2</sup> )
		最大給紙枚数	1枚
排紙 <sup>※1</sup>	上面排紙トレイ <sup>※2</sup>	100枚 (80g/m <sup>2</sup> )	
	背面排紙トレイ <sup>※3</sup>	1枚 ハガキ: 15枚 (185g/m <sup>2</sup> )	
両面	自動両面印刷	用紙種類	普通紙、普通紙(厚め)、再生紙
		用紙サイズ	A4
		用紙坪量	60~105g/m <sup>2</sup>

※ 1 : ラベル紙は汚れ防止のため、印刷後排紙トレイからすぐに取り出してください。

※ 2 : 上面排紙トレイには、印字面が下向きに排紙されます。

※ 3 : 背面排紙トレイには、印字面が上向きに排紙されます。

## ファクス

互換性	スーパー G3
圧縮方式	MH/MR/MMR/JBIG
通信速度	33,600bps (自動フォールバック付き)
受信ファクスの両面印刷	あり
ファクス読み取り幅	A4 (ADF) : 208mm A4 (原稿台ガラス) : 204mm レター (ADF/原稿台ガラス) : 208mm
受信ファクスの印刷幅	208mm
グレースケール	8ビット/256階調
解像度	203×98dpi (標準) 203×196dpi (ファイン/写真) 203×392dpi (スーパーファイン)
電話帳	200件
グループダイヤル	20件
同報送信	258件
自動再ダイヤル	3回/5分間隔
メモリ送信	400枚
メモリ代行受信※	400枚

※ A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質 (203 × 98dpi) で蓄積した場合 (MMR 圧縮時)

## コピー

コピー読み取り幅	A4 (ADF/原稿台ガラス) : 204mm レター (ADF/原稿台ガラス) : 210mm	
連続複写枚数	スタック/ソート 最大99枚	
複写倍率	1:1±1.4% / 50・70・83・87・91・94・97・100・ 115・141・200%・自動、25~400%の1%刻み	
コピー解像度	最高600dpi×600dpi	
ファーストコピーアウト タイム	スタンバイ時	11秒以下
	スリープ時	22秒以下
階調	256階調	

## スキャナー

カラー / モノクロ	あり	
TWAIN ドライバー対応 OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows® XP / Windows Vista® / Windows® 7 / Windows® 8 / Windows® 8.1</li> <li>OS X v10.7.5、10.8.x、10.9.x※<sup>1</sup></li> </ul>	
WIA ドライバー対応 OS	Windows® XP / Windows Vista® / Windows® 7 / Windows® 8 / Windows® 8.1	
ICA ドライバー対応 OS	OS X v10.7.5、10.8.x、10.9.x※ <sup>1</sup>	
階調	フルカラー	入力：30ビット、出力：24ビット
	グレースケール	入力：10ビット、出力：8ビット
スキャナー解像度	ADF使用時：600×600dpi※ <sup>2</sup> 原稿台ガラス使用時：600×2400dpi※ <sup>2</sup>	
スキャナー読み取り幅	A4（ADF/原稿台ガラス）：204mm レター（ADF/原稿台ガラス）：210mm	

※ 1：OS X の最新のドライバーはサポートサイト (<http://support.brother.co.jp/>) よりダウンロードすることができません。

※ 2：WIA ドライバー（Windows®XP、Windows Vista®、Windows®7、Windows®8、Windows®8.1 対応）では、最大 1200 × 1200dpi の解像度でのスキャンができます。  
（[Scanner Utility] を使って、19200 × 19200dpi の解像度を有効にすることができます。）

## プリンター

自動両面印刷	あり	
解像度	HQ1200 (2400dpi × 600dpi) 相当 600dpi × 600dpi	
プリントスピード (A4)	片面	最高30枚/分※ <sup>1</sup> ※ <sup>2</sup>
	両面	最高7.5枚/分※ <sup>1</sup> ※ <sup>2</sup>
ファーストプリントタイム (レディ時) ※ <sup>3</sup>	10秒以下	

※ 1：記録紙トレイから印刷した場合。

※ 2：プリントスピードは、印刷する文書やデータにより異なります。

※ 3：記録紙トレイ使用時、レディモードから印刷した場合。

## インターフェイス

USB	Hi-Speed USB 2.0 <sup>*1</sup> <sup>*2</sup> <sup>*3</sup>
イーサネット <sup>*4</sup>	10Base-T <sup>*5</sup> /100Base-TX <sup>*5</sup>

- ※ 1 : 2.0m 以下の USB ケーブル (タイプ A/B) を推奨します。
- ※ 2 : ご使用のコンピューターが Hi-Speed USB 2.0 に対応している場合。  
また、USB 1.1 に対応しているコンピューターでも接続することができます。
- ※ 3 : サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。
- ※ 4 : ネットワークの仕様については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。
- ※ 5 : カテゴリ 5 (10Base-T/100Base-TX 用) 以上のストレートタイプのツイストペアケーブルをお使いください。

## ネットワーク

LAN		本製品をネットワーク環境に接続することにより、ネットワークプリンター機能、ネットワークスキャン機能、PCファクス送信機能、PCファクス受信機能 (Windows®のみ)、リモートセットアップ機能を使用することができます。 また、ネットワーク接続されている本製品の初期設定用ユーティリティ BAdmin Light <sup>*1</sup> <sup>*2</sup> も使用できます。
ネットワークの プロトコル	IPv4	ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA (Auto IP)、WINS/NetBIOS name resolution、DNS resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port9100、SMTP Client、IPP、FTP Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP server、TFTP Client and Server、ICMP、Web Services (Print/Scan)、SNTP Client
	IPv6	NDP、RA、DNS resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port9100、IPP、FTP Server、SNMPv1/v2c、HTTP server、TFTP Client and Server、SMTP Client、ICMPv6、SNTP Client、Web Services (Print/Scan)
ネットワークの セキュリティ	有線 LAN	SMTP-AUTH、SNMP v3

- ※ 1 : Windows® をご使用の場合は、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照し、付属の CD-ROM から BAdmin Light をインストールしてください。  
Macintosh をご使用の場合は、サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (<http://support.brother.co.jp/>) からダウンロードしてください。
- ※ 2 : さらに高度な管理を必要とする場合は、BAdmin Professional (Windows® 版のみ) をご利用ください。BAdmin Professionalは、サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (<http://support.brother.co.jp/>) より最新版をダウンロードしてご使用ください。

## 消耗品

		型番
トナーカートリッジ	付属品	約700枚 <sup>※1</sup>
	標準	約2,600枚 <sup>※1</sup>
ドラムユニット		約12,000枚 <sup>※2</sup>

※ 1：印刷可能枚数は JIS X 6931 (ISO/IEC 19752) 規格に基づく公表値を満たしています。  
(JIS X 6931 (ISO/IEC 19752) とはモノクロ電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。)

※ 2：使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。

### トナーカートリッジの交換時期

以下の2つの方法でトナーカートリッジの交換時期を検出します。

- 印刷に使用されるドット数のカウントによる検出
- 現像ローラーの回転数のカウントによる検出

本製品は、印刷に使用されるドット数と、トナーカートリッジの現像ローラーの回転数をカウントしています。このいずれかが上限値になると印刷を停止し、画質劣化や製品損傷を防ぎます。

トナーカートリッジの交換時期は、【まもなくトナー交換】、または【トナー交換】のメッセージでお知らせします。

【まもなくトナー交換】は、ドット数、または現像ローラーの回転数が上限値に近づいた場合に表示されます。【トナー交換】は、ドット数、または現像ローラーの回転数が上限値になった場合に表示されます。

### 停電がおきたときは

停電中は本製品の機能はすべて使用できなくなります。本製品のメモリに保存されている「各種登録、設定内容」は本製品内蔵のフラッシュメモリに保存され、停電時も消去されません。

## 動作環境

OS		インターフェイス		プロセッサ	必要なディスク容量	
		USB ※1	10Base-T/ 100Base-TX (イーサネット)		ドライバー	その他の ソフトウェア
Windows®	Windows® XP Home ※2 Windows® XP Professional ※2	プリント PCファクス※3 スキャン		32ビット (x86) または 64ビット (x64) プロセッサ	150MB	500MB
	Windows® XP Professional x64 Edition※2			64ビット (x64) プロセッサ		
	Windows Vista® ※2			32ビット (x86) または 64ビット (x64) プロセッサ	500MB	1.2GB
	Windows® 7 ※2				650MB	
	Windows® 8 ※2					
	Windows® 8.1 ※2					
	Windows Server® 2003	—	プリント	32ビット (x86) または 64ビット (x64) プロセッサ	50MB	なし
	Windows Server® 2003 x64 Edition			64ビット (x64) プロセッサ		
	Windows Server® 2008			32ビット (x86) または 64ビット (x64) プロセッサ		
	Windows Server® 2008 R2			64ビット (x64) プロセッサ		
Windows Server® 2012						
Windows Server® 2012 R2						
Macintosh	OS X v10.7.5	プリント PCファクス (送信) ※3 スキャン		Intel® プロセッサ	80MB	400MB
	OS X v10.8.x					
	OS X v10.9.x					

※1：サードパーティ製のUSBポートはサポートしていません。

※2：WIAドライバーでは、最大1200 × 1200dpiの解像度でのスキャンができます。[Scanner Utility]を使って、19200 × 19200dpiの解像度を有効にすることができます。

※3：PCファクスはモノクロモードにのみ対応します。

### 補足

- 最新のドライバーは、サポートサイト（プラザソリューションセンター）（<http://support.brother.co.jp/>）でご確認ください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

# 索引

## ■ 索引の使いかた

・このページでは、本書、「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」で説明されている項目を検索できます。

## <ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク>

APIPA  
BRAdmin Light  
BRAdmin Professional  
ControlCenter  
DNS サーバー  
IPP  
IPv6  
IP アドレス  
IP 取得方法  
NetBIOS name resolution  
PC-FAX  
POP3  
SMTP  
TCP/IP  
TWAIN ドライバーの設定  
WIA ドライバー設定  
Windows® FAX とスキャン  
Windows® フォトギャラリー  
WINS サーバー  
WINS 設定  
イーサネット  
印刷設定  
インポート  
ウェブブラウザ設定  
エクスポート  
オートマチックドライバーストローラー  
解像度  
ゲートウェイ  
サブネットマスク  
デジタル署名  
透かし  
スキャン用ドライバー  
スキャン to E メールサーバー  
スキャン to E メール添付  
スキャン to FTP  
スキャン to OCR  
スキャン to イメージ  
スキャン to ファイル  
ステータスマニター  
セキュリティ機能ロック 3.0  
セキュリティプロトコル  
セキュリティ方式  
電話帳登録  
ネットワーク PC-FAX

ネットワーク管理ソフトウェア  
ネットワーク共有印刷  
ネットワークスキャンの設定  
ネットワーク設定レポート  
ネットワークプリンター診断修復ツール  
ネットワークリモートセットアップ  
ノード名  
ピアツーピア  
暗号化  
プリンタードライバーの設定  
プリンター設定値のリスト  
ページの設定  
リモートセットアップ

## <本書（ユーザーズガイド 基本編）>

### 数字

2 in 1 ID コピー ..... 62, 68  
2in1(ID) コピーボタン ..... 18

### A

ADF（自動原稿送り装置）  
..... 40, 41, 44, 46, 60, 61, 70, 99, 100

### N

N in 1 ..... 65

### あ

明るさ ..... 62, 66

### え

液晶ディスプレイ ..... 19  
エラーメッセージ一覧 ..... 93

### お

おすすめ機能 ..... 14  
オプションボタン ..... 18  
オンフックボタン ..... 18

解決のステップ	92
回線種別	24
拡大/縮小	62
拡大・縮小コピー	63
各部の名称	20
画質	62, 66
紙づまり	98

機能一覧	136
キャリアシート	40
給紙ローラー	77
記録紙	29
記録紙仕様	148
記録紙のタイプ	39
記録紙のサイズ	30, 39
記録紙の種類	30

原稿	40
原稿ガイド	41
原稿セット	40, 41
原稿台ガラス	42, 44, 46, 60, 61, 70, 73
原稿台スキャンサイズ	42

コピー	60, 149
コピーが禁じられている物	40
コピー機能ボタン	18
コピー設定	62
困ったときには(コピー/印刷)	109
困ったときには(スキャン)	126
困ったときには(その他)	132
困ったときには(電話/ファクス)	126
コロナワイヤー	74
コントラスト	62, 67

再梱包	89
再ダイヤル/ポーズボタン	18
再呼び出しベル回数	54

自動切換えモード	50
自動送信	43
シフトボタン	18
受信モード	49, 53
手動送信	46
仕様	146
使用できない記録紙	31
消耗品	25, 78
消耗品の回収リサイクル	25

スキャナー	150
スキャナー読み取り部	73
スキャン	70
スタートボタン	19

清掃	72
セットできる記録紙	30

操作パネル	18
ソートコピー	62, 63
外付け留守電モード	51

ダイヤル回線	24
ダイヤルボタン	19, 21, 45, 61

中止	46
直接入力	45

定期メンテナンス	72
停止/終了ボタン	19
手差しスロット	35, 101
電源	22
電源ボタン	19
電話回線	24
電話帳	45, 55
電話帳に登録する	56
電話モード	52

## と

動作環境 .....	153
時計セット .....	22
トナーカートリッジ .....	79, 83
トナーカートリッジ交換のメッセージ .....	83
ドラムユニット .....	75, 79, 86
ドラムユニット交換のメッセージ .....	86

## な

ナビゲーションキー .....	19
-----------------	----

## は

廃棄 .....	25
背面 .....	103
発信元登録 .....	23

## ふ

ファクス .....	149
ファクス画質ボタン .....	18
ファクス機能ボタン .....	18
ファクス受信 .....	47
ファクス専用モード .....	49
ファクス送信 .....	43
プッシュ回線 .....	24
プリンター .....	150
プリント .....	69

## ま

まもなくトナーカートリッジ交換のメッセージ ...	83
---------------------------	----

## め

メモリがいっぱいです .....	96
メンテナンス .....	72

## も

モード選択ボタン .....	19
----------------	----

## ゆ

有線 LAN .....	132
--------------	-----

## よ

呼び出しレベル回数 .....	53
-----------------	----

## り

リサイクル .....	25
リモコンアクセス .....	157
両面コピー .....	62, 64
両面ボタン .....	18

## れ

レイアウトコピー .....	62, 65
----------------	--------

## わ

ワンタッチボタン .....	18
----------------	----

## リモコン アクセス

### 暗証番号



あなたの暗証番号を  
記入してください。

### リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。  
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容	ボタン操作
メモリ受信を解除(※1)	951
ファクス転送に設定(※2)	952
電話呼び出しに設定(※2)	953
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号+##
メモリ受信を設定	956
ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
ファクス消去	963
受信状況のチェック(※3)	ファクス 971

操作内容	ボタン操作	
受信モードの変更	外付け留守電	981
	自動切換え	982
	ファクス	983
終了		90

- ※1: 電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。  
 ※2: 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。  
 ※3: 「ビー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

③

④



# アフターサービスのご案内

## お客様のスタイルに合わせたサポート

### サポートサイト (ブラザーソリューションセンター)

よくあるご質問(Q&A)や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル(電子版)のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

### 故障・トラブルかんたん診断 (ブラザーサポートナビ24)

- 該当するトラブルを選択し進んでいくことで、解決のヒントが見つかります。万が一故障と診断された場合、そのままオンライン修理申込も可能です。

サポート ブラザー

検索

<http://support.brother.co.jp/>

## Brother Online マイ製品サポート

ご登録いただくと、お持ちの製品をより便利に、安心にご利用いただけるようになります。  
オンラインユーザー登録 ▶ <https://online.brother.co.jp/>

## ブラザーコールセンター(お客様相談窓口)

☎050-3786-8881

受付時間：月～金 9:00～18:00 / 土 10:00～18:00

日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

## 安心と信頼の修理サービス

### ●製品ご購入後1年間無償保証いたします。

※この場合、修理料金を無償とし、運送料含むその他費用はお客様の負担となります。

### ●コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。 ※一部地域を除く

事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。

### ●5日以内に修理品を返送。

弊社到着後、3日～5日でお客様のお手元へ修理完了品をお返しします。

※お住まいの地域や症状により5日以上かかる可能性もあります。

### 有償 サービスパック3・4・5年

商品ご購入後、6ヶ月以内にご購入/ご契約して頂けるサービスメニューです。

ご購入日から3・4・5年の長期保守を割安にご購入可能。

※各サービスパックについては、[出張修理] か [引取り修理] を選択していただけます。

※各サービスパックには、技術料/部品代が含まれます。

※引取り修理は宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送いたします。

引取り修理契約には送料が含まれております。

※出張修理は原則、コール受付の翌営業日以降にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応いたします。

※出張修理契約には、出張料が含まれております。

※サービスパック1年は、ご購入後4年以内かつ当社基準に適合した製品である事が条件になります。

### 有償 サービスパック1年

商品ご購入後いつでもご契約頂ける1年単位のサービスメニューです。

各定額保守サービスの内容、該当機種、料金などの詳細は下記窓口へお問い合わせください。

TEL：052-824-3253

[http://www.brother.co.jp/product/support\\_info/s-pack/index.htm](http://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm)

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、「ブラザーコールセンター(お客様相談窓口)」にご連絡ください。

※Presto! PageManagerについては、以下にお問い合わせください。

ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター

TEL：03-5472-7008 FAX：03-5472-7009 10:00～12:00 13:00～17:00(土日・祝日を除く)

テクニカルサポート電子メール：support@newssoft.co.jp ホームページ：<http://www.newssoft.co.jp/>

トナーカートリッジ・ドラムユニットは当社指定品をご使用ください。当社指定以外の品物をご使用いただくと、故障の原因となる可能性があります。純正品のトナーカートリッジ・ドラムユニットをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

本製品は日本国内のみでの使用となりますので、海外での使用はお止めください。海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because the power requirements of your machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しの保証書は大切に保管してください。

●本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。(印刷物は2年です)

**brother**

ブラザー工業株式会社

〒467-8561 名古屋市長穂区苗代町15-1